

**静岡県 子どもの生活アンケート  
調査報告書**

**令和元年 12月  
静岡県**



# 静岡県 子どもの生活アンケート 調査報告書

## 目 次

<b>I 調査概要</b>	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査の項目	1
(3) 調査の設計	1
(4) 回収状況	1
(5) 本調査における貧困層の定義	2
(6) 調査概要	3
(7) 報告書を見る際の注意事項	6
<b>II 調査結果（保護者）</b>	7
<b>1 ご家族について</b>	7
(1) 回答者の続柄	7
(2) 世帯人数と児童人数	8
(3) 同居家族	9
(4) 要介護者・要介助者	10
(5) 居住している住宅の種類	11
(6) 頼れる親族や友人の有無	12
(7) 両親の年齢	13
(8) 両親の就労状況	14
(9) 両親の帰宅時刻	16
(10) 両親の健康状態	17
(11) 両親の最終学歴	18
<b>2 世帯の経済的な状況について</b>	19
(1) 世帯の手取り収入	19
(2) 現在の暮らしの状況	21
(3) 回答者が子どもの頃の暮らしの状況	22
<b>3 お子さまとの関わり、習慣について</b>	23
(1) 子どもの基本的な生活・学習習慣	23
(2) 子どもの習い事の状況	25
(3) 回答者が希望する子どもの進学先	26
<b>4 子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて</b>	29
(1) 子どもへの金品や機会等の提供	29
(2) 経済的困窮の経験	32
(3) 子どもについての悩みや不安	34
(4) 子どもに関すること以外での心配や悩み事	36
(5) 悩み事の相談相手	38
<b>5 各種支援・サービスについて</b>	42
(1) 公的な支援制度の利用状況	42
(2) 就学援助制度の利用状況	46
(3) 現在利用している子育てなどに関する公的な支援制度の情報入手媒体	49

(4) 今後利用したい子育てなどに関する公的な支援制度の情報入手媒体.....	50
(5) 必要な公的な支援制度をもれなく受けられるようにするために重要だと思うこと.....	52
(6) 子どもや子育てに関する支援施策の利用意向.....	53
(7) 子どもたちが健やかに育っていくために必要な支援等への意見・要望（自由意見）.....	55
<b>III 調査結果（子ども）.....</b>	<b>57</b>
<b>* 回答者の属性.....</b>	<b>61</b>
(1) 学年.....	61
(2) 居住地区.....	62
(3) 性別.....	63
<b>1 健康のことについて.....</b>	<b>64</b>
(1) 健康状態.....	64
(2) 身長・体重.....	65
(3) 就寝時刻.....	67
(4) 歯みがき・入浴の頻度.....	68
(5) 虫歯の状況.....	70
(6) 発熱時や歯痛時の対応.....	71
<b>2 ふだんの生活のことについて.....</b>	<b>72</b>
(1) 朝ごはんの摂取頻度.....	72
(2) 食事の状況（一緒に食べる人の有無）.....	74
(3) 平日の放課後過ごす場所.....	79
(4) 平日の放課後の過ごし方.....	82
(5) 所有物の状況.....	93
(6) 身の周りの人との会話の状況.....	95
(7) 地域の活動や行事への参加状況.....	97
(8) この1年間で出かけたことがある場所.....	99
<b>3 学校や勉強のことについて.....</b>	<b>102</b>
(1) 学校生活での楽しみ.....	102
(2) 学校の勉強の理解度.....	104
(3) 将来の進学希望.....	105
<b>4 ふだん感じていること.....</b>	<b>106</b>
(1) 自己肯定感.....	106
(2) 困ったことがあったときの対応（相談相手の有無）.....	108
(3) 今誰かに相談したいこと.....	110
(4) いじめや不登校等の経験.....	112
(5) 子どものための施策や施設等の利用意向.....	114
(6) 今一番やってみたいこと（自由意見）.....	116
<b>IV 使用調査票.....</b>	<b>113</b>
<b>1 保護者調査.....</b>	<b>113</b>
<b>2 子ども調査.....</b>	<b>123</b>

# I 調査概要



## (1) 調査の目的

本県の子どもの貧困対策として関連する各分野における支援の在り方等を検討するに当たり、子どもや家庭の実態把握と支援ニーズの調査・分析を行い、その結果を今後の施策及び第二次子どもの貧困対策計画のための基礎資料として活用することを目的とします。

## (2) 調査の項目

No.	保護者調査	子ども調査
1	ご家族について	健康のことについて
2	世帯の経済的な状況について	ふだんの生活のことについて
3	お子さまとの関わり、習慣について	学校や勉強のことについて
4	子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて	ふだん感じていること
5	各種支援・サービスについて	自由意見

## (3) 調査の設計

調査対象	県内の小学5年生2,500人、中学2年生2,500人、その保護者5,000人 計10,000人分
調査方法	静岡市・浜松市：郵送配布・郵送回収（配布数約4,000部） 上記以外の市町：学校配布・学校回収（配布数約6,000部）
調査期間	令和元年7月10日～令和元年8月31日

## (4) 回収状況

	保護者調査	子ども調査
配布数	5,000人	5,000人
有効回収数	3,385人	3,389人
有効回収率	67.7%	67.8%

## (5) 本調査における貧困層の定義

厚生労働省が公表している算出方法では、等価可処分所得（世帯の可処分所得を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分（貧困線）に満たない世帯を「相対的貧困層」としています。

本調査においては、問2で世帯人数を、問11で可処分所得についての回答を得ています。貧困線の算出方法は下記の通りですが、アンケート調査においてより多くの回答を得るため、可処分所得を数値で記入するのではなく、50万円区分の選択方式にて回答いただきました。

このため、平成28年国民生活基礎調査（厚生労働省）分析結果の貧困線を参考に、世帯人員別の貧困層区分を下記のように設定しました。

### <世帯人数ごとの貧困層となる区分>

問2 世帯人数	国調査における貧困線	貧困層となる区分	問11													22 わからない	無回答
			1~2 100万円未満	3~4 100万円～200万円未満	5 200万円～250万円未満	6 250万円～300万円未満	7 300万円～350万円未満	8 350万円～400万円未満	9~11 400万円～550万円未満	12~14 550万円～700万円未満	15~17 700万円～850万円未満	18~20 850万円～1000万円未満	21 1000万円以上				
2人	173万円	200万円未満															
3人	211万円	200万円未満															
4人	244万円	250万円未満															
5人	273万円	250万円未満															
6人	299万円	300万円未満															
7人	323万円	300万円未満															
8人以上	345万円	350万円未満															
無回答																	

貧困層  
 (貧困層に相当する世帯)
  非貧困層  
 (貧困層に相当しない世帯)

- ・有効回答3,385件の内訳  
 判定可能：2,987件      判定不可：398件
- ・判定可能回答2,987件より  
 貧困層に相当する世帯：307件（10.3%）  
 貧困層に相当しない世帯：2,680件（89.7%）

※本結果は目安であり、貧困層世帯に該当したすべての世帯が、必ずしも実際の生活で困難を抱えているというわけではありません。

## (6) 調査概要

### 1 集計区分について

#### ① 生活困難状況別

回収された3,385世帯（保護者回答）のうち、等価可処分所得の算出が可能な2,987世帯について、平成28年国民生活基礎調査の世帯人数別の貧困線を境界とし、2区分としました。

貧困層に相当する世帯：307                      貧困層に相当しない世帯：2,680

#### ② 世帯構成別

保護者の有効回答数を、同居している家族構成の状況により4区分としました。

父子世帯：23              母子世帯：180              ふたり親世帯：2,989              その他：180

### 2 保護者

#### ① ご家族について

同居家族について、貧困層に相当する世帯では「父親」が50%を下回っている一方で、「祖父」「祖母」が多くなっており、生活を支援してもらっている状況がうかがわれます。

世帯構成について、貧困層に相当する世帯では「母子世帯」が3割以上となっている一方で、約半数の「ふたり親世帯」も貧困層に相当する世帯となっています。

居住している住宅の種類について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに「民間賃貸住宅」が多くなっています。

父親の就労状況について、貧困層に相当する世帯では「正社員・正規職員」が少なく、「自営業」が多くなっています。また、母親の就労状況について、貧困層に相当する世帯では「嘱託・契約社員・準社員」が多くなっていることから、安定して収入を得られていない可能性があることがうかがわれます。

#### ② 世帯の経済的な状況について

現在の暮らしの状況について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、『苦しい』（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）が7割以上となっており、生活の困難さがうかがわれます。

#### ③ お子さまとの関わり、習慣について

子どもの基本的な生活・学習習慣について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、〔①決まった時間に起床する〕〔②決まった時間に就寝する〕〔③毎日朝食を食べる〕で『できていない』（「あまりできていない」＋「できていない」）が多くなっています。

子どもの習い事の状況について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、「特にしていない」が多くなっており、余裕が少ないことがうかがわれます。

回答者が希望する子どもの進学先について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、「高等学校」が多くなっており、大学進学が難しい状況にあることがうかがわれます。

#### ④ 子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて

子どもへの金品や機会等の提供について、貧困層に相当する世帯では〔①毎月お小遣いを渡す〕〔③習い事（音楽・スポーツ・習字など）に通わせる〕〔④学習塾に通わせる〕〔⑩1年に一回くらい家族旅行に行く〕で「経済的にしていない」が多くなっています。また、母子世帯では上記の項目に加えて、〔②毎年新しい洋服・靴を買う〕〔⑦子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う〕も多くなっています。

過去一年間の経済的困窮の経験の有無について、貧困層に相当する世帯では11項目中8項目で『あった』（「何度かあった」＋「頻繁にあった」）が多く、〔⑩生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた〕〔②必要な服が買えなかった〕では約4分の1を占めています。また、母子世帯では11項目中9項目で『あった』が多く、〔⑩生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた〕〔②必要な服が買えなかった〕が3割以上となっており、経済的な逼迫を抱えていることがうかがわれます。

子どもについての悩みや不安について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、「お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない」「お子さまの進学や受験のことが心配である」が多くなっています。加えて、母子世帯では「お子さまが勉強しない」も多くなっており、勉強についての悩みや不安が大きいことがうかがわれます。

子どもに関すること以外での心配や悩み事について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、「収入や家計・借金など」「自分の仕事」「住まいや生活環境」が多くなっており、生活への影響が大きいと思われる内容となっています。

#### ⑤ 各種支援・サービスについて

公的な支援制度の利用状況について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、〔②児童扶養手当〕〔⑩母子家庭等医療費助成〕で「利用している」が多くなっています。加えて、母子世帯では〔⑧高等学校等奨学給付金〕〔⑫放課後児童クラブ〕で「利用している」が多くなっています。一方、『利用意向はあるが利用していない』（「利用したいが基準にあてはまらない」＋「利用するのがためらわれた」＋「利用したいがどこに相談すればよいか分からない」）は、母子世帯で〔②児童扶養手当〕〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕〔⑥生活保護〕〔⑨自立支援教育訓練給付金〕〔⑩母子家庭等医療費助成〕が多くなっており、経済的な支援を求めていることがうかがわれます。

子どもや子育てに関する支援施策について、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、〔①こども食堂（無料または安価で食事を提供する食堂）〕〔②食の支援（フードバンクなど食料の無料提供）〕で「利用意向あり」（「利用したい」）が多くなっており、食料面での支援を望んでいることがうかがわれます。一方、〔⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援（美術館、博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など）〕は、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、「利用意向なし」（「必要ない」）が多くなっており、優先する支援施策の順位が低いことがうかがわれます。

### 3 子ども

#### ① 健康のことについて

虫歯の状況について、貧困層に相当する世帯では、貧困層に相当しない世帯と比較すると、「虫歯はない」が少なくなっています。また、父子世帯・母子世帯ともに、ふたり親世帯と比較すると、「虫歯はない」が少なくなっています。

#### ② ふだんの生活のことについて

朝ごはんの摂取頻度について、貧困層に相当する世帯では、貧困層に相当しない世帯と比較すると、「毎日」が少なくなっています。また、父子世帯・母子世帯ともに、ふたり親世帯と比較すると、「毎日」が少なくなっています。

学校のある日の朝ごはん・学校のない日の朝ごはんの状況について、母子世帯では「ひとりで食べる」が多くなっています。また、学校のある日の夕ごはん・学校のない日の夕ごはんの状況について、母子世帯では「親と食べる」が少なくなっており、孤食の傾向がうかがわれます。

平日（学校のある日）の放課後に過ごすことが多い場所について、貧困層に相当する世帯では「じぶんの家（親などの大人といる）」が少なくなっています。また、母子世帯では「じぶんの家（大人はいないが兄弟といる）」が多くなっており、保護者が働いているため、親などの大人といる時間が少なくなっていることがうかがわれます。

所有物の状況について、貧困層に相当する世帯では〔④家で集中して勉強ができる場所〕で、母子世帯では〔④家で集中して勉強ができる場所〕〔⑦ゲーム機（ニンテンドースイッチなど）〕で所有希望あり（「持っていないがほしい」）が多くなっています。

この1年間で出かけたことがある場所について、貧困層に相当する世帯では、貧困層に相当しない世帯と比較すると、「友だちの家」を除いたすべての項目で少なくなっています。

#### ③ 学校や勉強のことについて

学校の勉強の理解度について、貧困層に相当する世帯では、貧困層に相当しない世帯と比較すると、『わかる』（「ほとんどわかる」＋「だいたいわかる」）が少なくなっています。また、将来の進学希望について、貧困層に相当する世帯では、貧困層に相当しない世帯と比較すると、「大学・大学院まで」が少なくなっています。

#### ④ ふだん感じていること

自己肯定感を高く感じている人のうち、貧困層に相当する世帯・母子世帯ともに、いずれの項目も全体と比較すると少なくなっていますが、特に〔④自分は価値のある人間だと思う〕が少なくなっています。

今誰かに相談したいことについて、ふたり親世帯と比較すると、母子世帯では「学校や勉強のこと」が多くなっています。

子どものための施策や施設等の利用意向について、母子世帯では〔①家のひとがいないとき、夕ご飯を用意してくれる場所〕が多くなっています。

## (7) 報告書を見る際の注意事項

※回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。

※百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。

※1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合があります。

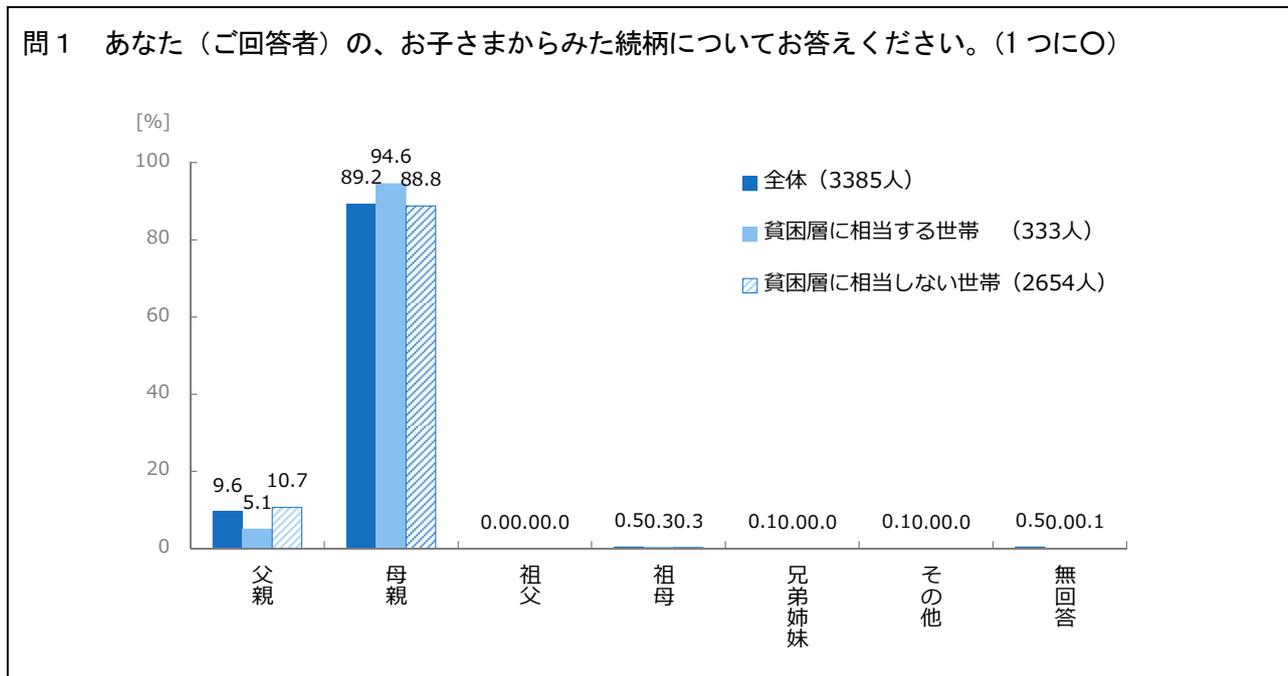
※グラフにおいて、選択肢を省略して掲載している場合があります。

## II 調查結果（保護者）



# 1 ご家族について

## (1) 回答者の続柄

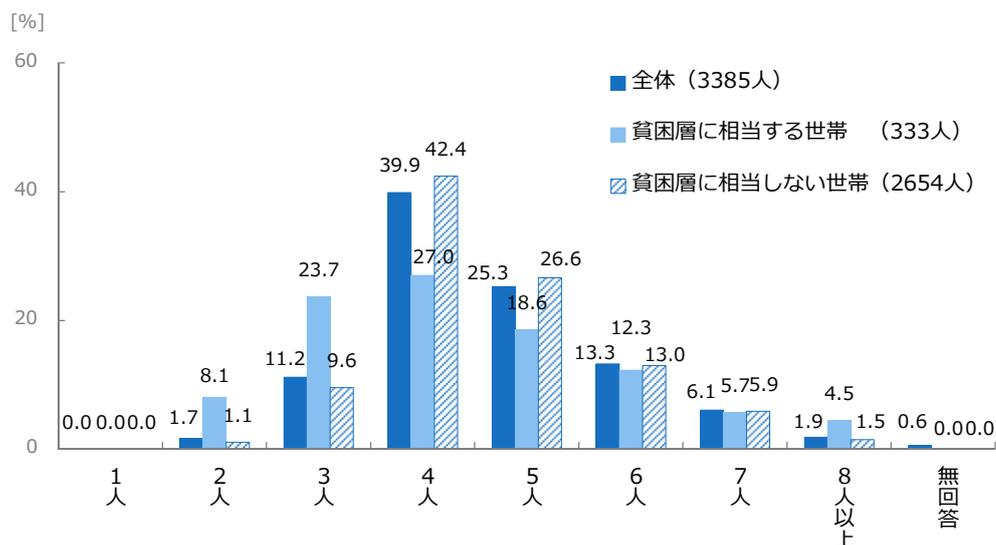


回答者の続柄（子どもからみた）は、「母親」89.2%が最も多く約9割を占め、次いで「父親」9.6%が約1割となっています。

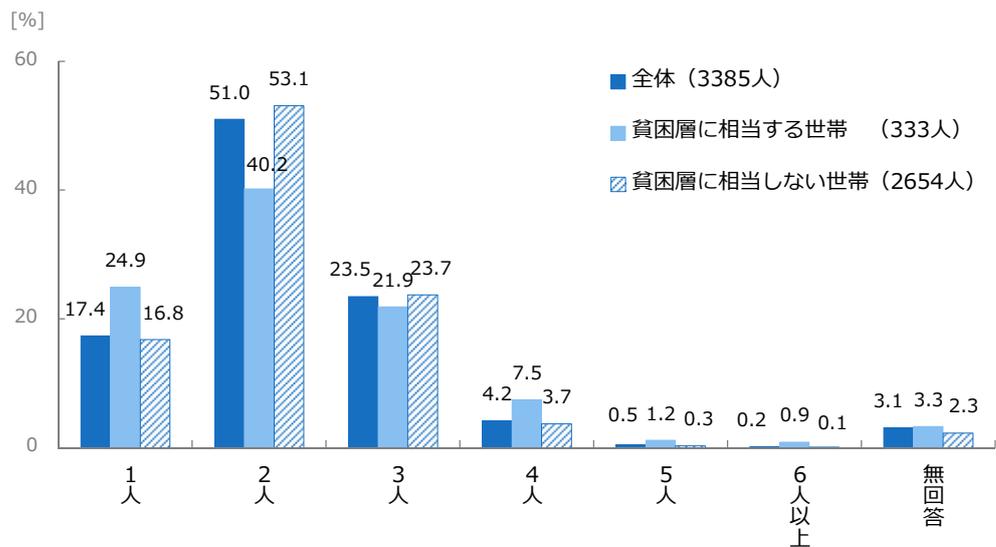
## (2) 世帯人数と児童人数

問2 あなたの世帯について、令和元年7月1日時点の、ご家族の人数を教えてください。(人数を記入)

\*一緒に住んでいる人数(あなたとお子さまを含めた)



\*そのうち子ども(18歳未満)の人数



世帯人数は、「4人」39.9%が最も多く、以下「5人」25.3%、「6人」13.3%、「3人」11.2%、「7人」6.1%となっています。

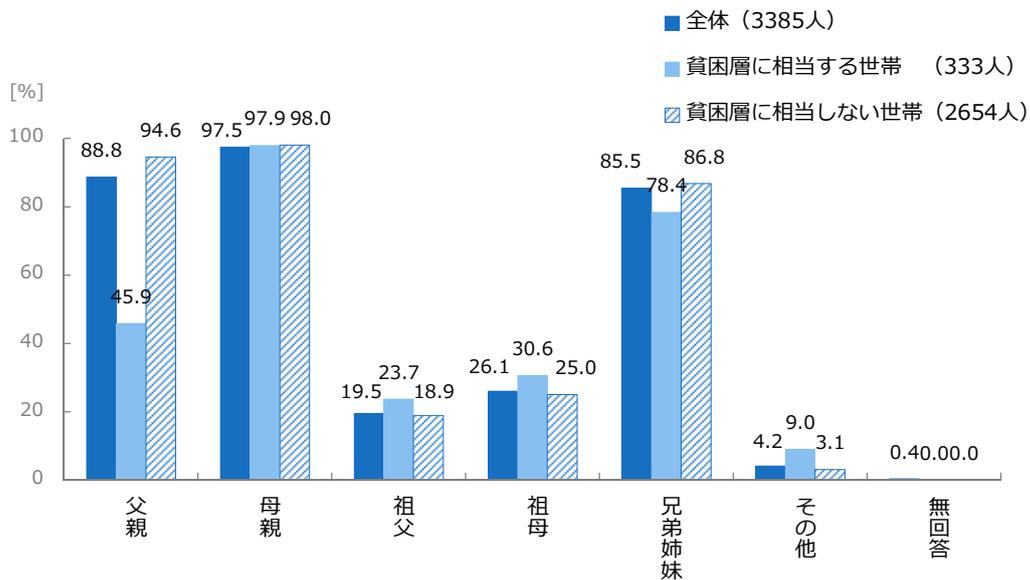
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「2人」8.1%と「3人」23.7%が、貧困層に相当しない世帯では「4人」42.4%と「5人」26.6%が比較的多くなっています。

世帯人数のうち、18歳未満の子どもの人数は、「2人」51.0%が最も多く約半数を占めています。以下「3人」23.5%、「1人」17.4%、「4人」4.2%となっています。

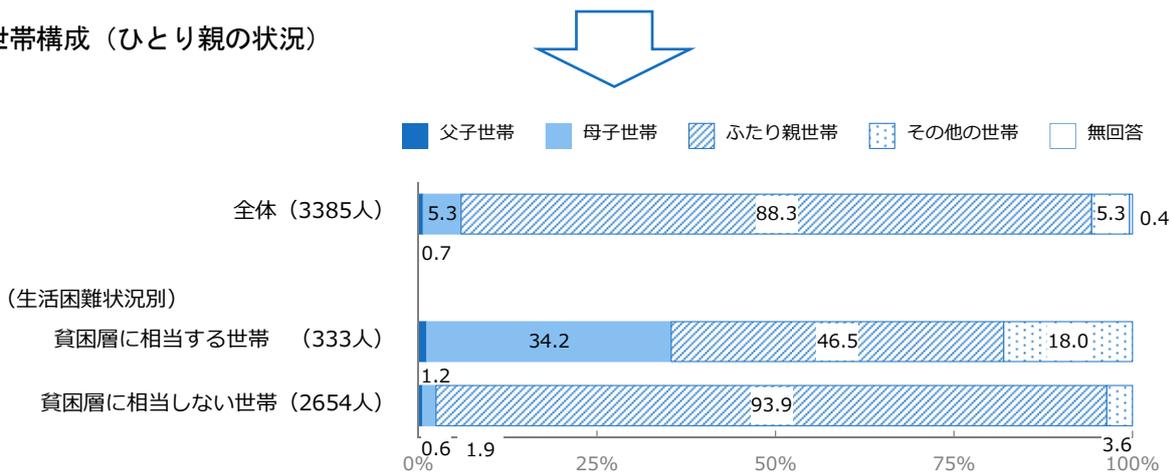
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「1人」24.9%が、貧困層に相当しない世帯では「2人」53.1%が比較的多くなっています。

### (3) 同居家族

問3 あなたの世帯はどなたと一緒に暮らしていますか。お子さまからみた続柄でお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)



#### \* 世帯構成 (ひとり親の状況)



同居している家族の続柄は、「母親」97.5%が最も多く、以下「父親」88.8%、「兄弟姉妹」85.5%、「祖母」26.1%、「祖父」19.5%となっています。

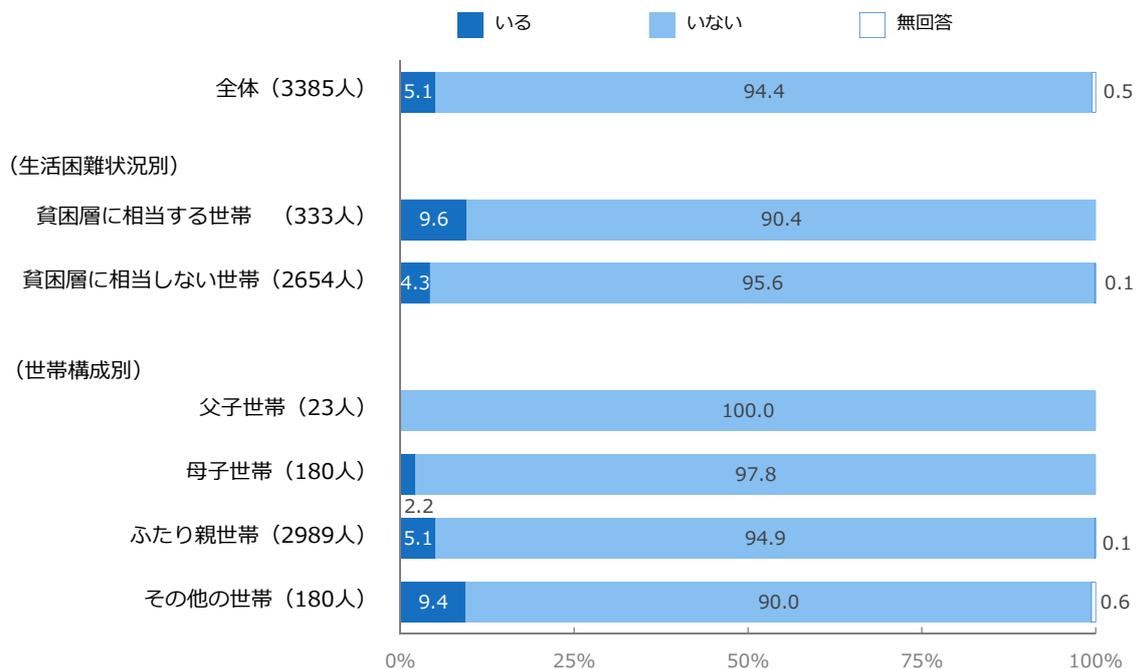
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「父親」45.9%が少なく、「祖父」23.7%と「祖母」30.6%が比較的多くなっています。

世帯構成 (ひとり親の状況) は、「ふたり親世帯」88.3%が最も多く、以下「母子世帯」と「その他の世帯」各5.3%、「父子世帯」0.7%と続き、「母子世帯」と「父子世帯」を合わせた『ひとり親世帯』は6.0%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「母子世帯」34.2%と「その他の世帯」18.0%が比較的多くなっています。

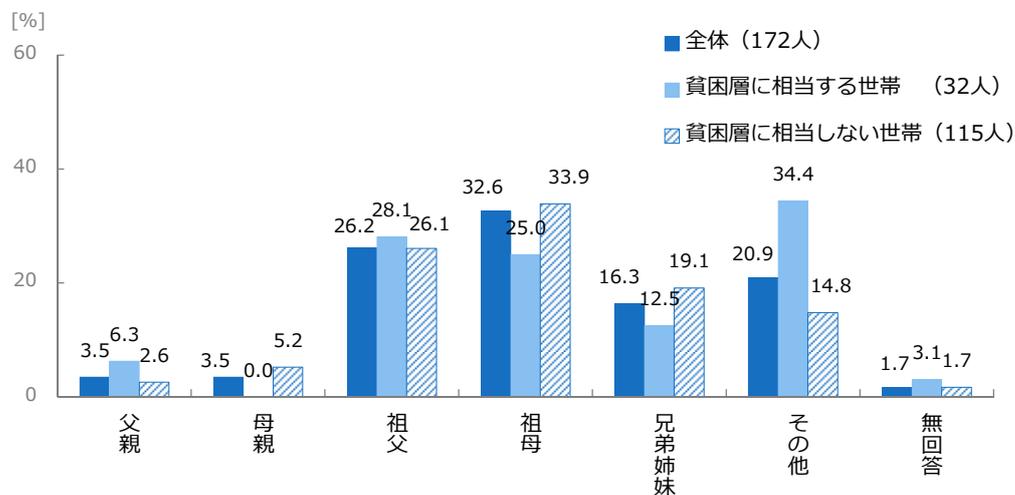
#### (4) 要介護者・要介助者

問4 あなたの世帯のご家族の中に、介護や介助が必要な方はいますか。(1つに○)



(問4で「1」を選んだ方におうかがいします。)

問4-1 お子さまからみて、介護や介助が必要な方はどなたですか。(1つに○)

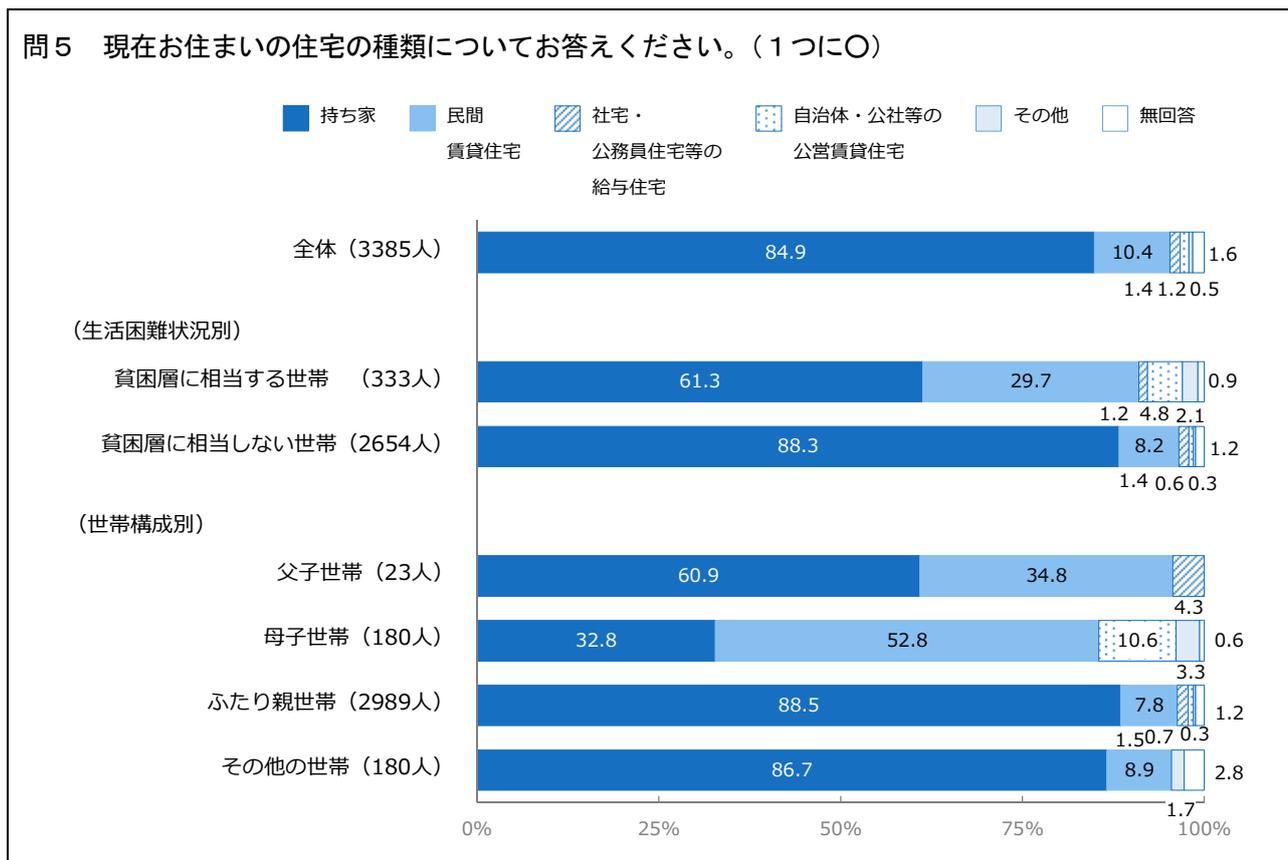


同居している家族の中で要介護者・要介助者の有無は、「いない」94.4%が大多数を占めています。生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「いる」9.6%が比較的多くなっています。世帯構成別でみると、その他の世帯では「いる」9.4%が比較的多くなっています。

同居家族に要介護者・要介助者がいると回答した人(172人)の、要介護者・要介助者の続柄(子どもからみた)は、「祖母」32.6%が最も多く、以下「祖父」26.2%、「その他」20.9%、「兄弟姉妹」16.3%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「その他」34.4%が比較的多くなっています。

## (5) 居住している住宅の種類

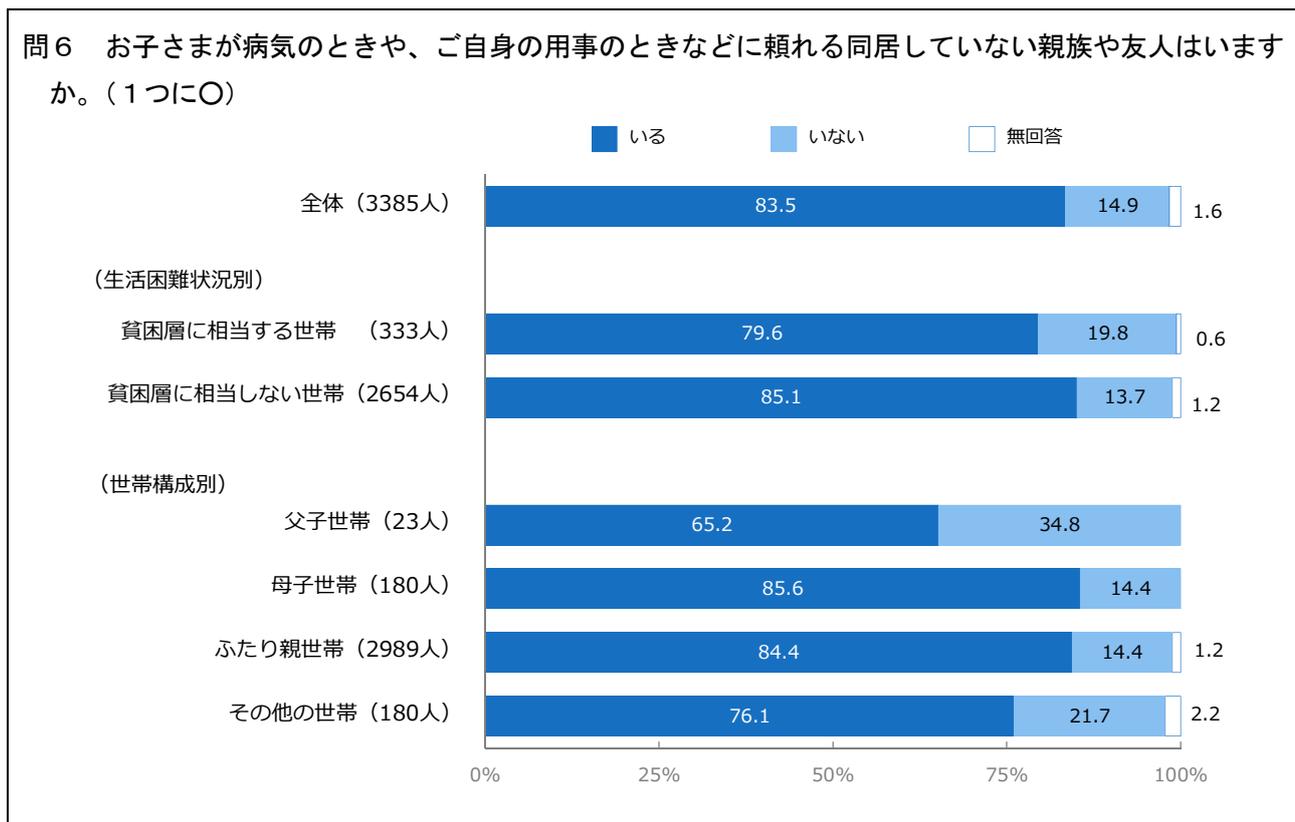


居住している住宅の種類は、「持ち家」84.9%が最も多く8割以上を占め、次いで「民間賃貸住宅」10.4%が約1割となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当する世帯では「民間賃貸住宅」29.7%が比較的多くなっています。世帯構成別で見ると、母子世帯では「民間賃貸住宅」52.8%が比較的多くなっています。

※世帯構成別の『父子世帯』については、該当する世帯が少数（23人）のため、属性別での分析はせず、参考程度とします。

## (6) 頼れる親族や友人の有無



お子さまが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる同居していない親族や友人の有無は、「いる」83.5%、「いない」14.9%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「いない」19.8%が比較的多くなっています。

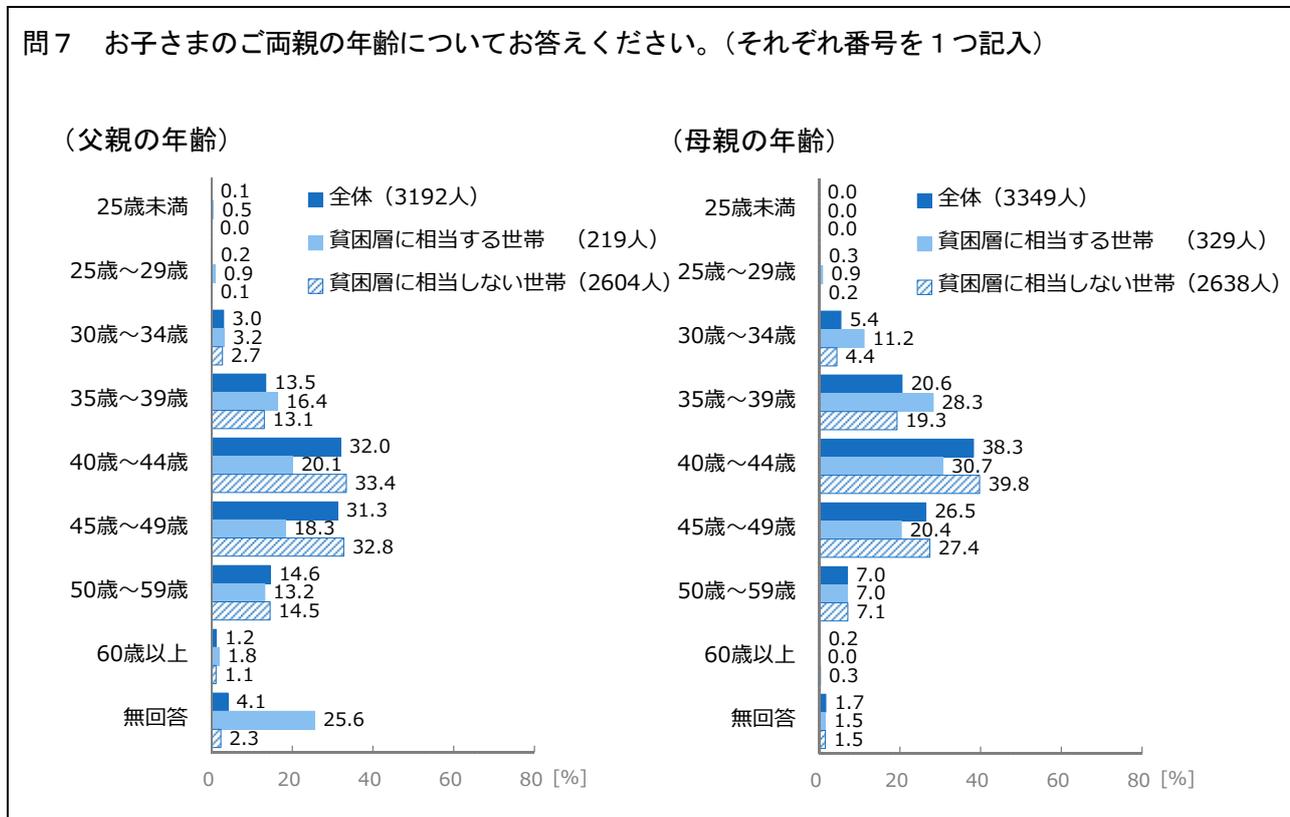
世帯構成別でみると、その他の世帯では「いない」21.7%が比較的多くなっています。

お子さまのご両親についておうかがいします。

(ひとり親家庭の場合は、あてはまる方にだけお答えください。)

(ご両親以外の方がお子さまを養育している場合は問7～10は回答不要。)

## (7) 両親の年齢



父親の年齢は、「40歳～44歳」32.0%が最も多く、以下「45歳～49歳」31.3%、「50歳～59歳」14.6%、「35歳～39歳」13.5%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当しない世帯では「40歳～44歳」と「45歳～49歳」が比較的多くなっています(40歳～44歳：33.4%、45歳～49歳：32.8%)。

母親の年齢は、「40歳～44歳」38.3%が最も多く、以下「45歳～49歳」26.5%、「35歳～39歳」20.6%、となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「30歳～34歳」「35歳～39歳」が比較的多くなっています(30歳～34歳：11.2%、35歳～39歳：28.3%)。

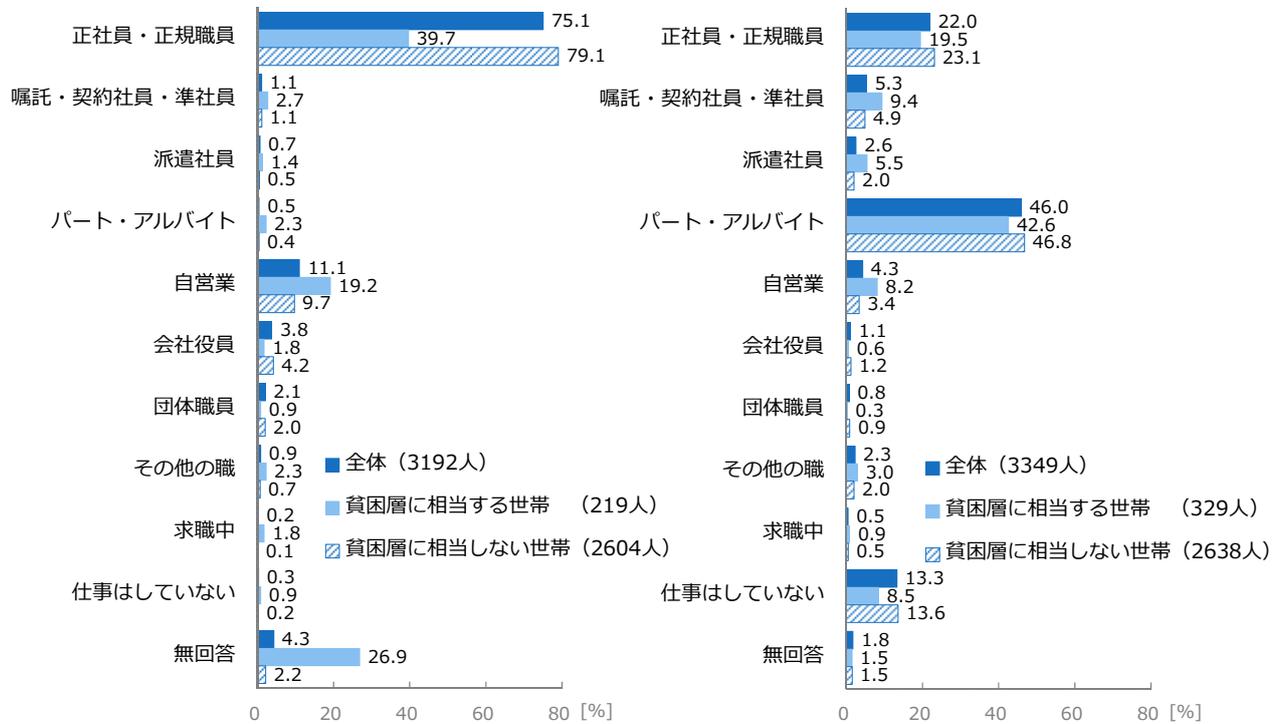
## (8) 両親の就労状況

問8 お子さまのご両親の主なお仕事についてお答えください。(それぞれ番号を1つ記入)

※現在、産休・育休・その他休業中の場合は、復職される際の状況でお答えください。

(父親の就労状況)

(母親の就労状況)

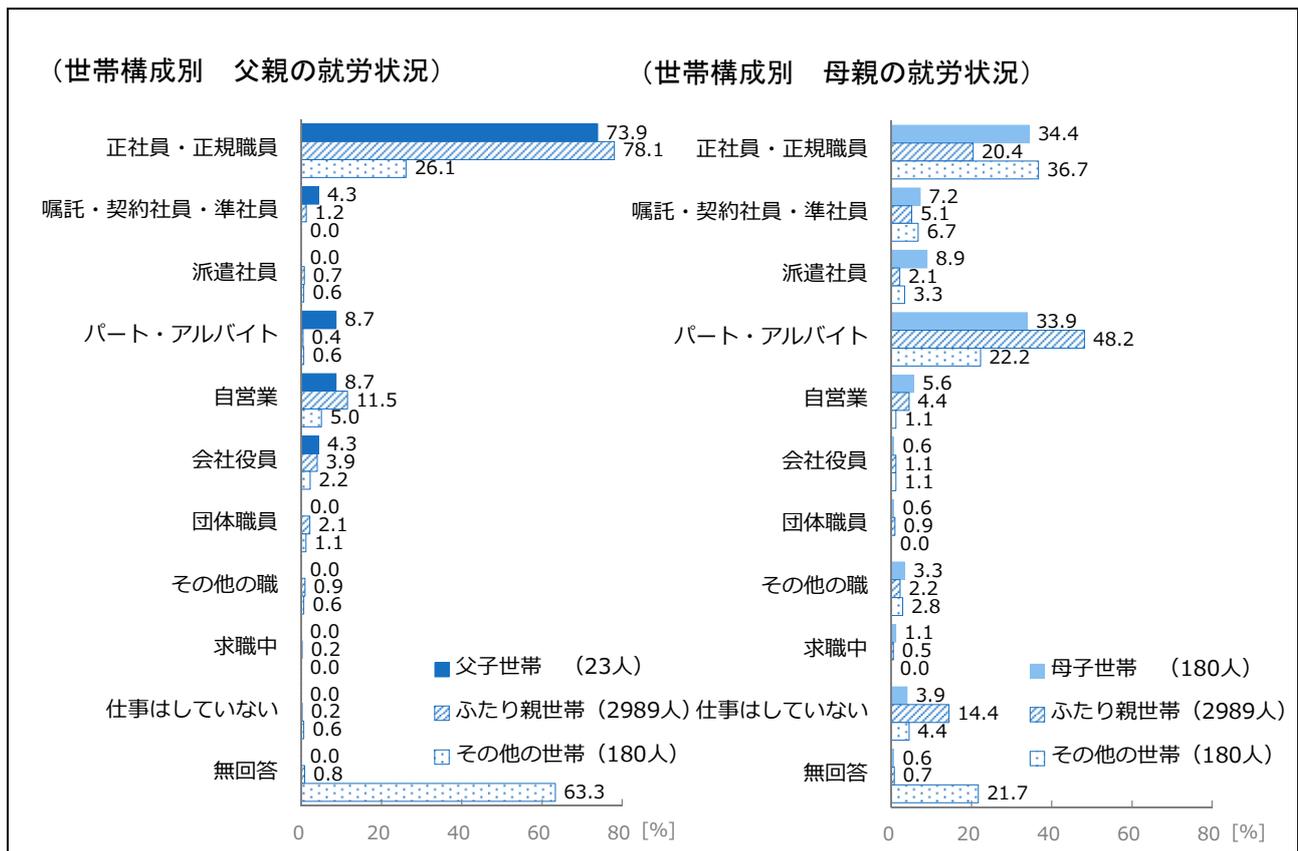


父親の就労状況は、「正社員・正規職員」75.1%が最も多く約4分の3を占め、次いで「自営業」11.1%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「正社員・正規職員」39.7%が少なく、「自営業」19.2%が比較的多くなっています。

母親の就労状況は、「パート・アルバイト」46.0%が最も多く、以下「正社員・正規職員」22.0%、「仕事はしていない」13.3%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「嘱託・契約社員・準社員」9.4%が比較的多くなっています。



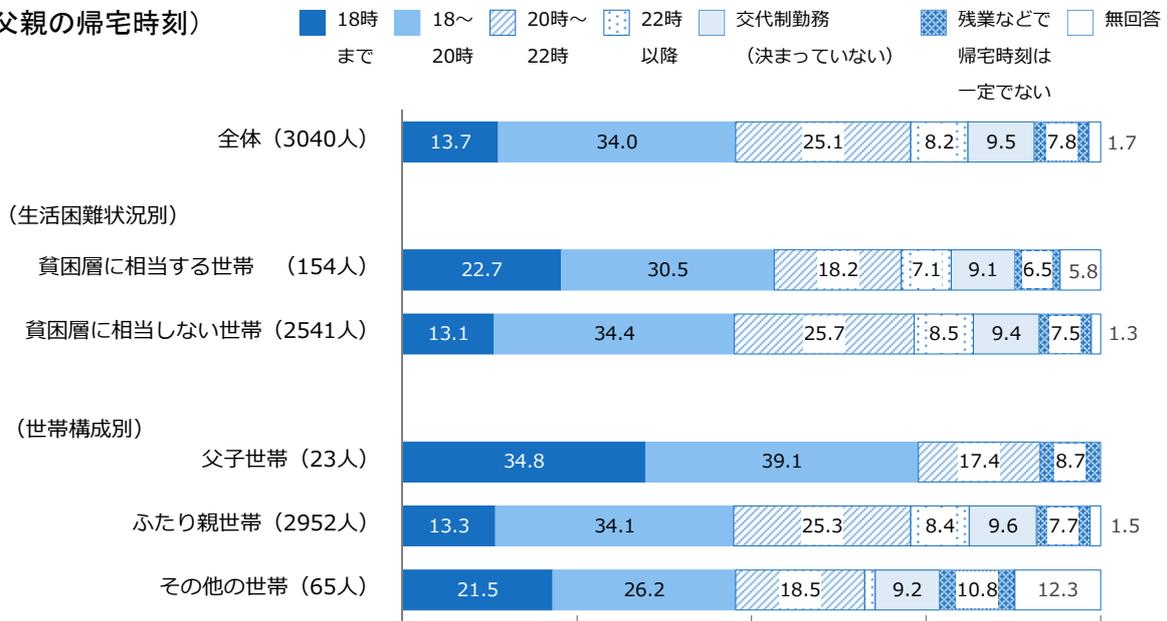
母親の就労状況を世帯構成別で見ると、母子世帯とその他の世帯では「正社員・正規職員」が比較的多くなっています（母子世帯：34.4%、その他の世帯：36.7%）。

## (9) 両親の帰宅時刻

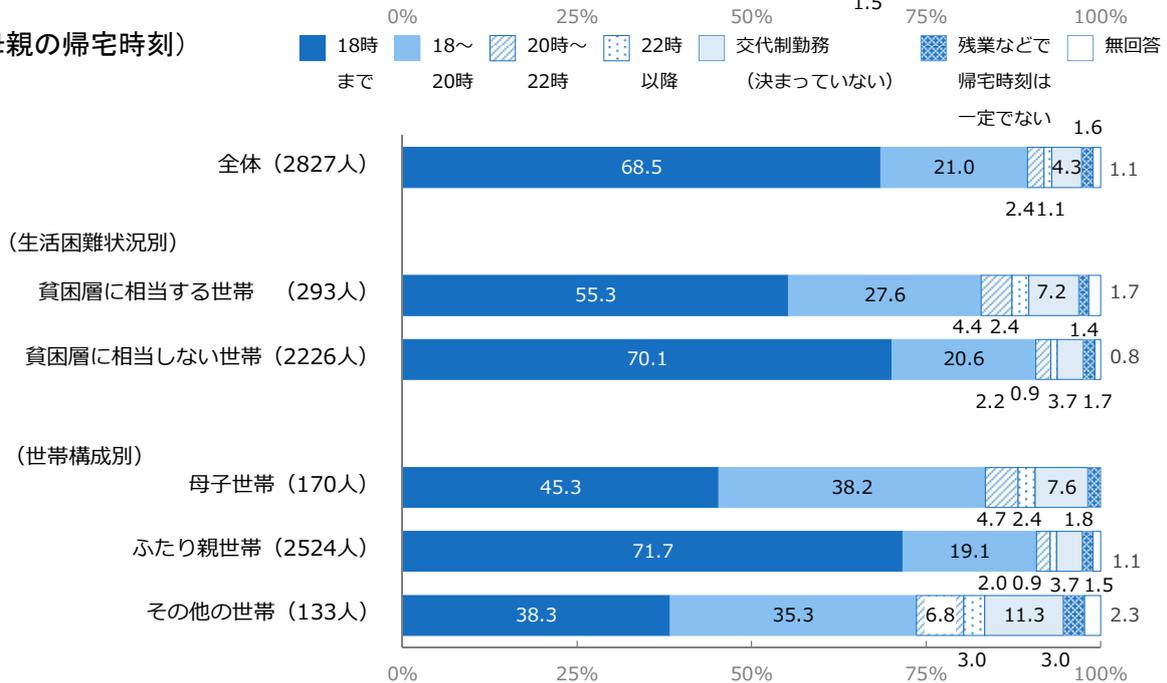
(問8で「1」～「8」を選んだ方におうかがいします。)

問8-1 お子さまのご両親の普段の帰宅時刻で、最も多い時間帯を選んでください。(それぞれ番号を1つ記入) ※ご自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間を選んでください。

(父親の帰宅時刻)



(母親の帰宅時刻)



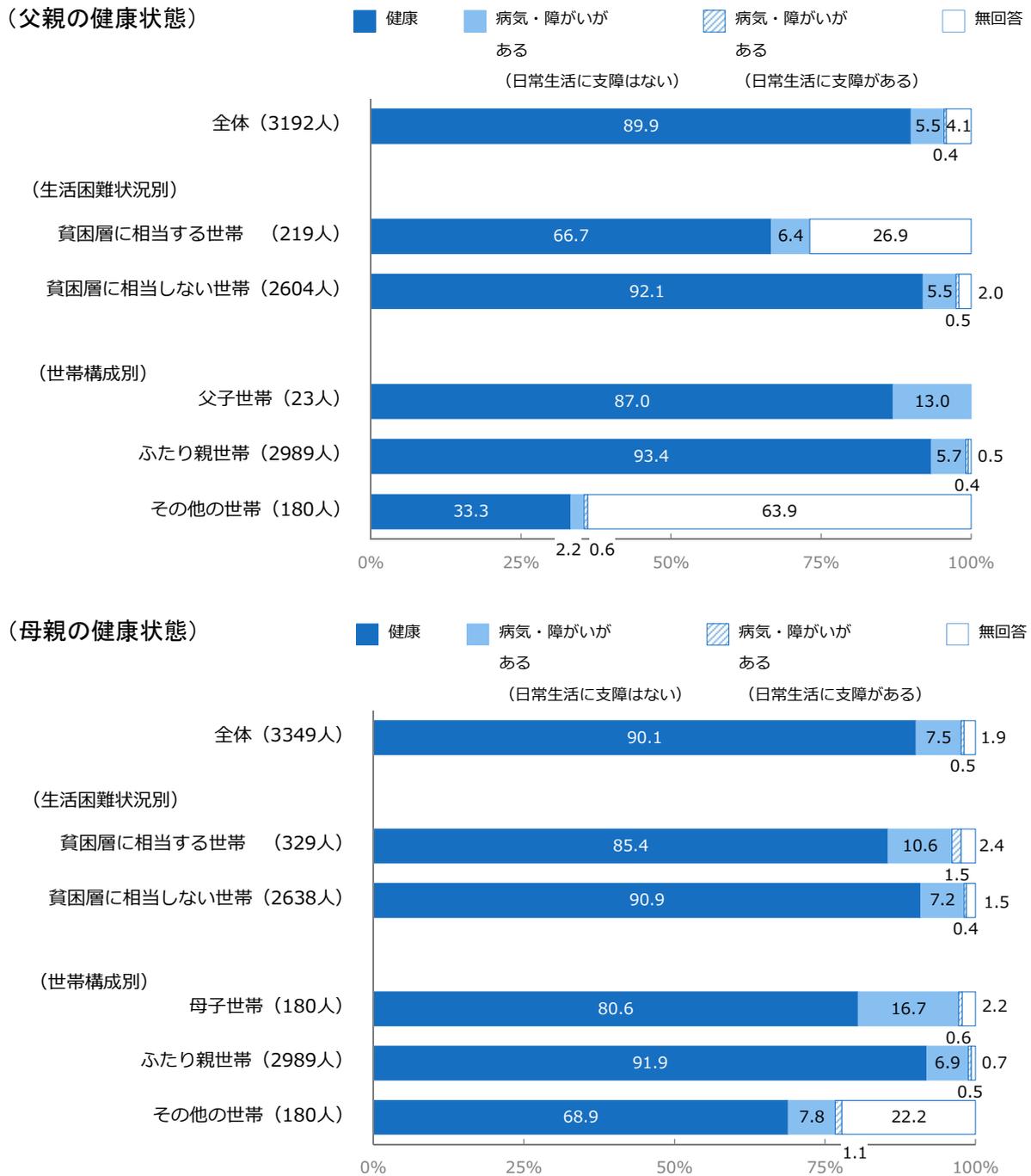
父親の帰宅時刻は、「18～20時」34.0%が最も多く、以下「20時～22時」25.1%、「18時まで」13.7%となっています。

母親の帰宅時刻は、「18時まで」68.5%が最も多く約4分の3を占め、次いで「18～20時」21.0%となっています。

世帯構成別でみると、母子世帯とその他の世帯では「18～20時」が比較的多くなっています(母子世帯: 38.2%、その他の世帯: 35.3%)。

## (10) 両親の健康状態

問9 お子さまのご両親の健康状態を教えてください。(それぞれ番号を1つ記入)

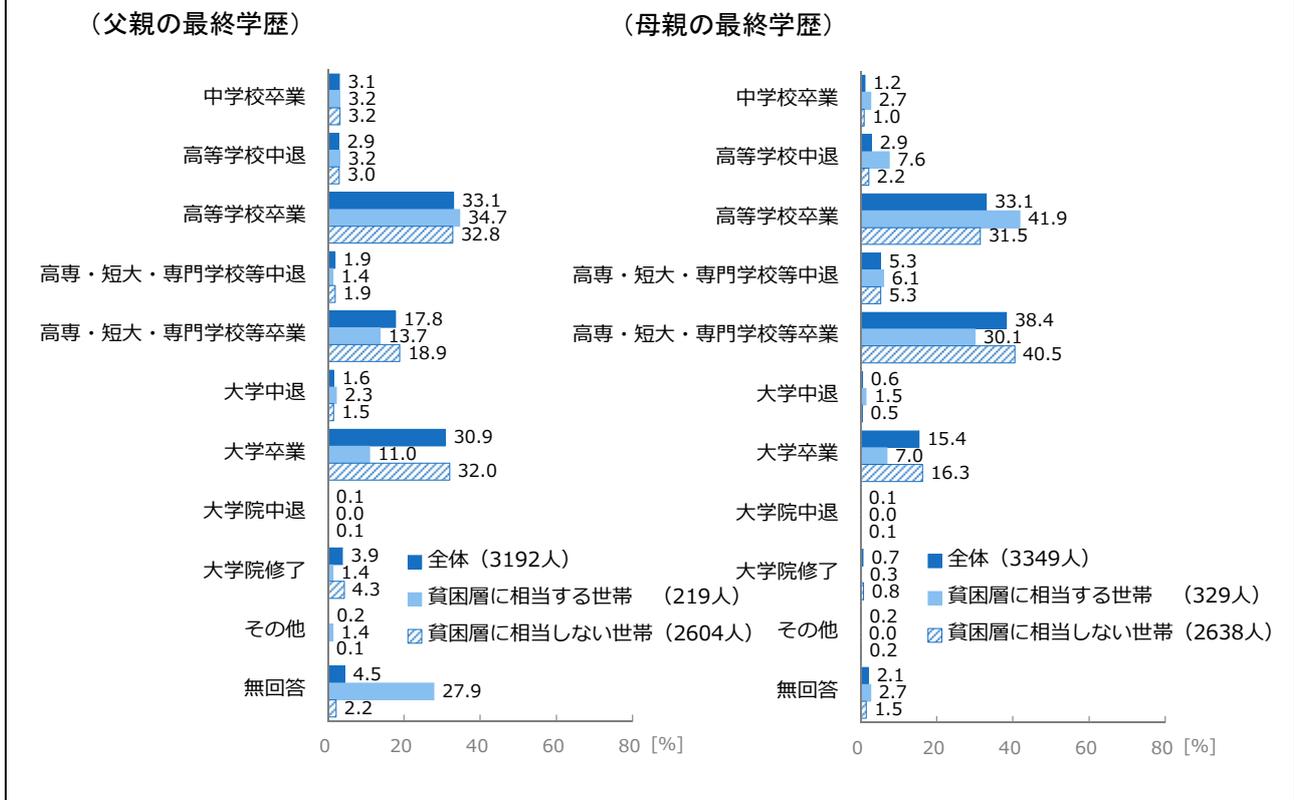


父親の健康状態は、「健康」89.9%が最も多く約9割を占め、次いで「病気・障がいがある（日常生活に支障はない）」5.5%となっています。

母親の健康状態は、「健康」90.1%が最も多く約9割を占め、次いで「病気・障がいがある（日常生活に支障はない）」7.5%となっています。

## (11) 両親の最終学歴

問 10 お子さまのご両親が最後に通った学校についてお答えください。(それぞれ番号を1つ記入)



父親の最終学歴は、「高等学校卒業」33.1%が最も多く、以下「大学卒業」30.9%、「高専・短大・専門学校等卒業」17.8%となっています。

母親の最終学歴は、「高専・短大・専門学校等卒業」38.4%が最も多く、以下「高等学校卒業」33.1%、「大学卒業」15.4%となっています。

## 2 世帯の経済的な状況について

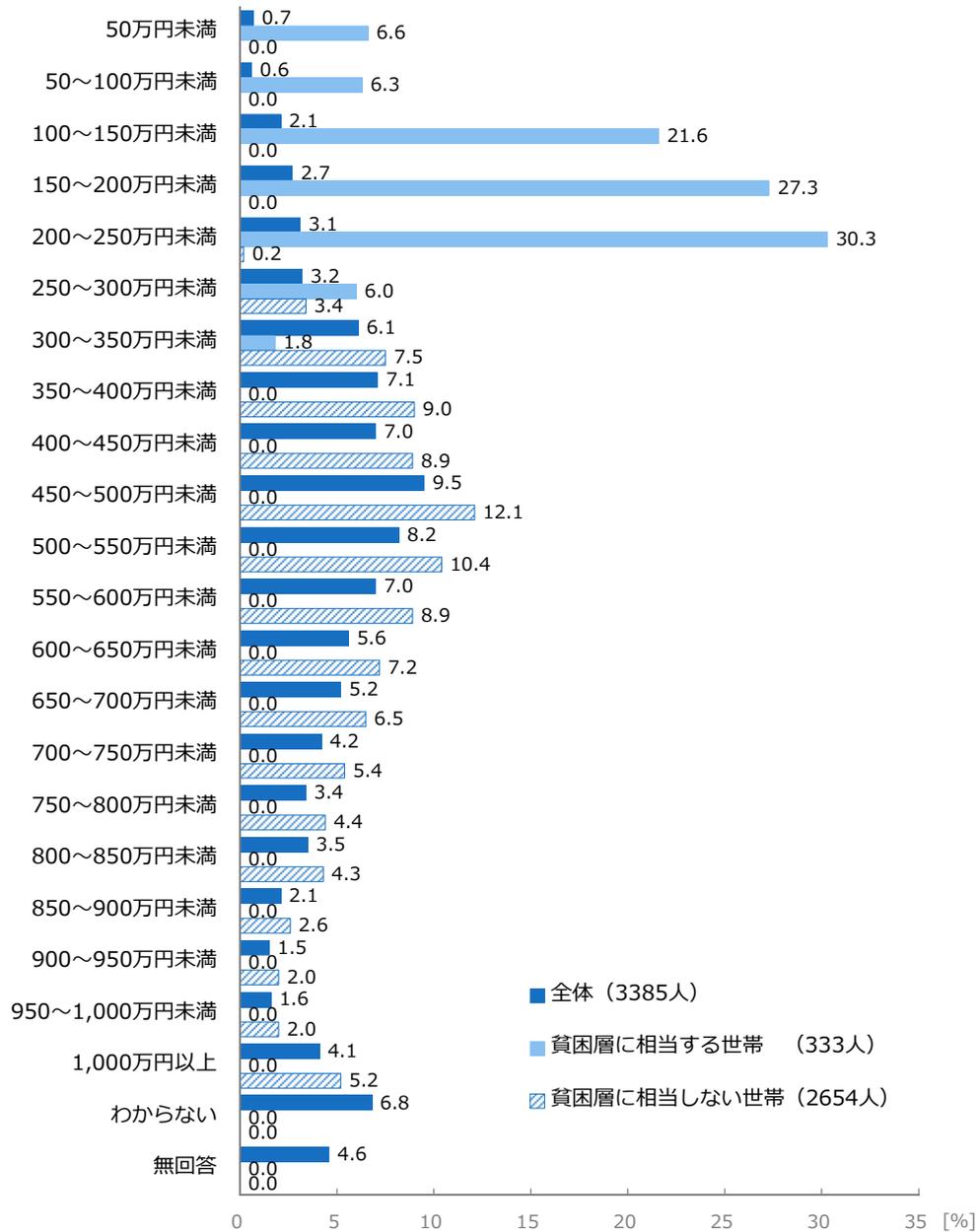
### (1) 世帯の手取り収入

問11 前年（平成30年）のあなたの世帯の手取り収入の合計額は、およそいくらでしたか。世帯の収入

（※1）から、税金や社会保険料の額（※2）を差し引いた後の額でお答えください。（1つに○）

（※1）収入は、働いて得た給料だけでなく、株式配当などの副収入、年金収入、公的な手当、養育費、仕送りを含めた額です。

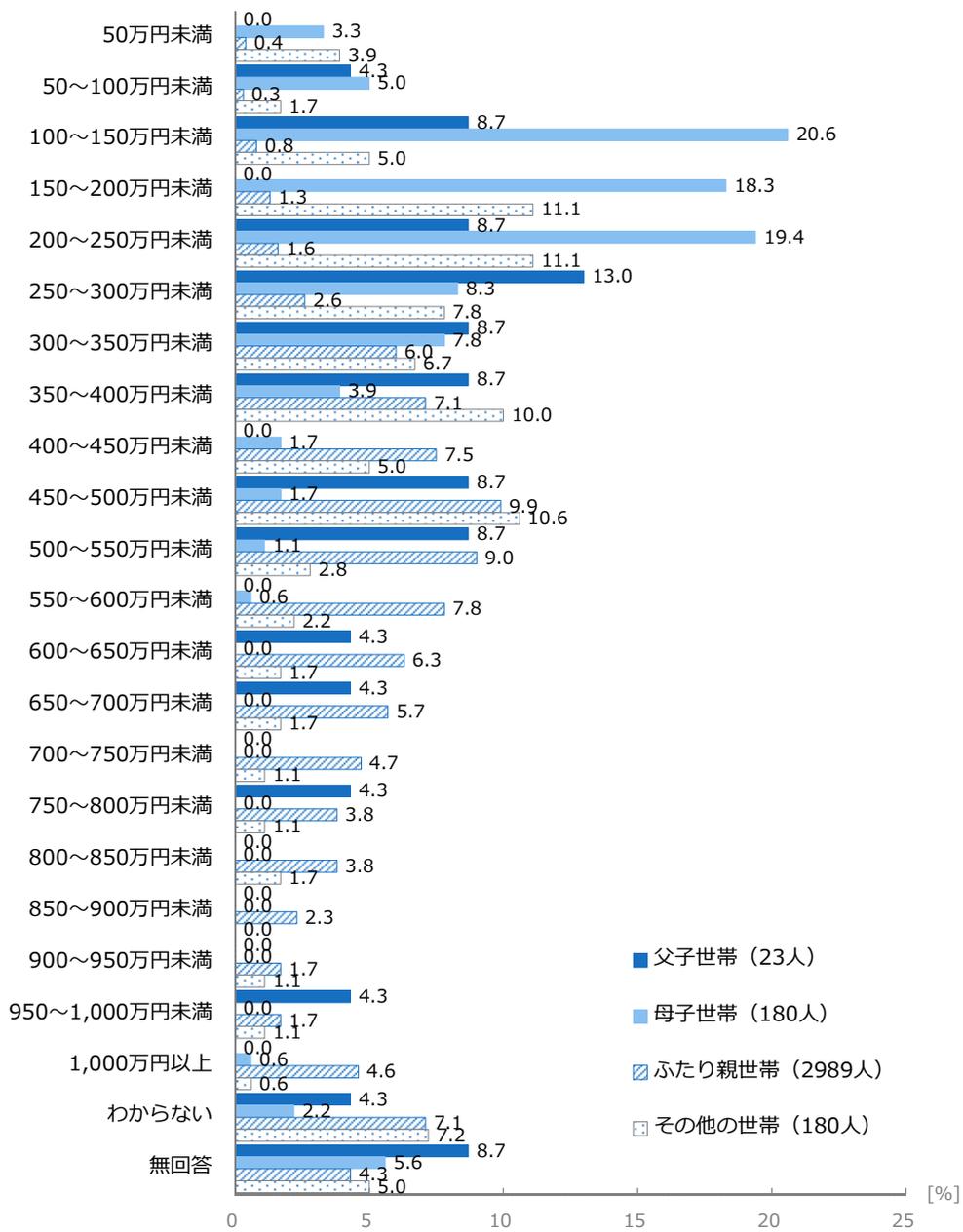
（※2）所得税、住民税、社会保険料、固定資産税等の合計額です。お子さまのご両親が最後に通った学校についてお答えください。（それぞれ番号を1つ記入）



前年（平成30年）の世帯の手取り収入の合計額は、「450～500万円未満」9.5%が最も多く、以下「500～550万円未満」8.2%、「350～400万円未満」7.1%、「400～450万円未満」と「550～600万円未満」各7.0%となっています。

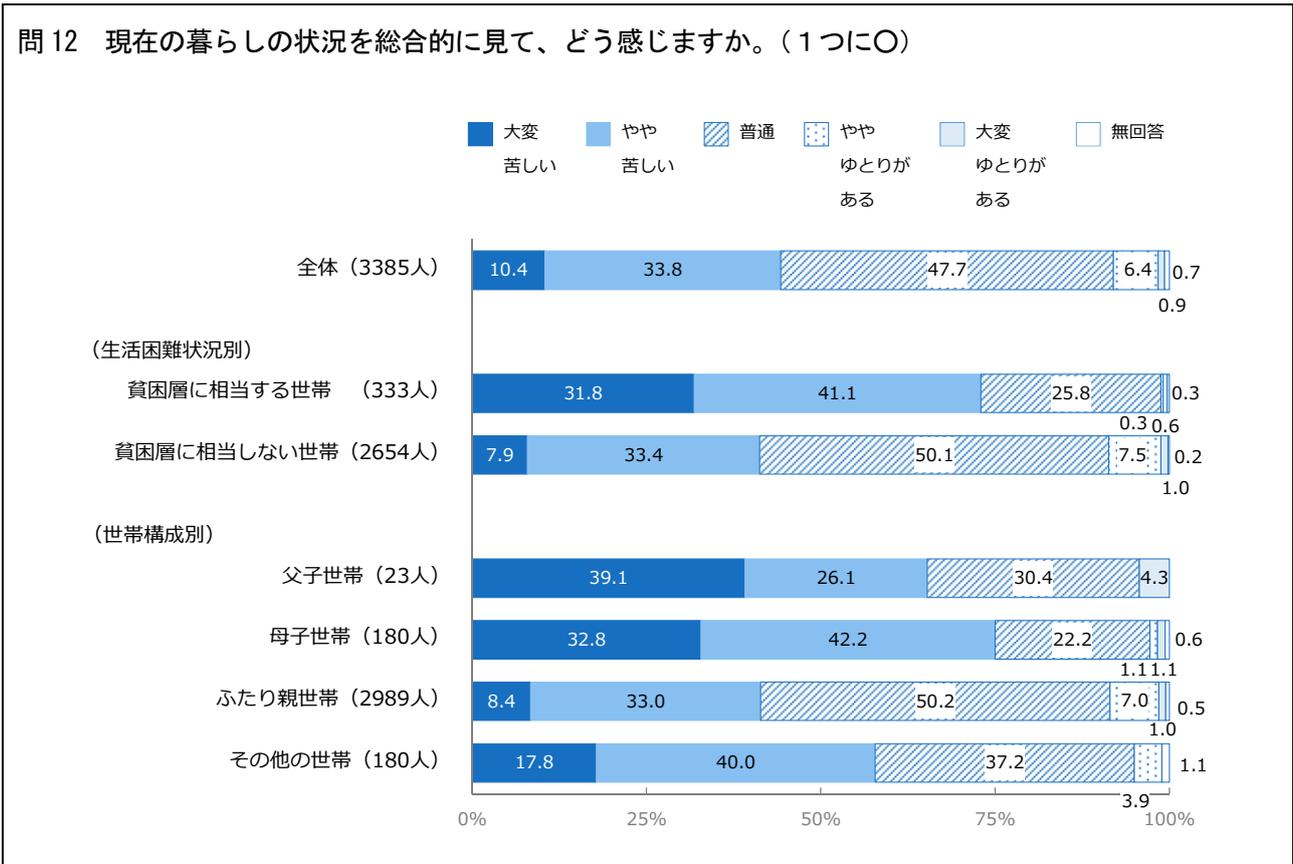
※P2「本調査における貧困層の定義」参照の通り、問2の世帯人数と問11の可処分所得から貧困層を算出しているため、貧困層に相当する世帯では「350万円以上」、貧困層に相当しない世帯では「200万円未満」はそれぞれ0となっています。

(世帯構成別)



世帯構成別で見ると、母子世帯では「100~150万円未満」20.6%、「150~200万円未満」18.3%、「200~250万円未満」19.4%が比較的多くなっています。

## (2) 現在の暮らしの状況

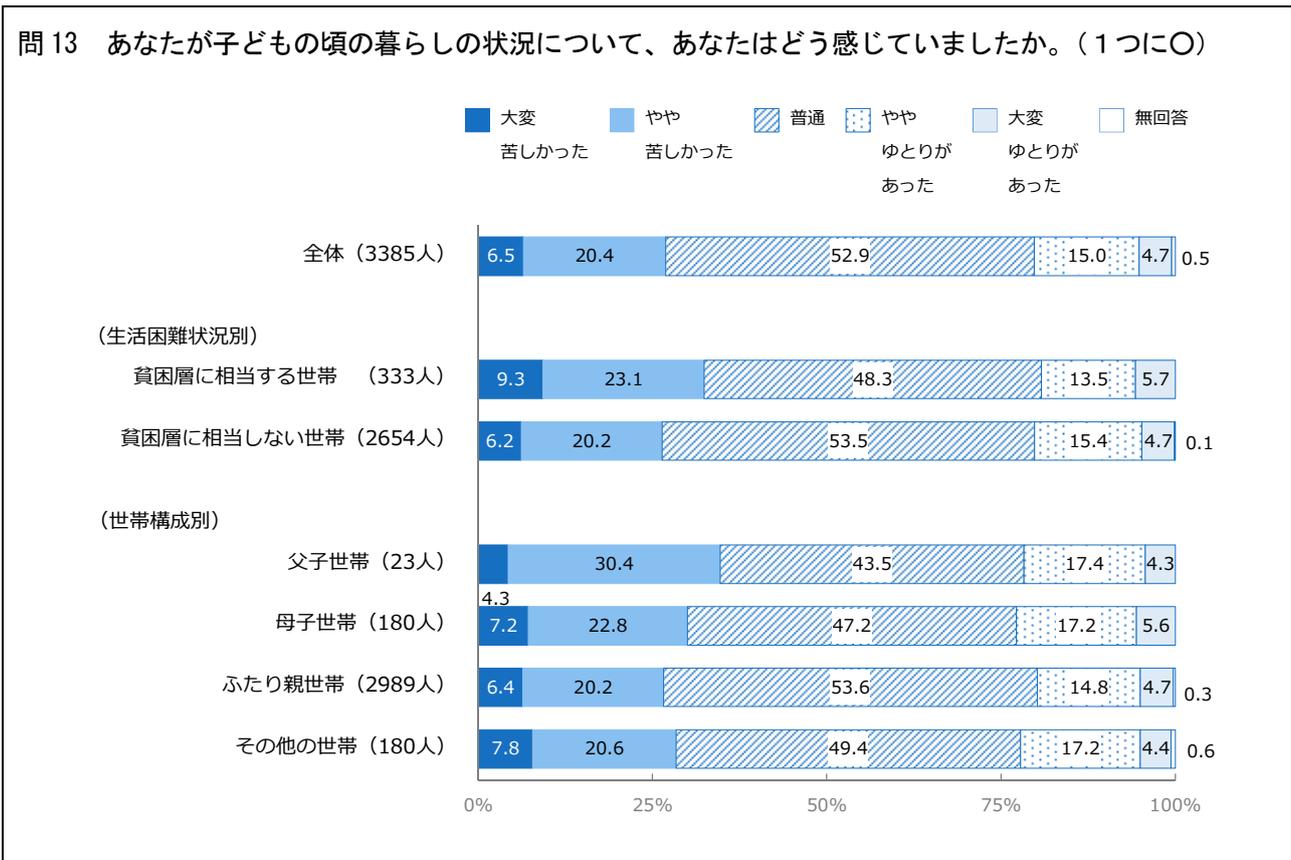


現在の暮らしの状況は、「普通」47.7%が最も多く、約半数を占めています。以下「やや苦しい」33.8%、「大変苦しい」10.4%、「ややゆとりがある」6.4%となっています。大別すると、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は44.2%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』は7.3%となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当する世帯では「大変苦しい」が31.8%と多く、「やや苦しい」41.1%と合わせた『苦しい』は7割以上を占めています。

世帯構成別で見ると、母子世帯では「大変苦しい」が32.8%と多く、「やや苦しい」42.2%と合わせた『苦しい』は4分の3を占めています。

### (3) 回答者が子どもの頃の暮らしの状況

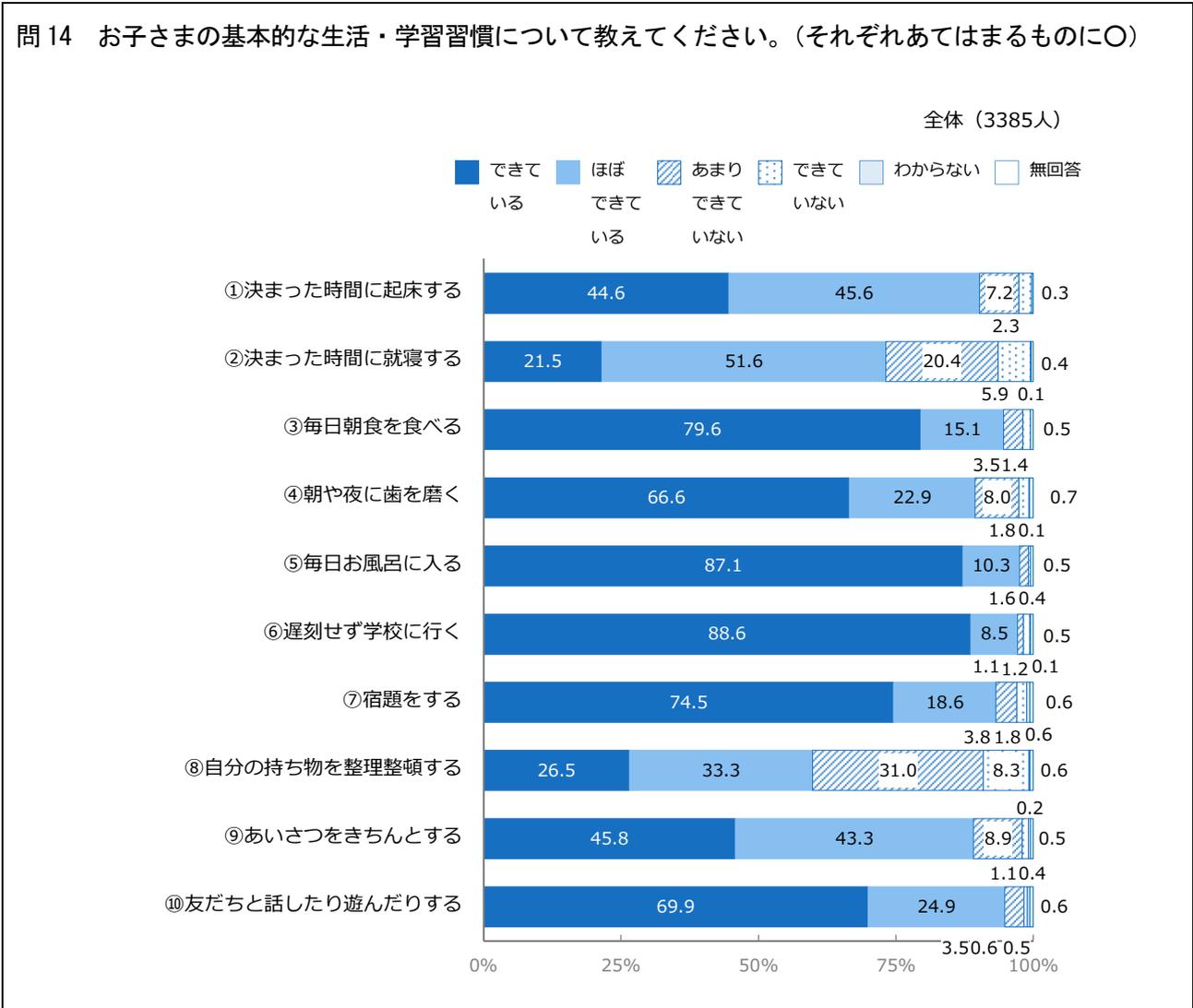


回答者が子どもの頃の暮らしの状況は、「普通」52.9%が最も多く、半数以上を占めています。以下「やや苦しかった」20.4%、「ややゆとりがあった」15.0%、「大変苦しかった」6.5%、「大変ゆとりがあった」4.7%となっています。大別すると、「大変苦しかった」と「やや苦しかった」を合わせた『苦しかった』は26.9%、「ややゆとりがあった」と「大変ゆとりがあった」を合わせた『ゆとりがあった』は19.7%となっています。

生活困難状況別、世帯構成別による差はあまりみられていません。

### 3 お子さまとの関わり、習慣について

#### (1) 子どもの基本的な生活・学習習慣



子どもの基本的な生活・学習習慣として「できている」との回答は、〔⑥遅刻せず学校に行く〕88.6%で最も多く、以下〔⑤毎日お風呂に入る〕87.1%、〔③毎日朝食を食べる〕79.6%、〔⑦宿題をする〕74.5%、〔⑩友だちと話したり遊んだりする〕69.9%と続いています。

一方、〔②決まった時間に就寝する〕と〔⑧自分の持ち物を整理整頓する〕では「できている」との回答が2割台と少なく（「できている」 ②決まった時間に就寝する：21.5%、⑧自分の持ち物を整理整頓する：26.5%）、「あまりできていない」との回答が多くなっています。（「あまりできていない」 ②決まった時間に就寝する：20.4%、⑧自分の持ち物を整理整頓する：31.0%）。

(生活困難状況別・世帯構成別 『できている』と『できていない』)

	全体 (3385人)	生活困難状況別		世帯構成別				
		貧困層に 相当する 世帯 (333人)	貧困層に 相当しない 世帯 (2654人)	父子世帯 (23人)	母子世帯 (180人)	ふたり親 世帯 (2989人)	その他の 世帯 (180人)	
『 でき て い る 』	①決まった時間に起床する	90.2	<b>84.4</b>	91.4	82.6	<b>82.8</b>	91.1	87.2
	②決まった時間に就寝する	73.1	<b>65.2</b>	74.9	69.6	<b>61.1</b>	74.4	<b>66.1</b>
	③毎日朝食を食べる	94.7	<b>88.9</b>	95.8	82.6	<b>88.3</b>	95.4	93.3
	④朝や夜に歯を磨く	89.5	85.0	90.5	65.2	<b>83.9</b>	90.5	<b>83.3</b>
	⑤毎日お風呂に入る	97.5	97.0	97.9	91.3	93.9	98.0	97.2
	⑥遅刻せず学校に行く	97.2	96.1	97.9	91.3	93.3	97.6	97.8
	⑦宿題をする	93.2	90.1	94.0	82.6	<b>82.8</b>	94.3	91.1
	⑧自分の持ち物を整理整頓する	59.8	59.2	60.3	56.5	56.7	60.4	56.7
	⑨あいさつをきちんとする	89.1	88.9	89.5	78.3	90.0	89.5	87.8
	⑩友だちと話したり遊んだりする	94.8	92.8	95.4	82.6	91.1	95.4	94.4
『 でき て い な い 』	①決まった時間に起床する	9.5	<b>15.6</b>	8.5	17.4	<b>17.2</b>	8.8	12.8
	②決まった時間に就寝する	26.4	<b>34.8</b>	24.8	30.4	<b>38.9</b>	25.2	<b>33.3</b>
	③毎日朝食を食べる	4.8	<b>11.1</b>	4.0	17.4	<b>11.7</b>	4.2	6.7
	④朝や夜に歯を磨く	9.8	14.1	9.1	34.8	<b>15.0</b>	8.9	<b>16.1</b>
	⑤毎日お風呂に入る	2.0	2.7	1.9	8.7	5.6	1.7	2.8
	⑥遅刻せず学校に行く	2.2	3.6	1.9	8.7	6.1	2.0	2.2
	⑦宿題をする	5.6	8.4	5.2	17.4	<b>15.0</b>	4.7	7.8
	⑧自分の持ち物を整理整頓する	39.4	39.6	39.4	43.5	40.6	39.1	43.3
	⑨あいさつをきちんとする	10.0	10.5	10.1	21.7	8.3	9.8	12.2
	⑩友だちと話したり遊んだりする	4.1	5.7	4.0	17.4	5.6	3.7	5.6

 全体よりも5ポイント以上多い

 全体よりも5ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において『できている』が多ければ『できていない』が少なくなり、『できている』が少なければ『できていない』が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

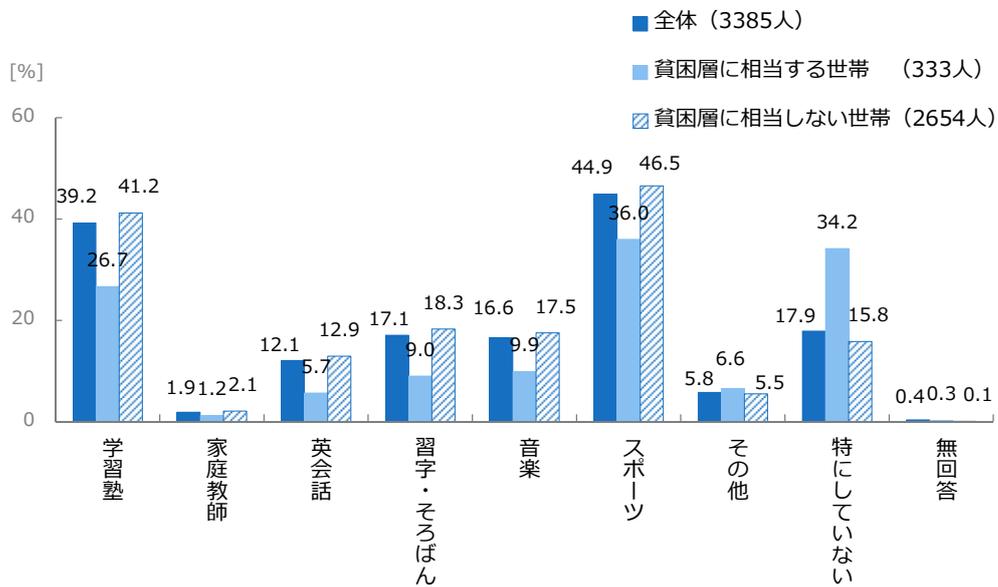
\* 『できていない』（「あまりできていない」＋「できていない」）

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔①決まった時間に起床する〕15.6%、〔②決まった時間に就寝する〕34.8%、〔③毎日朝食を食べる〕11.1%で比較的多くなっています。

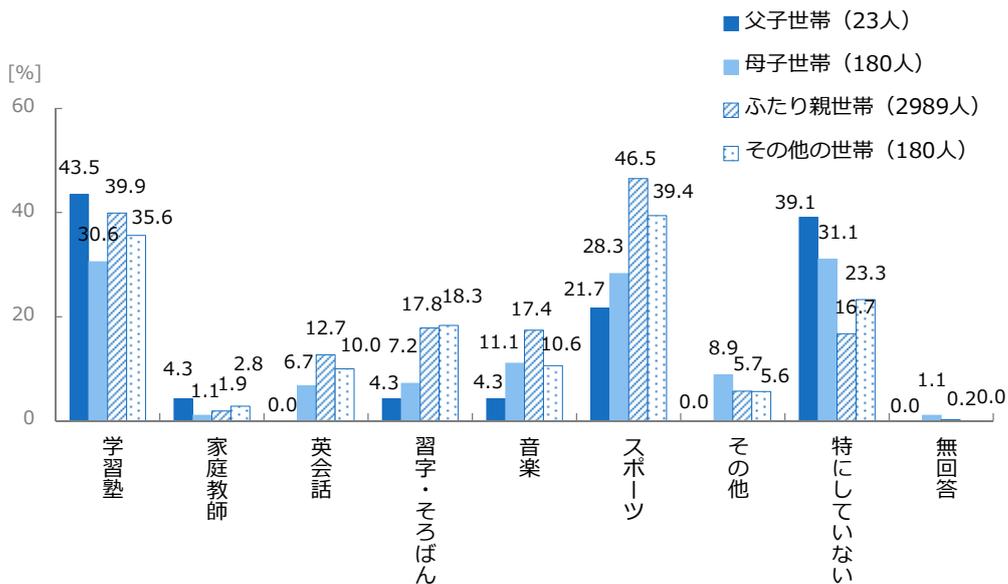
世帯構成別でみると、母子世帯では〔①決まった時間に起床する〕17.2%、〔②決まった時間に就寝する〕38.9%、〔③毎日朝食を食べる〕11.7%、〔④朝や夜に歯を磨く〕15.0%、〔⑦宿題をする〕15.0%で、その他の世帯では〔②決まった時間に就寝する〕33.3%、〔④朝や夜に歯を磨く〕16.1%で比較的多くなっています。

## (2) 子どもの習い事の状況

問15 お子さまは習い事をしていますか。以下のうちあてはまるものにお答えください。(あてはまるものすべてに○)



(世帯構成別)

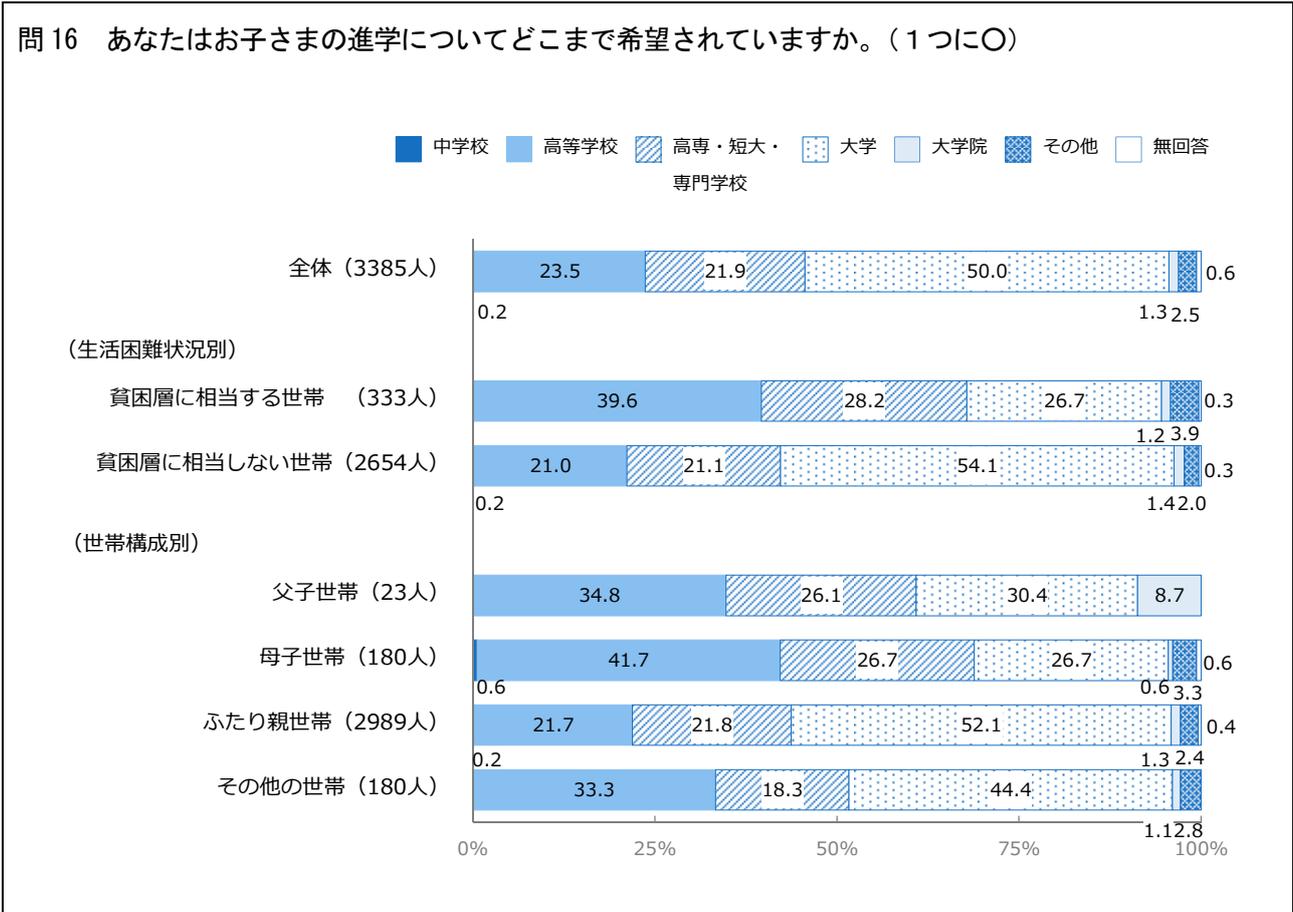


子どもの習い事の状況は、「スポーツ」44.9%が最も多く、以下「学習塾」39.2%、「習字・そろばん」17.1%、「音楽」16.6%となっています。また、「特にしていない」は17.9%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「特にしていない」34.2%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では「特にしていない」31.1%が比較的多くなっています。

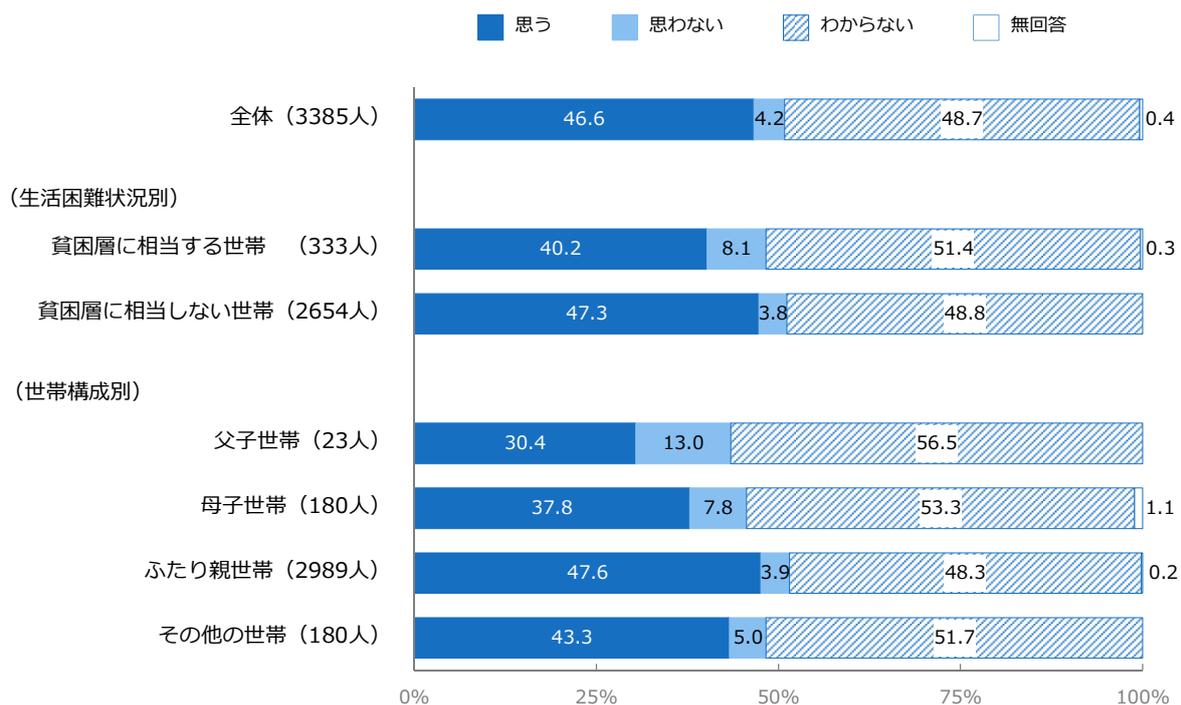
### (3) 回答者が希望する子どもの進学先



回答者が希望する子どもの進学先は、「大学」50.0%が最も多く、半数を占めています。以下「高等学校」23.5%、「高専・短大・専門学校」21.9%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「高等学校」39.6%が比較的多くなっています。世帯構成別でみると、母子世帯では「高等学校」41.7%が比較的多くなっています。

問 16-1 あなたは、お子さまが問 16 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。(1つに○)



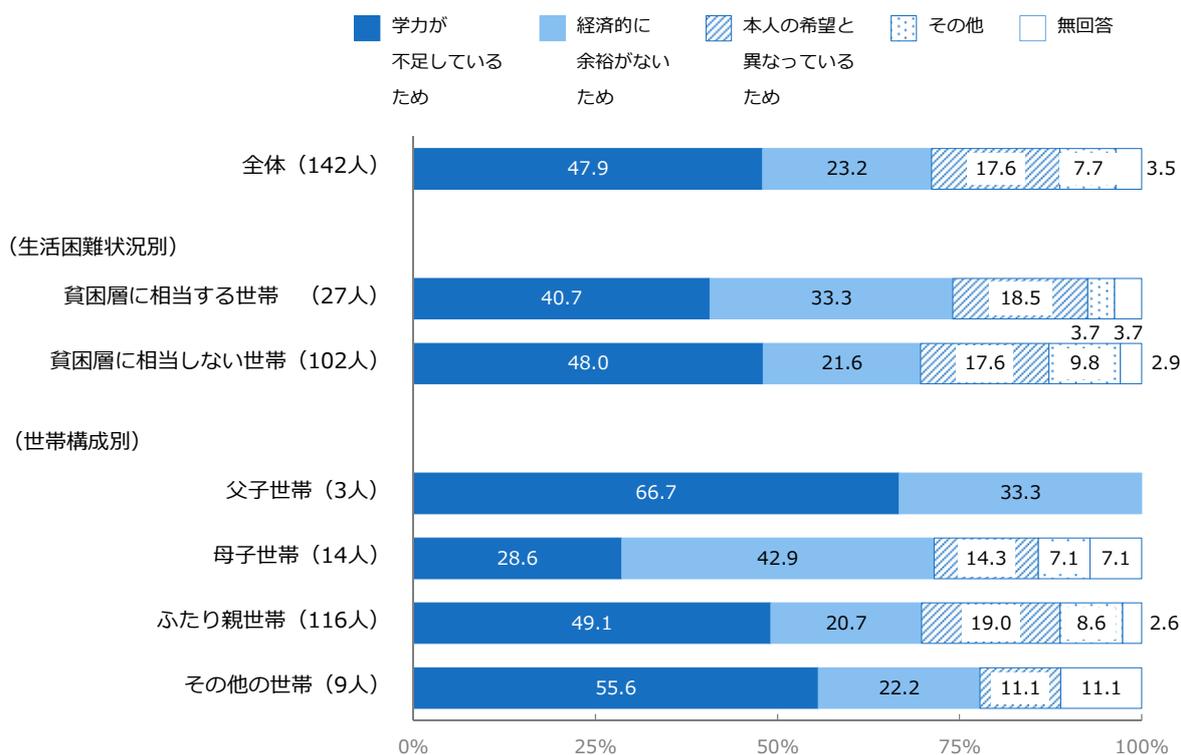
子どもの進学希望についての見通しは、「わからない」48.7%が最も多く、以下「(希望どおりの学校まで進むと) 思う」46.6%、「(希望どおりの学校まで進むと) 思わない」4.2%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「思う」40.2%が比較的少なくなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では「思う」37.8%が比較的少なくなっています。

(問 16-1 で「2」を選んだ方におうかがいします。)

問 16-2 その理由として、主なものをお答えください。(1つに○)



子どもが「回答者の希望通りの学校まで進むとは思わない」と回答した人(142人)の、子どもが回答者の希望通りの学校まで進むと思わない理由は、「学力が不足しているため」47.9%が最も多く、以下「経済的に余裕がないため」23.2%、「本人の希望と異なっているため」17.6%となっています。

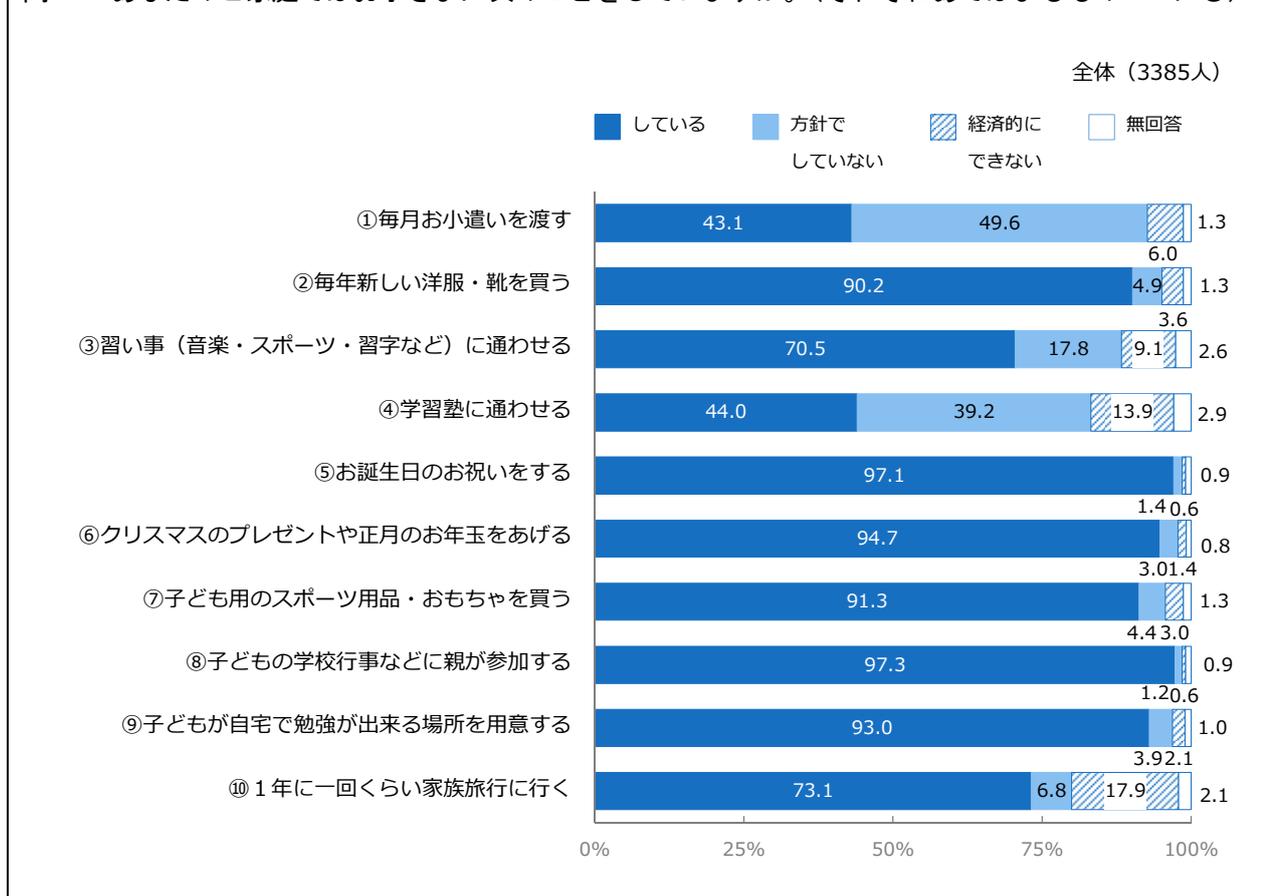
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「経済的に余裕がないため」33.3%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では「経済的に余裕がないため」42.9%が比較的多くなっています。

## 4 子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて

### (1) 子どもへの金品や機会等の提供

問17 あなたのご家庭ではお子さまに次のことをしていますか。(それぞれあてはまるもの1つに○)



子どもへの金品や機会等の提供として「している」との回答は、〔⑧子どもの学校行事などに親が参加する〕97.3%で最も多く、以下〔⑤お誕生日のお祝いをする〕97.1%、〔⑥クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる〕94.7%、〔⑨子どもが自宅で勉強が出来る場所を用意する〕93.0%、〔⑦子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う〕91.3%、〔②毎年新しい洋服・靴を買う〕90.2%と続き、この6項目では「している」が9割以上となっています。

一方、「方針でしていない」との回答は、〔①毎月お小遣いを渡す〕49.6%で最も多く、以下〔④学習塾に通わせる〕39.2%、〔③習い事(音楽・スポーツ・習字など)に通わせる〕17.8%と続いています。

また、「経済的にできない」との回答は、〔⑩1年に一回くらい家族旅行に行く〕17.9%で最も多く、以下〔④学習塾に通わせる〕13.9%、〔③習い事(音楽・スポーツ・習字など)に通わせる〕9.1%と続いています。

(生活困難状況別・世帯構成別 「方針でしていない」と「経済的にできない」)

	全体 (3385人)	生活困難状況別		世帯構成別				
		貧困層に 相当する 世帯 (333人)	貧困層に 相当しない 世帯 (2654人)	父子世帯 (23人)	母子世帯 (180人)	ふたり親 世帯 (2989人)	その他の 世帯 (180人)	
「 方 針 で し て い な い」	①毎月お小遣いを渡す	49.6	44.1	49.5	56.5	<b>38.9</b>	50.4	47.8
	②毎年新しい洋服・靴を買う	4.9	6.0	4.5	8.7	3.3	4.9	6.1
	③習い事（音楽・スポーツ・ 習字など）に通わせる	17.8	17.1	17.9	26.1	12.2	18.1	17.8
	④学習塾に通わせる	39.2	<b>29.1</b>	40.4	26.1	<b>17.8</b>	41.1	32.8
	⑤お誕生日のお祝いをする	1.4	1.5	1.4	4.3	2.2	1.3	1.7
	⑥クリスマスのプレゼントや 正月のお年玉をあげる	3.0	4.2	2.7	8.7	4.4	2.9	2.2
	⑦子ども用のスポーツ用品・ おもちゃを買う	4.4	8.1	3.9	4.3	9.4	3.9	6.7
	⑧子どもの学校行事などに 親が参加する	1.2	3.6	0.7	-	3.9	0.9	2.8
	⑨子どもが自宅で勉強が出来る 場所を用意する	3.9	5.1	3.6	4.3	6.1	3.6	5.6
	⑩1年に一回くらい家族旅行に行く	6.8	6.6	6.4	17.4	4.4	6.8	8.3
「 経 済 的 に で き な い」	①毎月お小遣いを渡す	6.0	<b>19.5</b>	4.5	8.7	<b>26.1</b>	4.4	11.7
	②毎年新しい洋服・靴を買う	3.6	<b>13.8</b>	2.6	13.0	<b>17.2</b>	2.7	4.4
	③習い事（音楽・スポーツ・ 習字など）に通わせる	9.1	<b>27.6</b>	6.7	30.4	<b>36.1</b>	7.0	16.1
	④学習塾に通わせる	13.9	<b>36.6</b>	11.4	21.7	<b>43.9</b>	11.5	23.3
	⑤お誕生日のお祝いをする	0.6	1.8	0.6	-	2.2	0.5	1.1
	⑥クリスマスのプレゼントや 正月のお年玉をあげる	1.4	5.7	1.0	4.3	7.8	0.9	3.3
	⑦子ども用のスポーツ用品・ おもちゃを買う	3.0	11.7	2.0	4.3	<b>13.3</b>	2.1	6.1
	⑧子どもの学校行事などに 親が参加する	0.6	3.0	0.4	8.7	2.2	0.4	2.2
	⑨子どもが自宅で勉強が出来る 場所を用意する	2.1	9.0	1.4	-	10.6	1.4	5.6
	⑩1年に一回くらい家族旅行に行く	17.9	<b>41.1</b>	15.6	26.1	<b>48.9</b>	15.8	23.3

 全体よりも10ポイント以上多い

 全体よりも10ポイント以上少ない

\* 「方針でしていない」

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔④学習塾に通わせる〕29.1%で比較的少なくなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔①毎月お小遣いを渡す〕38.9%、〔④学習塾に通わせる〕17.8%で比較的少なくなっています。

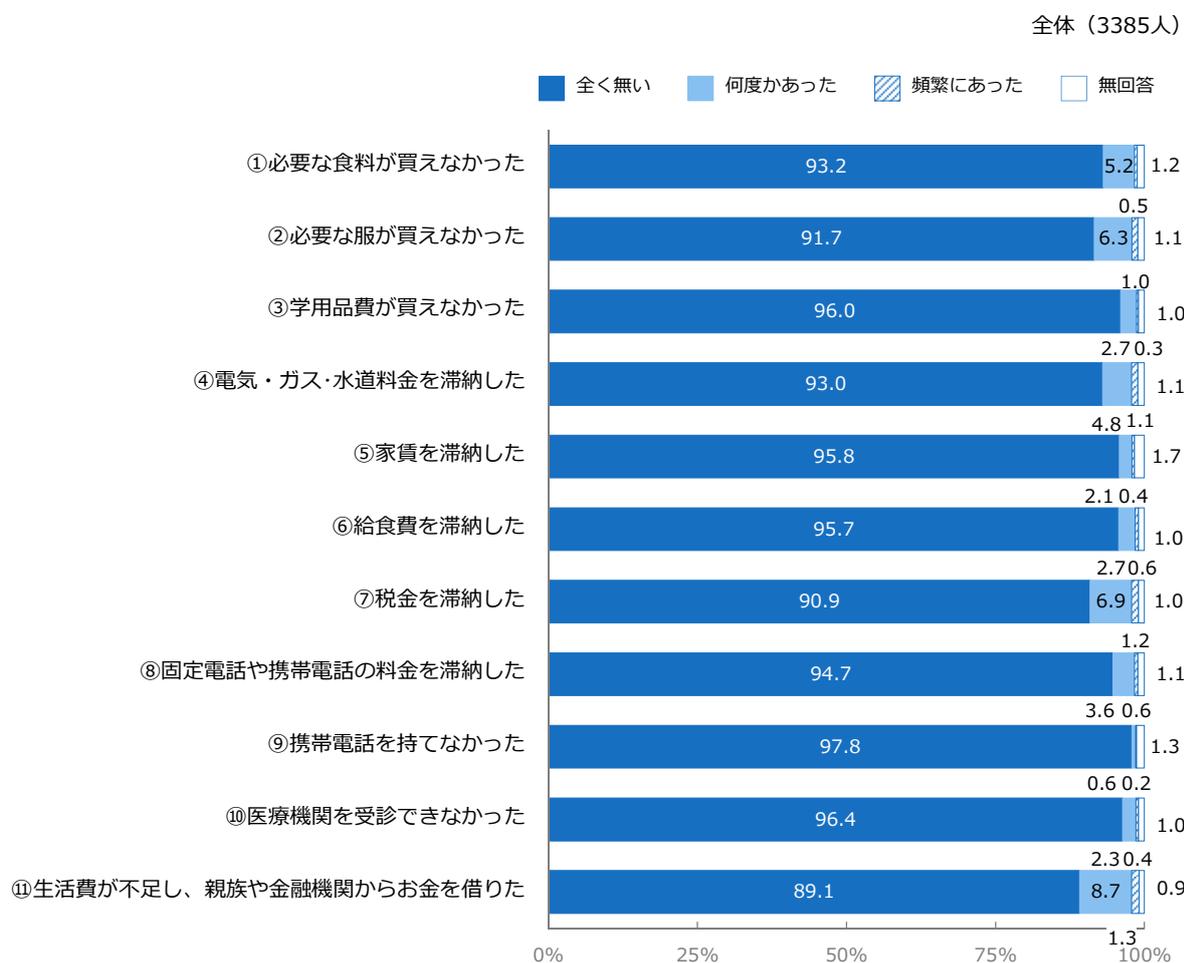
\* 「経済的にできない」

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔①毎月お小遣いを渡す〕19.5%、〔②毎年新しい洋服・靴を買う〕13.8%、〔③習い事（音楽・スポーツ・習字など）に通わせる〕27.6%、〔④学習塾に通わせる〕36.6%、〔⑩1年に一回くらい家族旅行に行く〕41.1%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔①毎月お小遣いを渡す〕26.1%、〔②毎年新しい洋服・靴を買う〕、17.2%、〔③習い事（音楽・スポーツ・習字など）に通わせる〕36.1%、〔④学習塾に通わせる〕43.9%、〔⑦子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う〕13.3%、〔⑩1年に一回くらい家族旅行に行く〕48.9%で比較的多くなっています。

## (2) 経済的困窮の経験

問 18 あなたのご家庭では、過去一年間に経済的な理由による次のような経験がありましたか。(それぞれあてはまるもの1つに○)



過去一年間の経済的困窮の経験の有無として、「全く無い」との回答は①～⑪の全ての項目で9割前後を占めています。

一方、「何度かあった」との回答は、〔⑪生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた〕8.7%で最も多く、以下〔⑦税金を滞納した〕6.9%、〔②必要な服が買えなかった〕6.3%、〔①必要な食料が買えなかった〕5.2%と続いています。

(生活困難状況別・世帯構成別 『あった』)

	全体 (3385人)	生活困難状況別		世帯構成別				
		貧困層に 相当する 世帯 (333人)	貧困層に 相当しない 世帯 (2654人)	父子世帯 (23人)	母子世帯 (180人)	ふたり親 世帯 (2989人)	その他の 世帯 (180人)	
『 あ っ た 』	①必要な食料が買えなかった	5.7	20.7	4.0	21.7	26.7	4.1	8.9
	②必要な服が買えなかった	7.2	24.6	5.5	21.7	31.1	5.5	10.6
	③学用品費が買えなかった	3.0	13.8	1.7	8.7	19.4	1.8	5.6
	④電気・ガス・水道料金を滞納した	5.9	16.2	4.6	21.7	23.9	4.7	6.1
	⑤家賃を滞納した	2.5	9.6	1.5	13.0	15.6	1.6	2.2
	⑥給食費を滞納した	3.3	13.2	2.0	17.4	16.7	2.2	6.7
	⑦税金を滞納した	8.1	22.2	6.2	21.7	22.8	6.7	13.3
	⑧固定電話や携帯電話の料金を滞納した	4.2	15.0	2.7	8.7	19.4	2.9	8.3
	⑨携帯電話を持てなかった	0.9	3.0	0.6	-	3.9	0.6	1.7
	⑩医療機関を受診できなかった	2.6	8.7	2.0	8.7	8.3	2.0	6.7
	⑪生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた	10.0	27.0	8.3	26.1	34.4	8.2	14.4

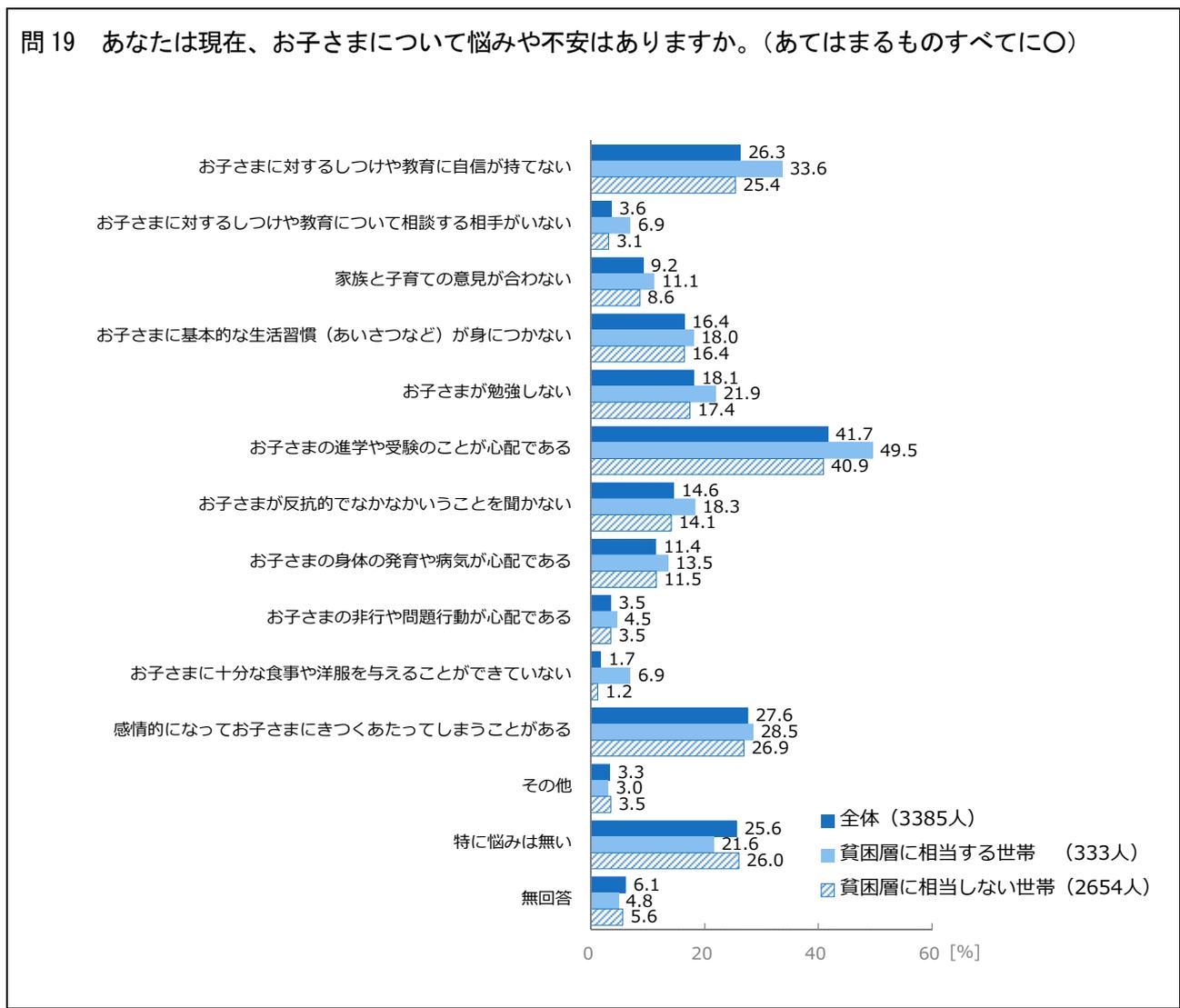
 全体よりも10ポイント以上多い

\* 『あった』（「何度かあった」＋「頻繁にあった」）

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔⑤家賃を滞納した〕〔⑥給食費を滞納した〕〔⑨携帯電話を持てなかった〕〔⑩医療機関を受診できなかった〕を除く11項目中7項目で『あった』との回答が多くなっています。特に〔⑪生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた〕27.0%と〔②必要な服が買えなかった〕24.6%では約4分の1を占めています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔⑨携帯電話を持てなかった〕と〔⑩医療機関を受診できなかった〕を除く11項目中9項目で『あった』との回答が多くなっています。特に〔⑪生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた〕34.4%と〔②必要な服が買えなかった〕31.1%では3割以上を占めています。

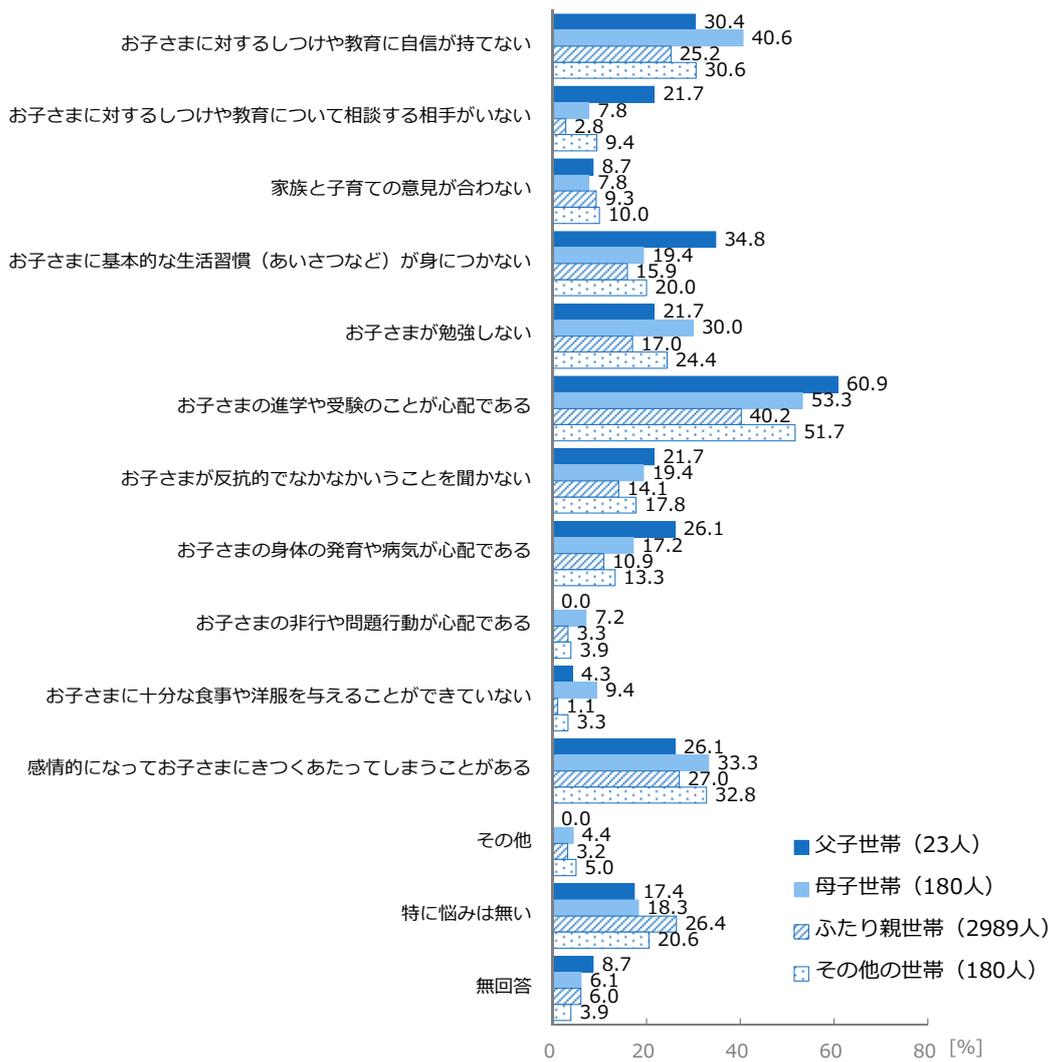
### (3) 子どもについての悩みや不安



子どもについての悩みや不安は、「お子さまの進学や受験のことが心配である」41.7%が最も多く、以下「感情的になってお子さまにきつくあたってしまうことがある」27.6%、「お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない」26.3%、「お子さまが勉強しない」18.1%となっています。また、「特に悩みは無い」は25.6%となっています。

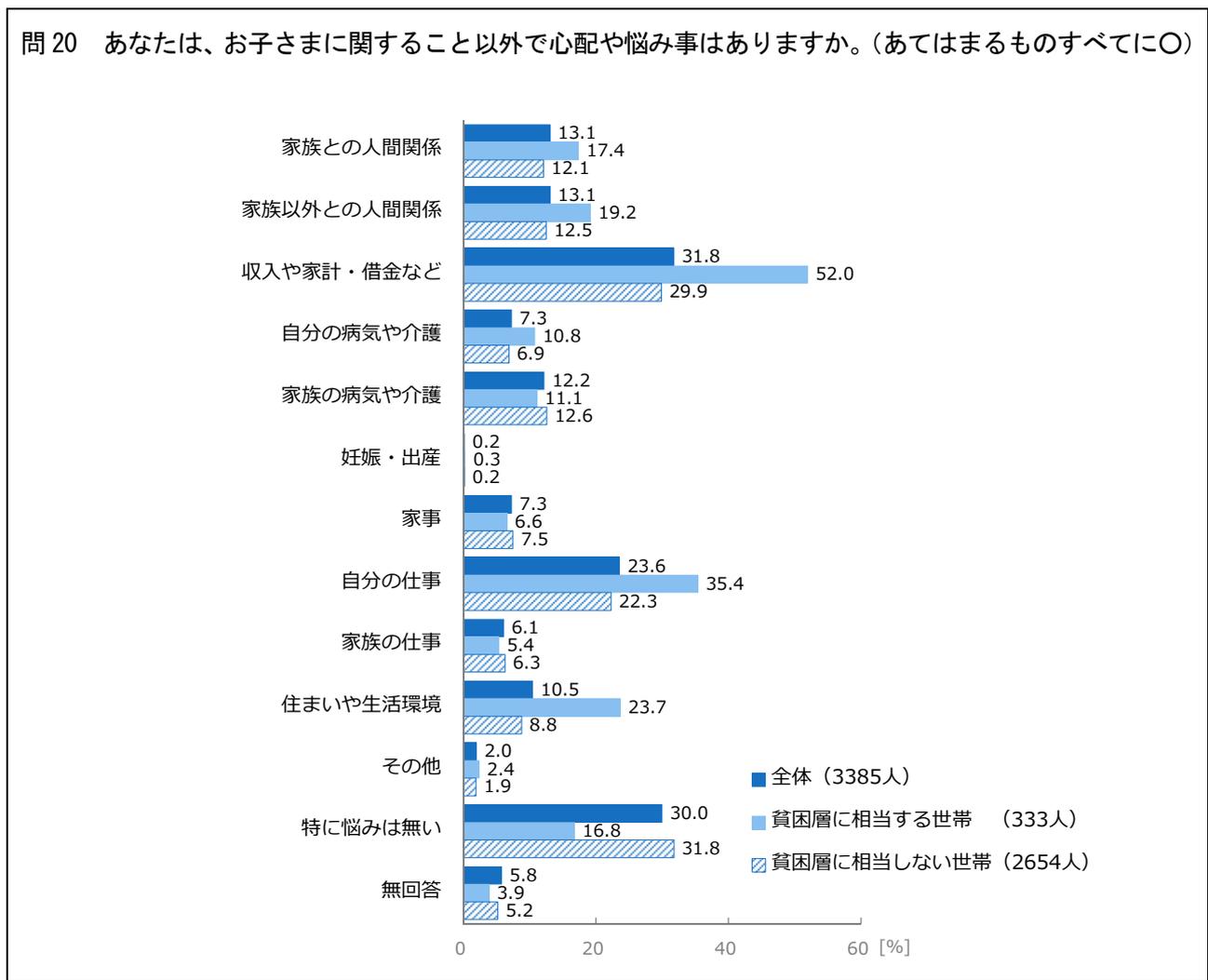
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない」33.6%、「お子さまの進学や受験のことが心配である」49.5%が比較的多くなっています。

(世帯構成別)



世帯構成別でみると、母子世帯では「お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない」40.6%、「お子さまが勉強しない」30.0%、「お子さまの進学や受験のことが心配である」53.3%が比較的多くなっています。

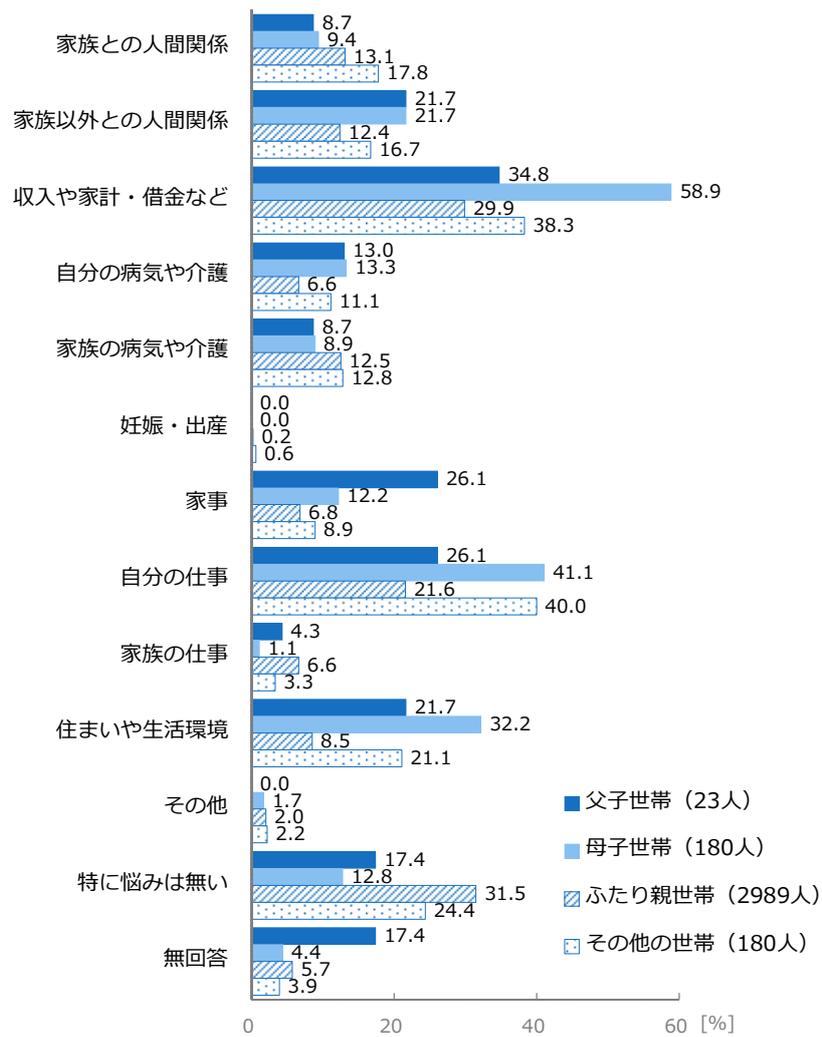
#### (4) 子どもに関すること以外での心配や悩み事



子どもに関すること以外での心配や悩み事は、「収入や家計・借金など」31.8%が最も多く、以下「自分の仕事」23.6%、「家族との人間関係」と「家族以外との人間関係」各13.1%となっています。また、「特に悩みは無い」は30.0%となっています。

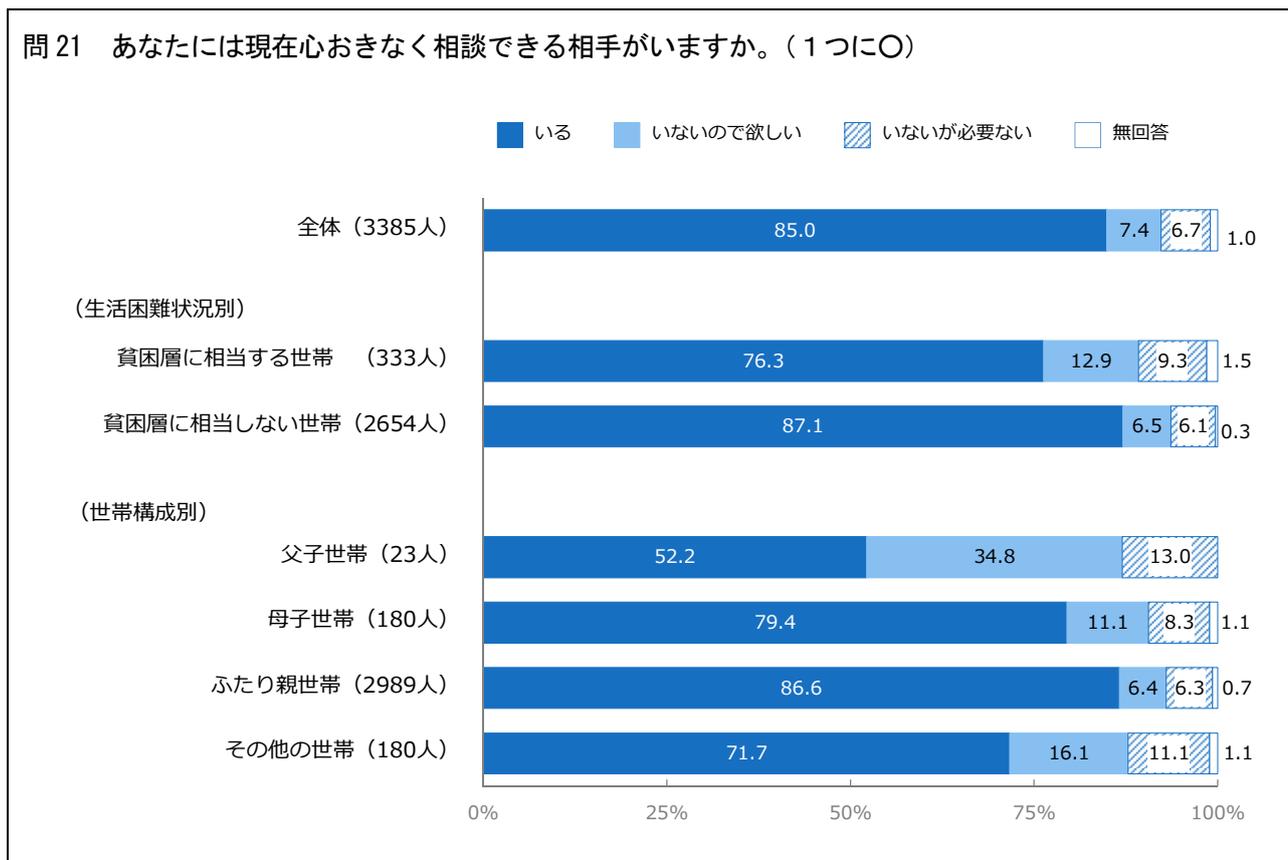
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「収入や家計・借金など」52.0%、「住まいや生活環境」23.7%、「自分の仕事」35.4%が比較的多くなっています。

(世帯構成別)



世帯構成別でみると、母子世帯では「収入や家計・借金など」58.9%、「自分の仕事」41.1%、「住まいや生活環境」32.2%が、その他の世帯では「自分の仕事」40.0%、「住まいや生活環境」21.1%が比較的多くなっています。

## (5) 悩み事の相談相手



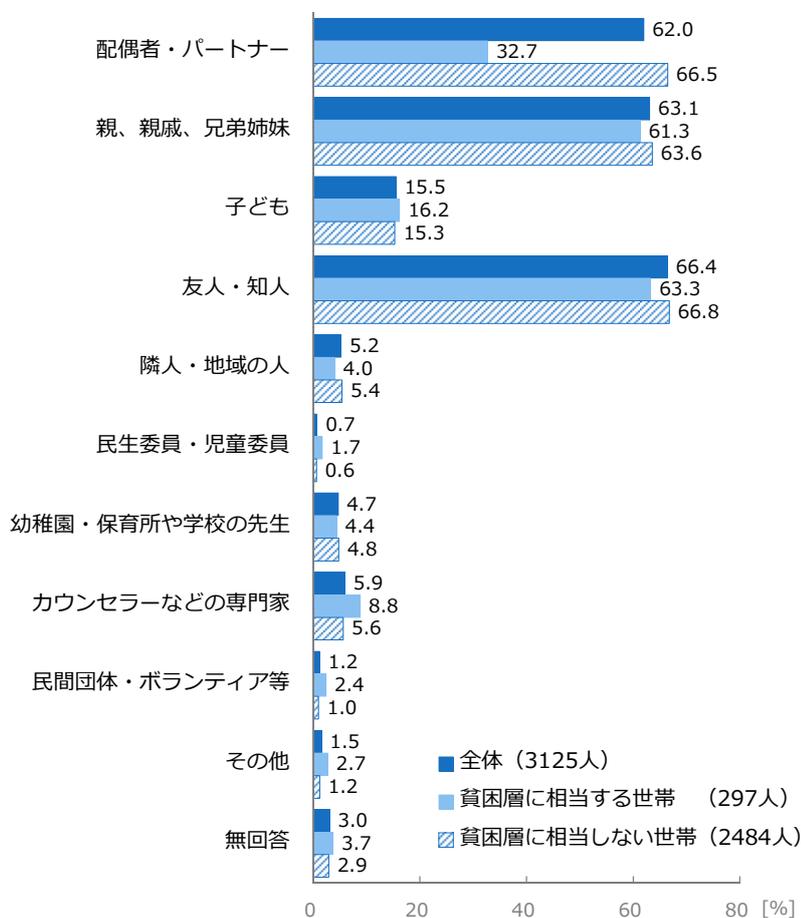
悩み事の相談相手の有無は、「いる」85.0%が最も多く、以下「いないので欲しい」7.4%、「いないが必要ない」6.7%となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当する世帯では「いる」76.3%が比較的少なくなっています。

世帯状況別で見ると、その他の世帯では「いる」71.7%が比較的少なくなっています。

(問 21 で、「1」または「2」を選んだ方にお伺いします。)

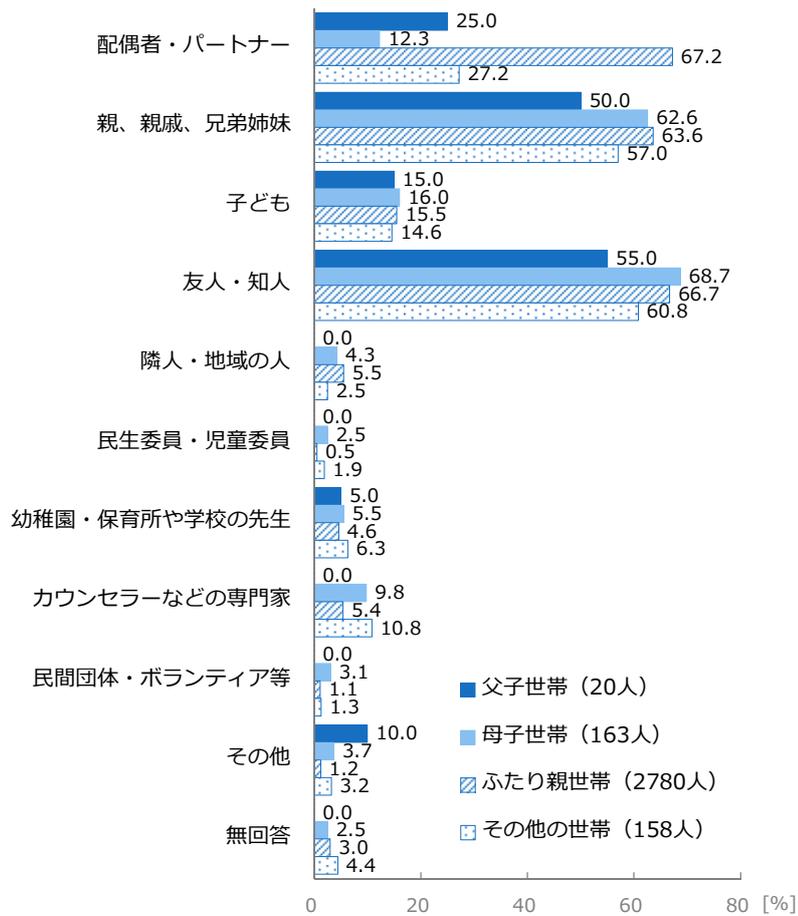
問 21-1 その相談相手は誰ですか、また、相談相手が欲しい方はどのような相手に相談したいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)



相談相手が「いる」もしくは「いないので欲しい」と回答した人 (3,125人) の実際の相談相手もしくは希望する相談相手は、「友人・知人」66.4%が最も多く、以下「親、親戚、兄弟姉妹」63.1%、「配偶者・パートナー」62.0%、「子ども」15.5%となっています。

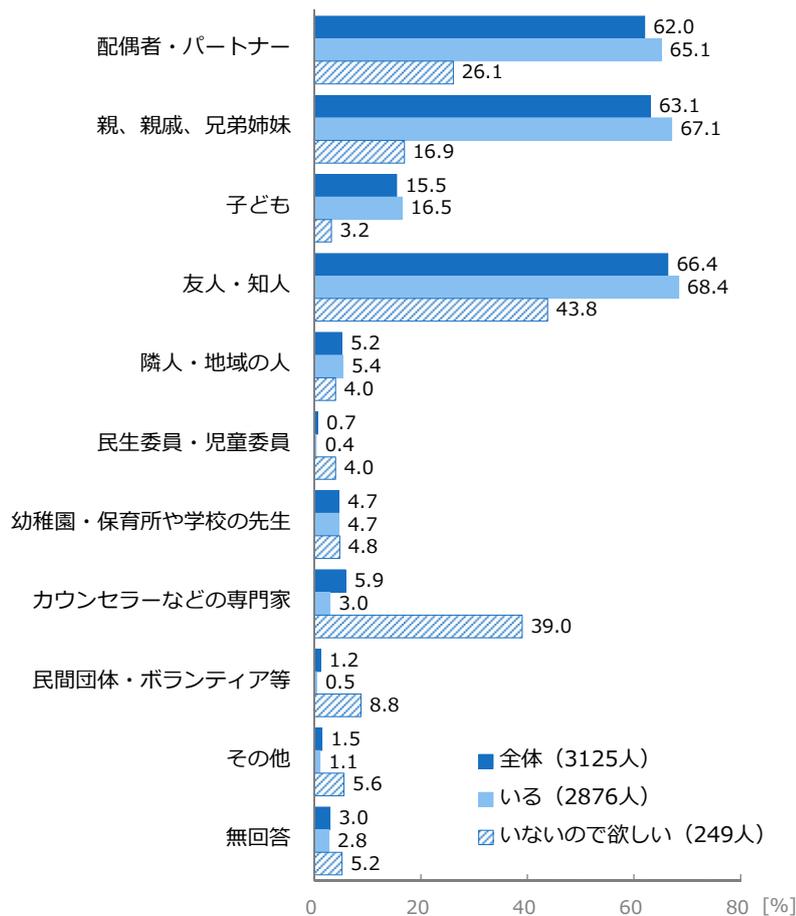
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「配偶者・パートナー」32.7%が少なくなっています。

(世帯構成別)



世帯構成別で見ると、ふたり親世帯では「配偶者・パートナー」が67.2%と突出しています。また、母子世帯とその他の世帯では「配偶者・パートナー」が少なく、「カウンセラーなどの専門家」が比較的多くなっています（「配偶者・パートナー」 母子世帯：12.3%、その他の世帯：27.2%、「カウンセラーなどの専門家」 母子世帯：9.8%、その他の世帯：10.8%）。

(問 21 の回答 (「相談相手がいる」 / 「いないので欲しい」) 別)



相談相手を問 21 の回答 (「いる」 / 「いないので欲しい」) 別でみると、「(相談相手が) いる」と回答した人 (2,876 人) の実際の相談相手は、「友人・知人」68.4%が最も多く、以下「親、親戚、兄弟姉妹」67.1%、「配偶者・パートナー」65.1%、「子ども」16.5%となっています。

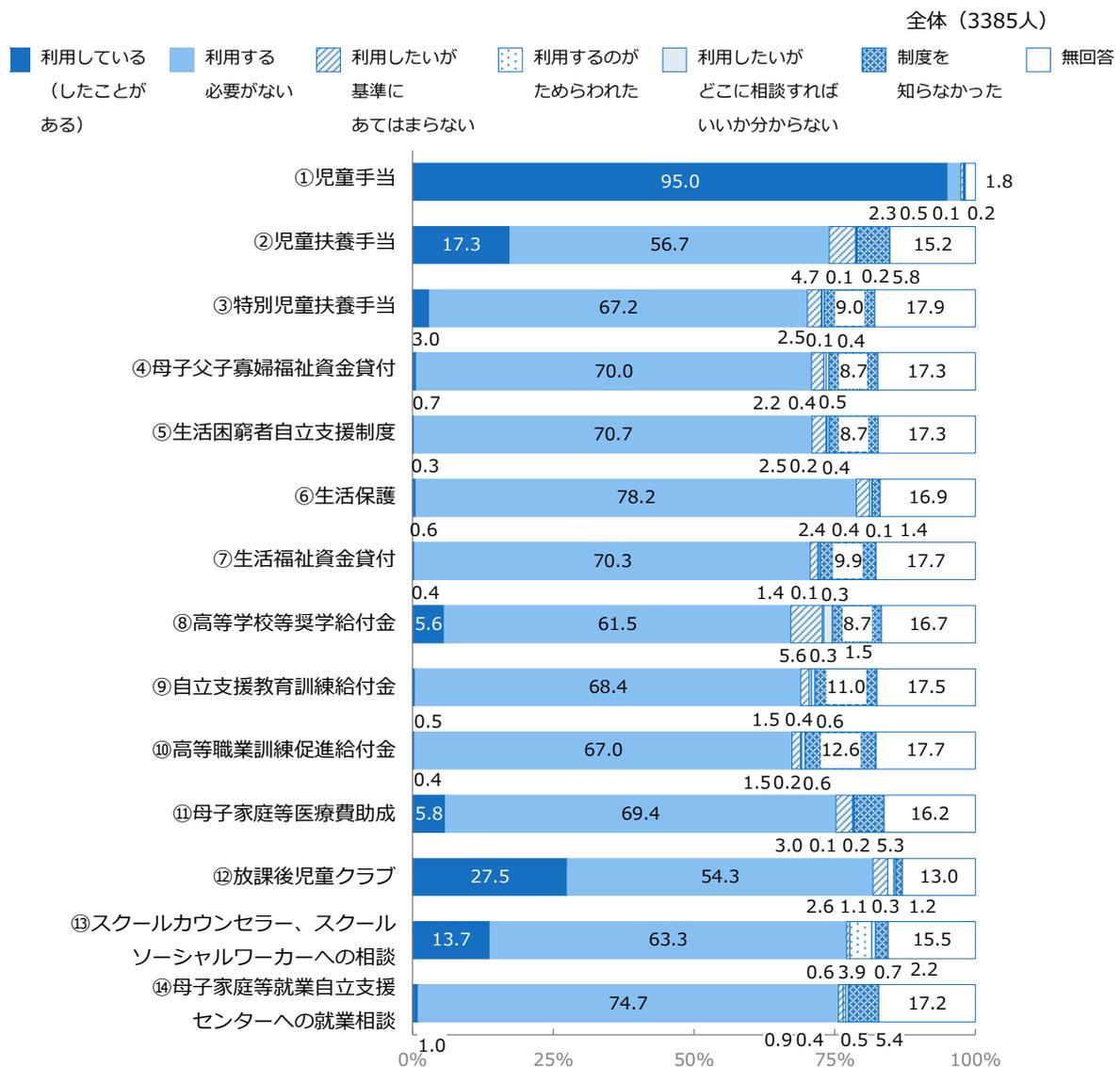
一方、「(相談相手が) いないので欲しい」と回答した人 (249 人) の希望する相談相手は、「友人・知人」43.8%が最も多く、以下「カウンセラーなどの専門家」39.0%、「配偶者・パートナー」26.1%となっており、「(相談相手が) いないので欲しい」と回答した人では「カウンセラーなどの専門家」が突出しています。

## 5 各種支援・サービスについて

### (1) 公的な支援制度の利用状況

問 22 以下の公的な支援制度について、利用したことがありますか。また、利用したことがない場合はその理由を教えてください。(それぞれあてはまるもの1つに○)

※制度内容は、同封の《参考情報》をご覧ください。



公的な支援制度の利用状況として、「利用している (したことがある)」との回答は、〔①児童手当〕 95.0%で最も多く、大多数を占めています。以下、〔⑫放課後児童クラブ〕 27.5%、〔②児童扶養手当〕 17.3%、〔⑬スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談〕 13.7%と続いています。

「利用したいが基準にあてはまらない」との回答は、〔⑧高等学校等奨学給付金〕 5.6%と〔②児童扶養手当〕 4.7%で比較的多くなっています。

「利用するのがためらわれた」との回答は、〔⑬スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談〕 3.9%で比較的多くなっています。

「制度を知らなかった」との回答は、〔⑩高等職業訓練促進給付金〕12.6%で最も多く、以下〔⑨自立支援教育訓練促進給付金〕11.0%、〔⑦生活福祉資金貸付〕9.9%、〔③特別児童扶養手当〕9.0%、〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕〔⑤生活困窮者自立支援制度〕〔⑧高等学校等奨学給付金〕各8.7%と続き、1割前後を占めています。

(生活困難状況別・世帯構成別 「利用している」と『利用意向はあるが利用していない』と「制度を知らなかった」)

		生活困難状況別			世帯構成別			
		全体 (3385人)	貧困層に 相当する 世帯 (333人)	貧困層に 相当しない 世帯 (2654人)	父子世帯 (23人)	母子世帯 (180人)	ふたり親 世帯 (2989人)	その他の 世帯 (180人)
「 利 用 し て い る 」	①児童手当	95.0	97.9	95.9	91.3	96.1	95.2	96.1
	②児童扶養手当	17.3	<b>50.8</b>	13.6	34.8	<b>73.9</b>	11.8	<b>48.9</b>
	③特別児童扶養手当	3.0	5.1	2.4	-	7.2	2.7	3.9
	④母子父子寡婦福祉資金貸付	0.7	3.0	0.4	4.3	5.0	0.3	2.8
	⑤生活困窮者自立支援制度	0.3	1.2	0.1	-	2.2	0.2	-
	⑥生活保護	0.6	2.7	0.2	4.3	6.1	0.3	-
	⑦生活福祉資金貸付	0.4	1.5	0.2	4.3	1.7	0.3	-
	⑧高等学校等奨学給付金	5.6	14.1	4.6	8.7	<b>18.9</b>	4.7	8.3
	⑨自立支援教育訓練給付金	0.5	4.2	0.1	-	5.0	0.2	1.7
	⑩高等職業訓練促進給付金	0.4	2.1	0.1	-	4.4	0.2	-
	⑪母子家庭等医療費助成	5.8	<b>35.7</b>	2.2	17.4	<b>63.9</b>	1.4	<b>19.4</b>
	⑫放課後児童クラブ	27.5	30.3	27.7	4.3	<b>41.1</b>	27.0	25.0
	⑬スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談	13.7	15.3	13.6	-	13.3	14.0	13.3
	⑭母子家庭等就業自立支援センターへの就業相談	1.0	4.5	0.5	-	8.9	0.5	1.1

 全体よりも10ポイント以上多い

### \* 「利用している」

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔②児童扶養手当〕50.8%、〔⑪母子家庭等医療費助成〕35.7%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔②児童扶養手当〕73.9%、〔⑧高等学校等奨学給付金〕18.9%、〔⑪母子家庭等医療費助成〕63.9%、〔⑫放課後児童クラブ〕41.1%で、その他の世帯では〔②児童扶養手当〕48.9%、〔⑪母子家庭等医療費助成〕19.4%で比較的多くなっています。

	全体 (3385人)	生活困難状況別		世帯構成別				
		貧困層に 相当する 世帯 (333人)	貧困層に 相当しない 世帯 (2654人)	父子世帯 (23人)	母子世帯 (180人)	ふたり親 世帯 (2989人)	その他の 世帯 (180人)	
『利用意向はあるが利用していない』	①児童手当	0.6	0.3	0.6	4.3	0.6	0.6	0.6
	②児童扶養手当	5.1	7.5	5.0	8.7	16.1	3.7	15.6
	③特別児童扶養手当	3.0	6.6	2.7	13.0	10.6	2.3	5.6
	④母子父子寡婦福祉資金貸付	3.2	11.1	2.4	8.7	17.8	1.6	14.4
	⑤生活困窮者自立支援制度	3.0	9.0	2.4	8.7	11.7	2.4	3.9
	⑥生活保護	2.9	9.0	2.3	4.3	15.0	2.1	3.9
	⑦生活福祉資金貸付	1.8	5.4	1.4	8.7	9.4	1.3	1.1
	⑧高等学校等奨学給付金	7.4	14.1	6.8	21.7	15.6	6.6	12.8
	⑨自立支援教育訓練給付金	2.6	9.3	1.9	4.3	13.9	1.6	6.7
	⑩高等職業訓練促進給付金	2.3	7.5	1.8	13.0	10.0	1.6	5.0
	⑪母子家庭等医療費助成	3.3	9.6	2.7	13.0	17.8	1.4	19.4
	⑫放課後児童クラブ	4.0	6.9	3.7	13.0	8.3	3.7	3.3
	⑬スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談	5.2	10.2	4.9	8.7	10.0	4.7	8.9
	⑭母子家庭等就業自立支援センターへの就業相談	1.8	7.8	1.2	8.7	9.4	1.0	6.7

 全体よりも10ポイント以上多い

\* 『利用意向はあるが利用していない』（「利用したいが基準にあてはまらない」＋「利用するのがためらわれた」＋「利用したいがどこに相談すればよいか分からない」）

世帯構成別でみると、母子世帯では〔②児童扶養手当〕16.1%、〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕17.8%、〔⑥生活保護〕15.0%、〔⑨自立支援教育訓練給付金〕13.9%、〔⑪母子家庭等医療費助成〕17.8%で、その他の世帯では〔②児童扶養手当〕15.6%、〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕14.4%、〔⑪母子家庭等医療費助成〕19.4%で比較的多くなっています。

	全体 (3385人)	生活困難状況別		世帯構成別				
		貧困層に 相当する 世帯 (333人)	貧困層に 相当しない 世帯 (2654人)	父子世帯 (23人)	母子世帯 (180人)	ふたり親 世帯 (2989人)	その他の 世帯 (180人)	
「 制 度 を 知 ら な か っ た 」	①児童手当	0.2	0.3	0.2	-	-	0.3	-
	②児童扶養手当	5.8	4.8	5.8	21.7	1.7	5.8	8.9
	③特別児童扶養手当	9.0	15.6	8.3	26.1	<b>21.7</b>	7.8	13.9
	④母子父子寡婦福祉資金貸付	8.7	17.7	7.7	26.1	<b>28.3</b>	6.7	<b>20.6</b>
	⑤生活困窮者自立支援制度	8.7	<b>19.2</b>	7.6	26.1	<b>27.2</b>	7.1	15.0
	⑥生活保護	1.4	3.0	1.0	13.0	2.2	1.0	5.0
	⑦生活福祉資金貸付	9.9	18.9	9.1	21.7	<b>25.6</b>	8.3	19.4
	⑧高等学校等奨学給付金	8.7	16.2	7.6	17.4	<b>19.4</b>	7.5	16.7
	⑨自立支援教育訓練給付金	11.0	17.4	10.4	26.1	<b>25.0</b>	9.3	<b>22.8</b>
	⑩高等職業訓練促進給付金	12.6	19.2	11.9	26.1	<b>27.8</b>	10.9	<b>22.8</b>
	⑪母子家庭等医療費助成	5.3	4.5	5.2	13.0	2.2	4.9	12.8
	⑫放課後児童クラブ	1.2	2.4	0.9	17.4	1.1	1.0	3.9
	⑬スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの相談	2.2	5.7	1.7	17.4	6.1	1.7	5.0
	⑭母子家庭等就業自立支援センターへの就業相談	5.4	8.7	4.9	21.7	11.7	4.6	10.0

 全体よりも10ポイント以上多い

#### \* 「制度を知らなかった」

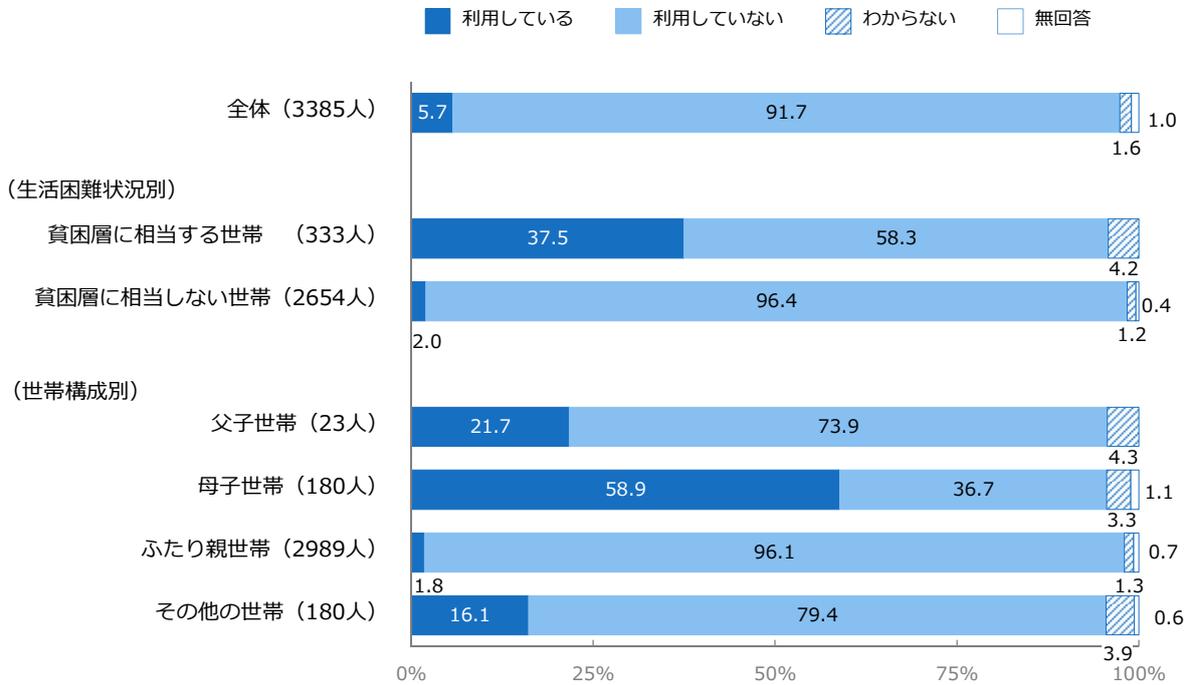
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔⑤生活困窮者自立支援制度〕19.2%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔③特別児童扶養手当〕21.7%、〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕28.3%、〔⑤生活困窮者自立支援制度〕27.2%、〔⑦生活福祉資金貸付〕25.6%、〔⑧高等学校等奨学給付金〕19.4%、〔⑨自立支援教育訓練給付金〕25.0%、〔⑩高等職業訓練促進給付金〕27.8%で、その他の世帯では〔④母子父子寡婦福祉資金貸付〕20.6%、〔⑨自立支援教育訓練給付金〕と〔⑩高等職業訓練促進給付金〕各22.8%で比較的多くなっています。

## (2) 就学援助制度の利用状況

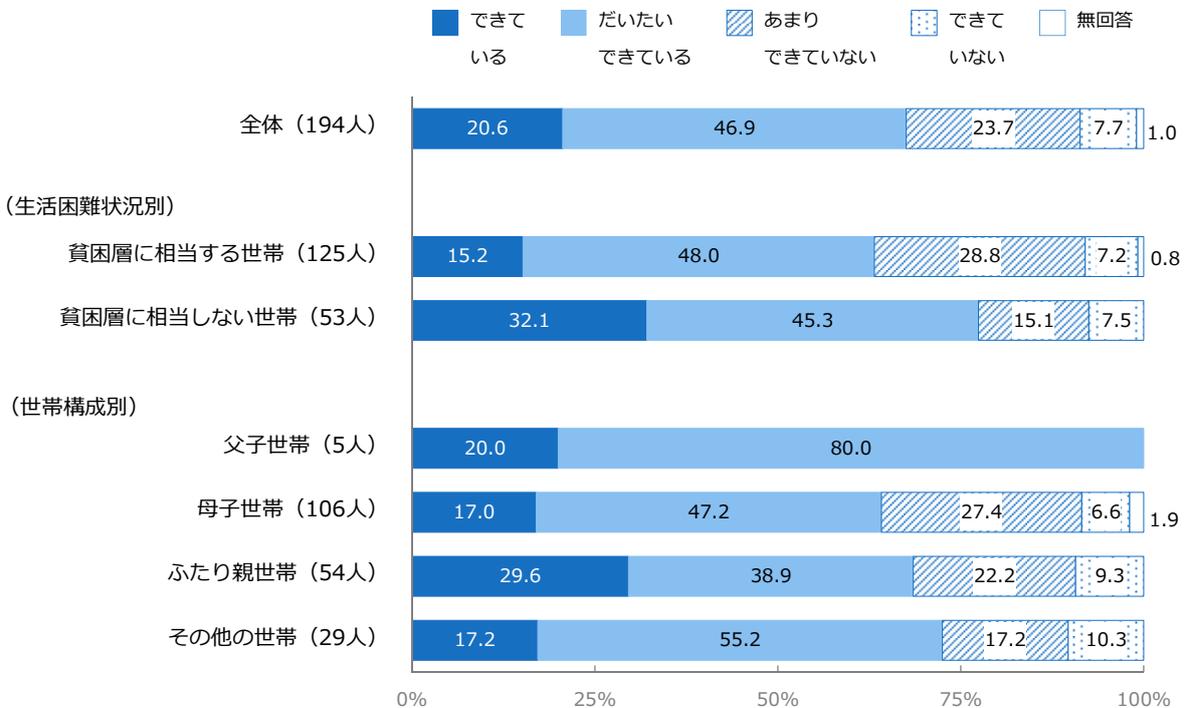
問 23 あなたのご家庭ではお子さまのために就学援助制度を利用していますか（1つに○）

※就学援助制度は、経済的理由で小・中学生の子どもが就学についている保護者に対し、学用品費や給食費などの費用の一部を援助する制度です。



(問 23 で「1」を選んだ方にお伺いします。)

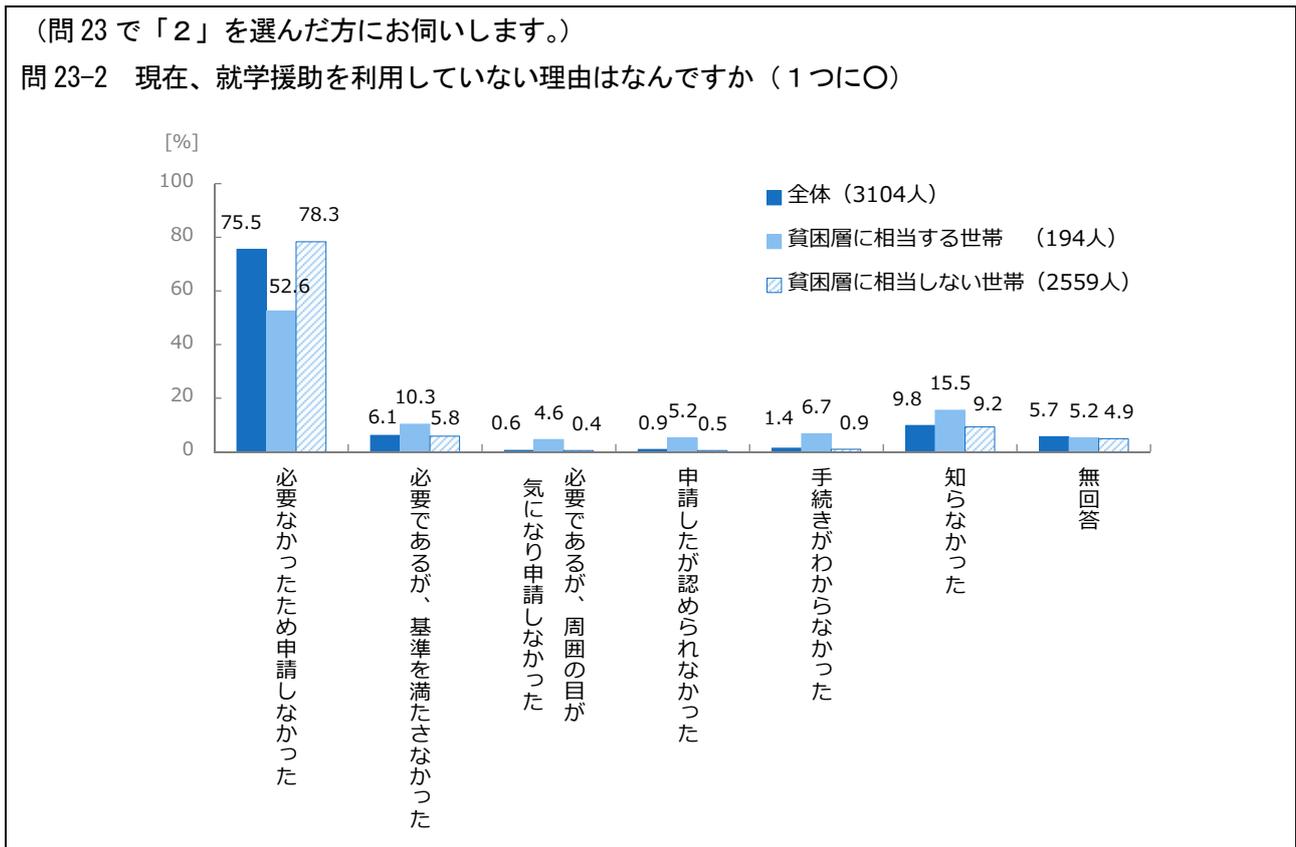
問 23-1 現在の就学援助は学校にかかる経費をカバーできていますか（1つに○）



就学援助制度の利用の状況は、「利用していない」91.7%が最も多く9割以上を占め、「利用している」5.7%は1割未満となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「利用している」37.5%が比較的多くなっています。世帯構成別でみると、母子世帯では「利用している」58.9%が突出しています。また、その他の世帯でも「利用している」16.1%が比較的多くなっています。

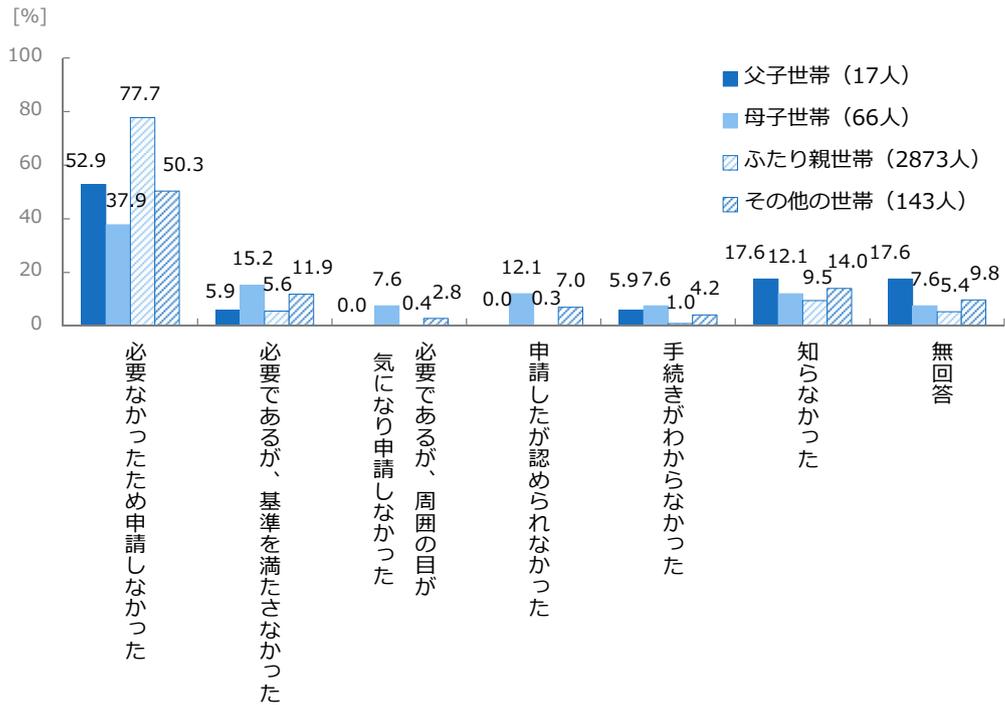
就学援助制度を利用している人（194人）の、現在の就学援助が学校にかかる経費をカバーできているかについては、「だいたいできている」46.9%が最も多く、以下「あまりできていない」23.7%、「できている」20.6%となっています。「できている」と「だいたいできている」を合わせた『できている』は67.5%、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていない』は31.4%となっています。



現在、就学援助制度を利用していない人（3,104人）の就学援助を利用していない理由は、「必要なかったため申請しなかった」75.5%が最も多く、約4分の3を占めています。以下「知らなかった」9.8%、「必要であるが、基準を満たさなかった」6.1%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「必要なかったため申請しなかった」52.6%が少なく、「知らなかった」15.5%、「必要であるが、基準を満たさなかった」10.3%が比較的多くなっています。

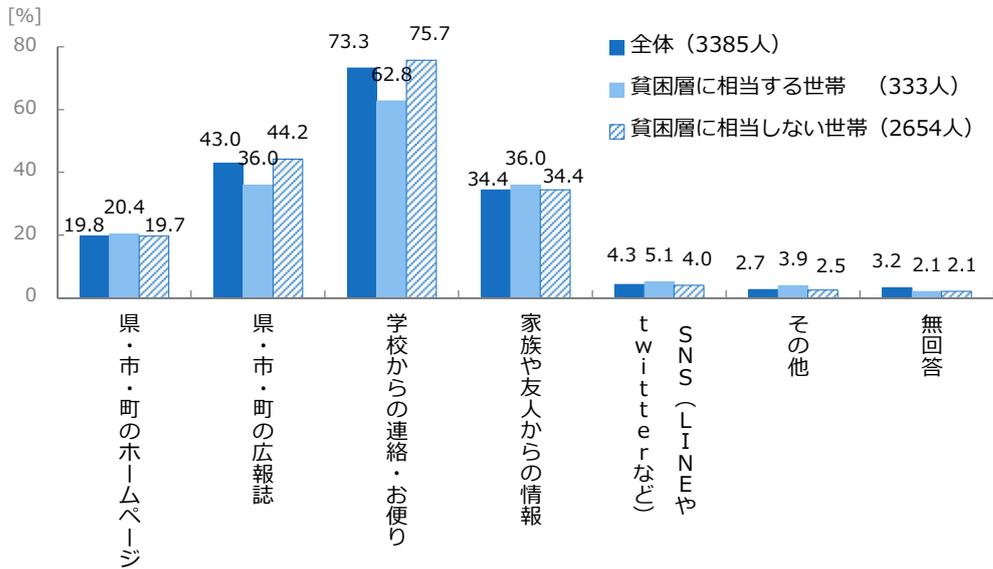
(世帯構成別)



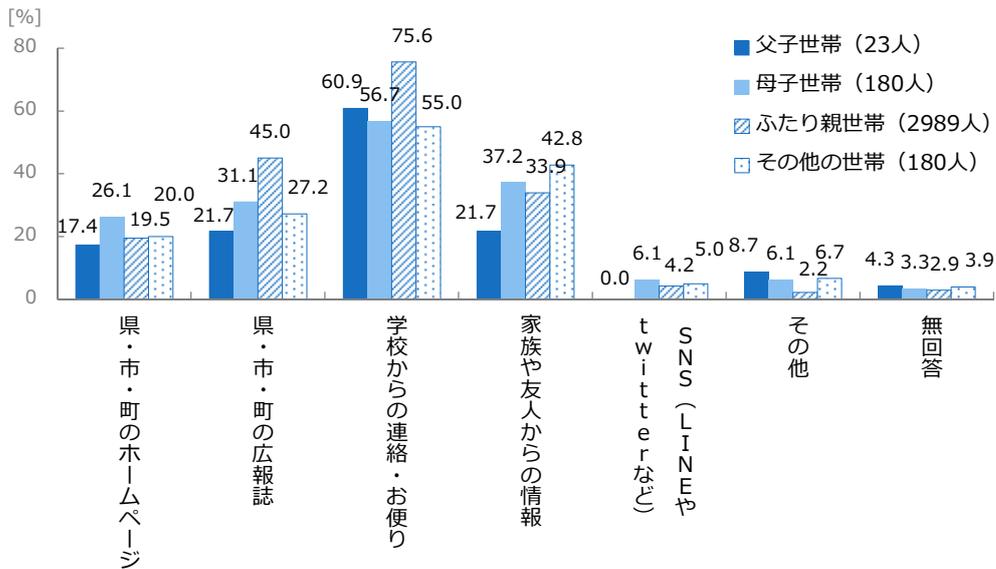
世帯構成別でみると、母子世帯とその他の世帯では「必要なかったため申請しなかった」が少なく、「必要であるが、基準を満たさなかった」と「申請したが認められなかった」が比較的多くなっています（「必要なかったため申請しなかった」 母子世帯：37.9%、その他の世帯：50.3%、「必要であるが、基準を満たさなかった」 母子世帯：15.2%、その他の世帯：11.9%、「申請したが認められなかった」 母子世帯：12.1%、その他の世帯：7.0%）。

### (3) 現在利用している子育てなどに関する公的な支援制度の情報入手媒体

問 24 あなたは、子育てなどに関する公的支援制度の情報をどのようにして入手していますか。(あてはまるものすべてに○)



(世帯構成別)



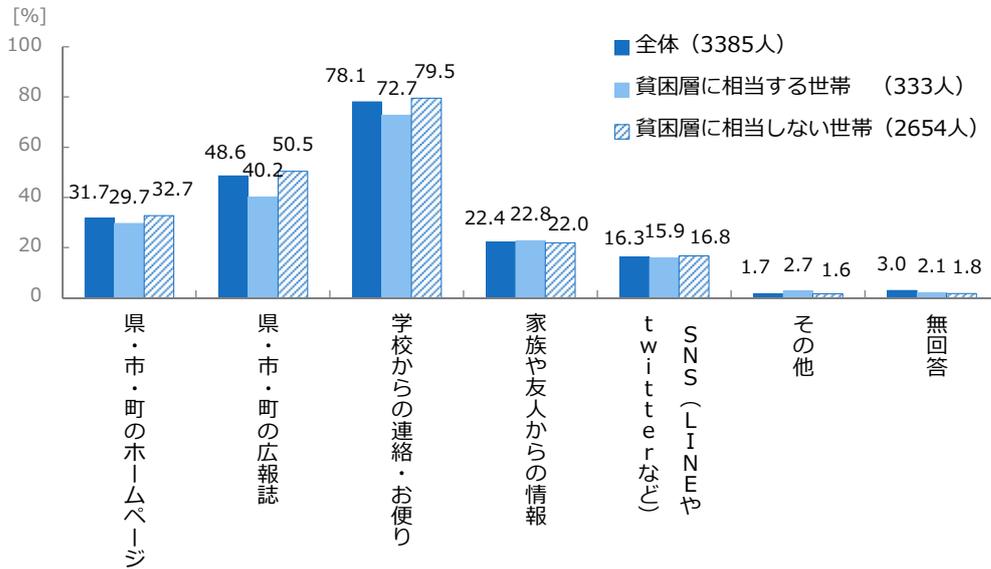
現在利用している子育てなどに関する公的支援制度の情報入手媒体は、「学校からの連絡・お便り」73.3%が最も多く、以下「県・市・町の広報誌」43.0%、「家族や友人からの情報」34.4%、「県・市・町のホームページ」19.8%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「県・市・町の広報誌」36.0%、「学校からの連絡・お便り」62.8%が比較的少なくなっています。

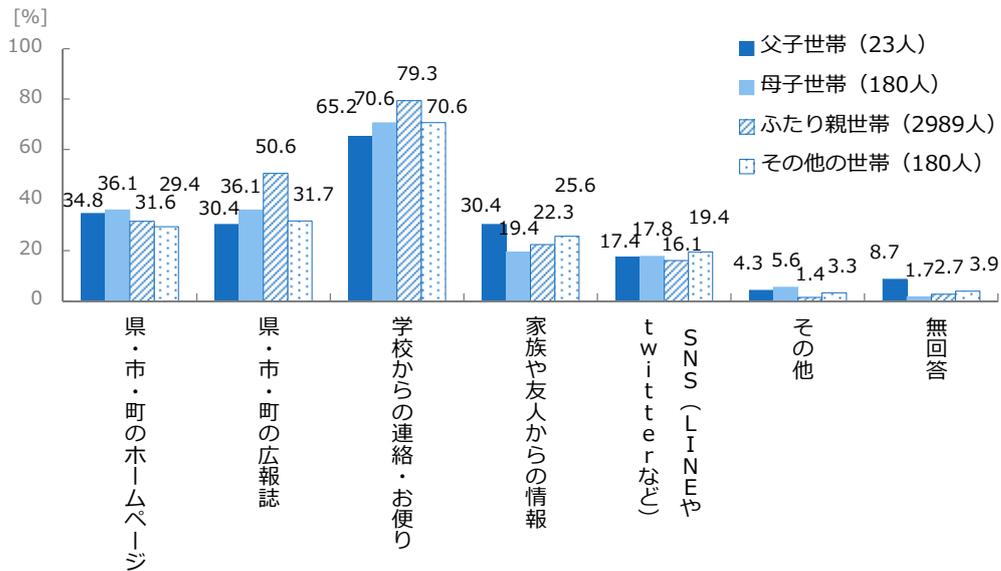
世帯構成別でみると、母子世帯とその他の世帯では「県・市・町の広報誌」と「学校からの連絡・お便り」が比較的少なくなっています(「県・市・町の広報誌」 母子世帯：31.1%、その他の世帯：27.2%、「学校からの連絡・お便り」 母子世帯：56.7%、その他の世帯：55.0%)。

#### (4) 今後利用したい子育てなどに関する公的な支援制度の情報入手媒体

問 25 あなたは、子育てなどに関する公的な支援制度を、今後どのような方法で情報を入手したいと思いますか、またはできたら良いと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



(世帯構成別)

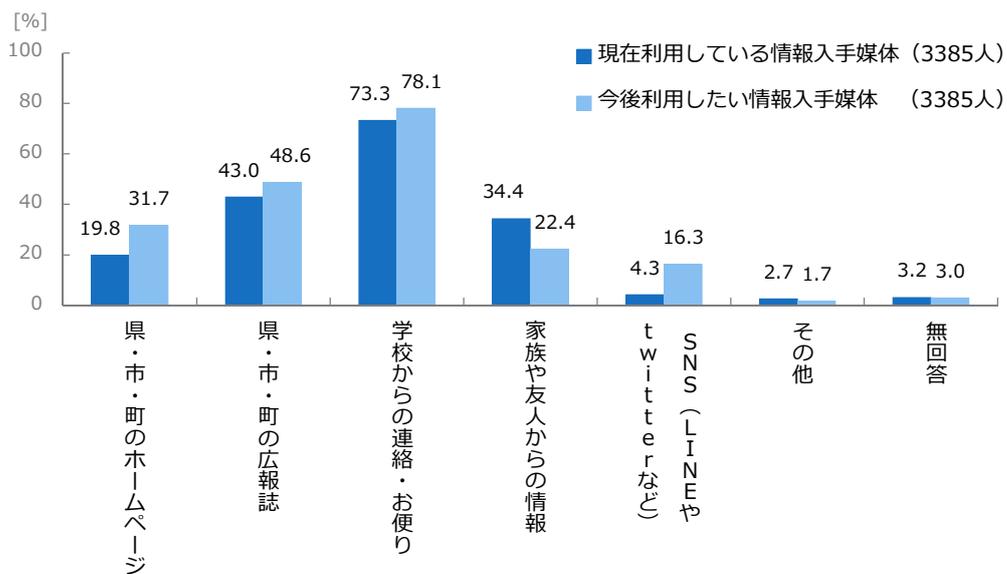


今後利用したい子育てなどに関する公的支援制度の情報入手媒体は、「学校からの連絡・お便り」78.1%が最も多く、以下「県・市・町の広報誌」48.6%、「県・市・町のホームページ」31.7%、「家族や友人からの情報」22.4%、「SNS (LINEやtwitterなど)」16.3%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では「県・市・町の広報誌」40.2%が比較的少なくなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯とその他の世帯では「県・市・町の広報誌」と「学校からの連絡・お便り」が比較的少なくなっています(「県・市・町の広報誌」 母子世帯:36.1%、その他の世帯:31.7%、「学校からの連絡・お便り」 母子世帯・その他の世帯:各70.6%)。

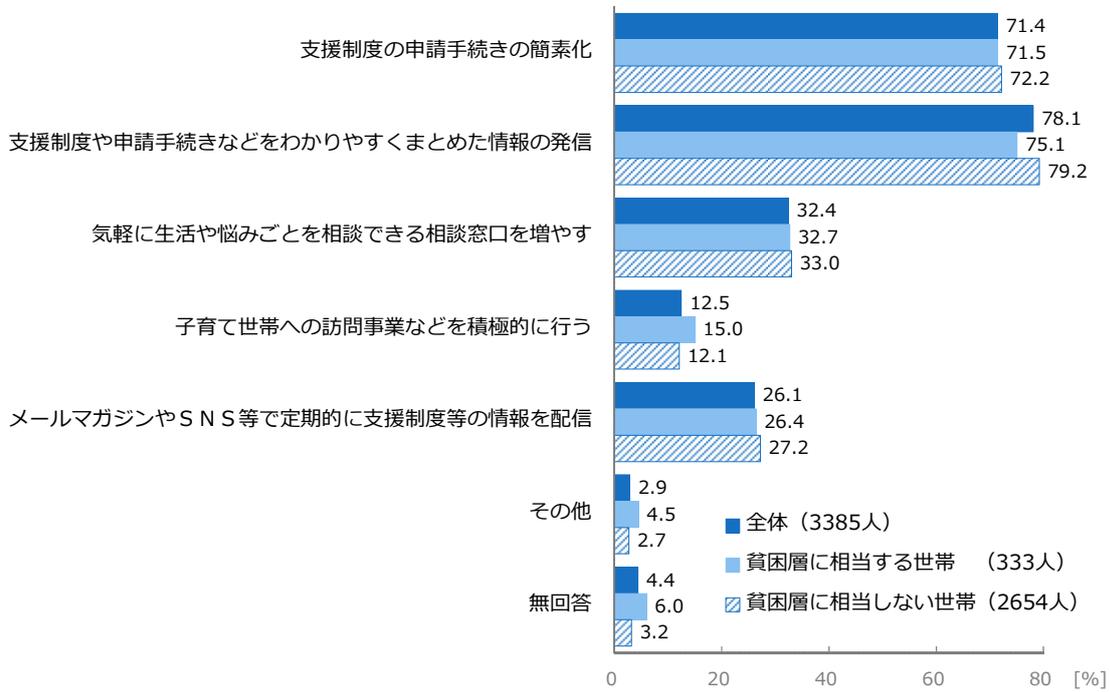
(問 24 現在利用している情報入手媒体と問 25 今後利用したい情報入手媒体の比較)



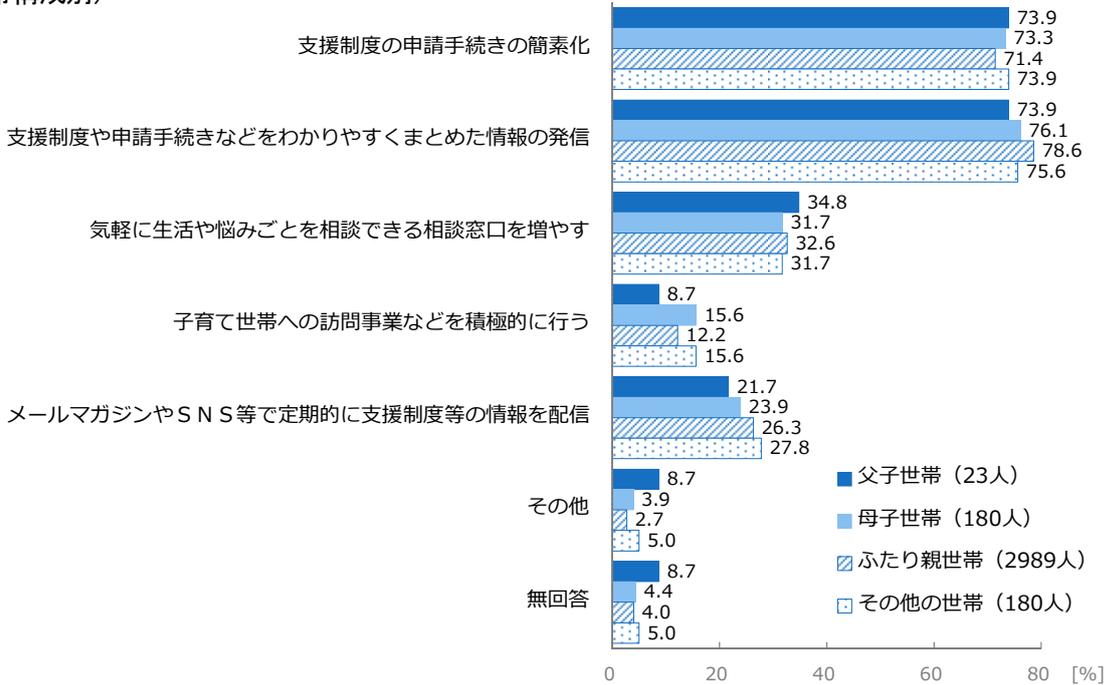
問 24 の現在利用している情報入手媒体と問 25 の今後利用したい情報入手媒体を比較すると、今後利用したい情報入手媒体では「SNS (LINE や Twitter など)」と「県・市・町のホームページ」が、現在利用している情報入手媒体での回答を約 12 ポイント上回っています。(SNS (LINE や Twitter など) : 12 ポイント差、県・市・町のホームページ : 11.9 ポイント差)。

(5) 必要な公的な支援制度をもれなく受けられるようにするために重要だと思うこと

問 26 公的な支援制度など、必要な支援をもれなく受けられるようにするには何が重要だと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

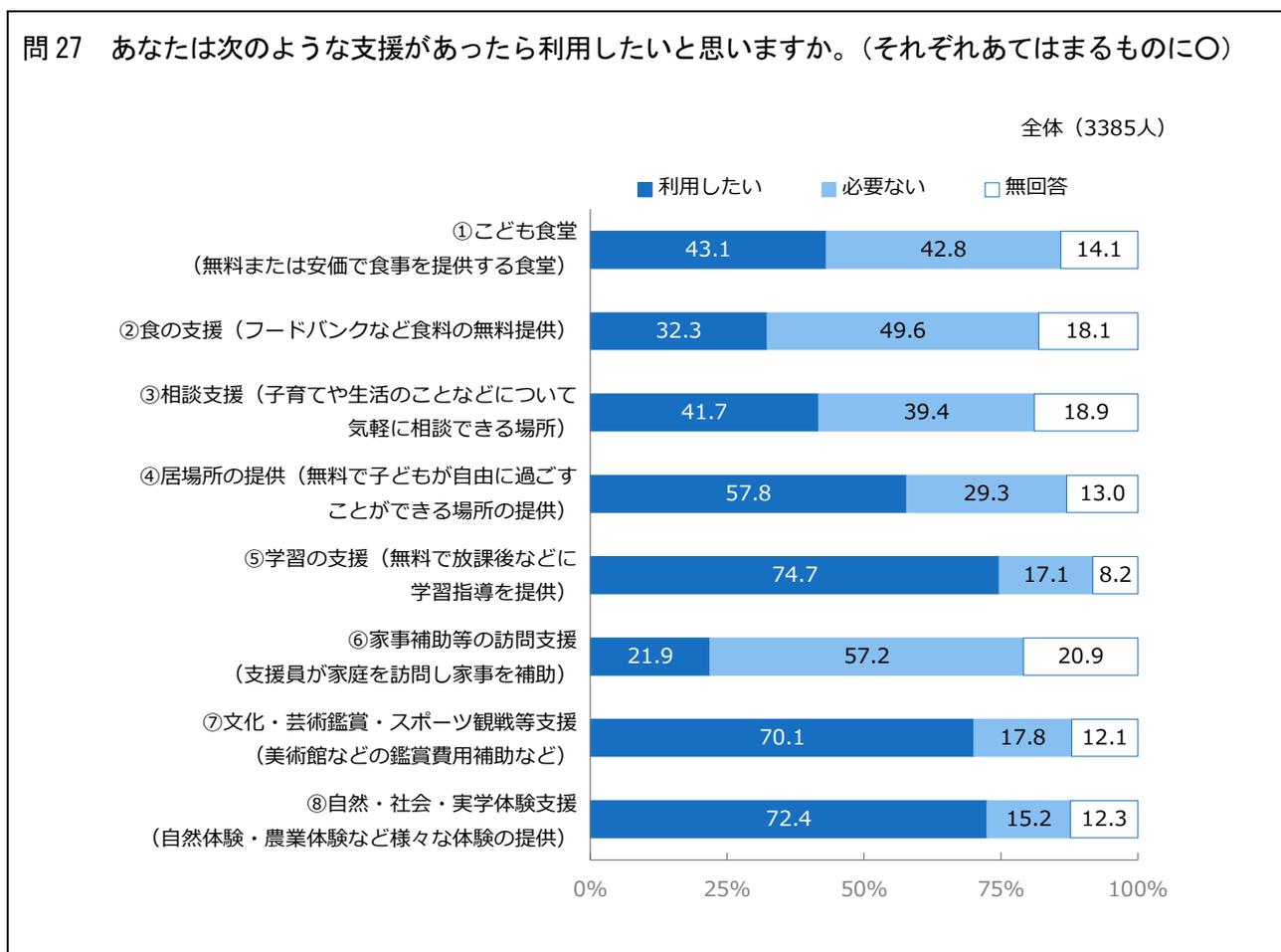


(世帯構成別)



必要な公的支援制度をもれなく受けられるようにするために重要だと思うことでは、「支援制度や申請手続きなどをわかりやすくまとめた情報の発信」78.1%が最も多く、以下「支援制度の申請手続きの簡素化」71.4%、「気軽に生活や悩みごとを相談できる相談窓口を増やす」32.4%、「メールマガジンやSNS等で定期的に支援制度等の情報を配信」26.1%、「子育て世帯への訪問事業などを積極的に行う」12.5%となっています。生活困難状況別、世帯構成別、学年別による差はあまりみられていません。

## (6) 子どもや子育てに関する支援施策の利用意向



子どもや子育てに関する各種支援策の利用意向として、「利用したい」との回答は、〔⑤学習の支援（無料で放課後などに学習指導を提供）〕74.7%で最も多く、以下〔⑧自然・社会・実学体験支援（自然体験・農業体験・仕事体験など様々な体験の提供）〕72.4%、〔⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援（美術館、博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など）〕70.1%、〔④居場所の提供（無料で子どもが自由に過ごすことができる場所の提供）〕57.8%と続いています。

一方、「必要ない」との回答は、〔⑥家事補助等の訪問支援（家事や育児等が困難な場合に支援員が家庭を訪問し家事を補助）〕57.2%で最も多く、以下〔②食の支援（フードバンクなど食料の無料提供）〕49.6%、〔①こども食堂（無料または安価で食事を提供する食堂）〕42.8%、〔③相談支援（子育てや生活のことなどについて気軽に相談できる場所）〕39.4%と続いています。

(生活困難状況別・世帯構成別 「利用意向あり」と「利用意向なし」)

	全体 (3385人)	生活困難状況別		世帯構成別				
		貧困層に 相当する 世帯 (333人)	貧困層に 相当しない 世帯 (2654人)	父子世帯 (23人)	母子世帯 (180人)	ふたり親 世帯 (2989人)	その他の 世帯 (180人)	
利用 意 向 あ り	①こども食堂 (無料または安価で食事を提供する食堂)	43.1	52.6	41.9	39.1	55.6	42.7	41.7
	②食の支援 (フードバンクなど食料の無料提供)	32.3	48.0	30.1	34.8	51.7	31.0	36.7
	③相談支援 (子育てや生活のことなどについて 気軽に相談できる場所)	41.7	42.6	42.0	47.8	35.6	42.4	38.3
	④居場所の提供 (無料で子どもが自由に過ごす ことができる場所の提供)	57.8	56.8	58.1	43.5	55.6	58.7	48.9
	⑤学習の支援 (無料で放課後などに 学習指導を提供)	74.7	78.1	74.6	73.9	76.1	74.9	72.2
	⑥家事補助等の訪問支援 (支援員が家庭を訪問し家事を補助)	21.9	23.4	22.0	30.4	25.0	21.8	21.7
	⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援 (美術館などの鑑賞費用補助など)	70.1	61.3	71.9	56.5	60.6	71.3	66.7
	⑧自然・社会・実学体験支援 (自然体験・農業体験など様々な体験の提供)	72.4	66.1	74.2	65.2	67.2	73.6	62.2
利用 意 向 な し	①こども食堂 (無料または安価で食事を提供する食堂)	42.8	31.8	45.2	34.8	30.6	43.9	42.2
	②食の支援 (フードバンクなど食料の無料提供)	49.6	34.8	52.6	39.1	33.3	51.1	45.6
	③相談支援 (子育てや生活のことなどについて 気軽に相談できる場所)	39.4	36.6	40.3	26.1	42.8	39.3	42.8
	④居場所の提供 (無料で子どもが自由に過ごす ことができる場所の提供)	29.3	26.4	30.2	34.8	28.3	29.0	36.1
	⑤学習の支援 (無料で放課後などに 学習指導を提供)	17.1	12.3	18.1	13.0	12.8	17.6	16.1
	⑥家事補助等の訪問支援 (支援員が家庭を訪問し家事を補助)	57.2	52.9	58.4	43.5	52.8	57.7	58.9
	⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援 (美術館などの鑑賞費用補助など)	17.8	24.0	17.3	26.1	25.6	17.1	21.1
	⑧自然・社会・実学体験支援 (自然体験・農業体験など様々な体験の提供)	15.2	18.3	14.8	21.7	19.4	14.7	21.1

 全体よりも5ポイント以上多い

 全体よりも5ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において「利用意向あり」が多ければ「利用意向なし」が少なくなり、「利用意向あり」が少なければ「利用意向なし」が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

\* 「利用意向あり」(「利用したい」)

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔①こども食堂 (無料または安価で食事を提供する食堂)〕52.6%、〔②食の支援 (フードバンクなど食料の無料提供)〕48.0%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔①こども食堂 (無料または安価で食事を提供する食堂)〕55.6%、〔②食の支援 (フードバンクなど食料の無料提供)〕51.7%で比較的多くなっています。

\* 「利用意向なし」(「必要ない」)

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援 (美術館、博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など)〕24.0%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔⑦文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援 (美術館、博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など)〕25.6%で、その他の世帯では〔④居場所の提供 (無料で子どもが自由に過ごすことができる場所の提供)〕36.1%、〔⑧自然・社会・実学体験支援 (自然体験・農業体験・仕事体験など様々な体験の提供)〕21.1%で比較的多くなっています。

## (7) 子どもたちが健やかに育っていくために必要な支援等への意見・要望（自由意見）

問 28 子どもたちがこれからも健やかに育っていくために必要だと思う支援等についてご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

子どもたちがこれからも健やかに育っていくために必要だと思う支援等についていただいたご意見やご要望 1,223 件を内容ごとに分類したところ、以下のようにまとまりました。

分類名	件数
必要とされる支援・サービス全般についての要望	238
学校	197
子どもの遊ぶ場所、安全に過ごせる場所、交流する場・機会	100
高校・大学の無償化、支援など	82
教育にかかる費用の支援・無償化など	55
居場所の提供	52
学習支援	46
ひとり親への支援	46
児童手当	43
学童・放課後児童クラブ	41
子どもが安心・安全に暮らせる社会・環境づくり	40
相談支援体制	39
医療費（予防接種等含む）	38
アンケート	24
図書館・児童館	18
体育館・運動施設、スポーツ	16
就労環境の改善・見直し	14
いじめ	13
その他	121
合計	1,223

最も多かったのは「必要とされる支援・サービス全般についての要望」についてのご意見やご要望で 238 件でした。ついで、「学校」が 197 件、「子どもの遊ぶ場所、安全に過ごせる場所、交流する場・機会」が 100 件、「高校・大学の無償化、支援など」が 82 件、「教育にかかる費用の支援・無償化など」が 52 件となっています。

「必要とされる支援・サービスについての要望」についてのご意見・ご要望について細かくみていくと、「子ども食堂」についてのご意見やご要望が 23 件と最も多く、ついで、「情報の周知・提供」が 21 件、「親への支援・教育」が 18 件、「親・家庭への支援・環境づくり」が 16 件となっています。

「学校」についてのご意見・ご要望について細かくみていくと、「登下校時のパトロール・通学路」についてのご意見やご要望が29件と最も多く、ついで、「先生・教員について」が25件、「部活動」が19件となっています。

「子どもの遊ぶ場所、安全に過ごせる場所、交流する場・機会」についてのご意見・ご要望について細かくみていくと、「公園」についてのご意見やご要望が37件と最も多く、ついで、「子どもが安心・安全な場所」が21件、「室内の施設」が9件となっています。

「高校・大学の無償化、支援など」についてのご意見・ご要望について細かくみていくと、「支援」についてのご意見やご要望が53件、「無償化」が29件となっています。

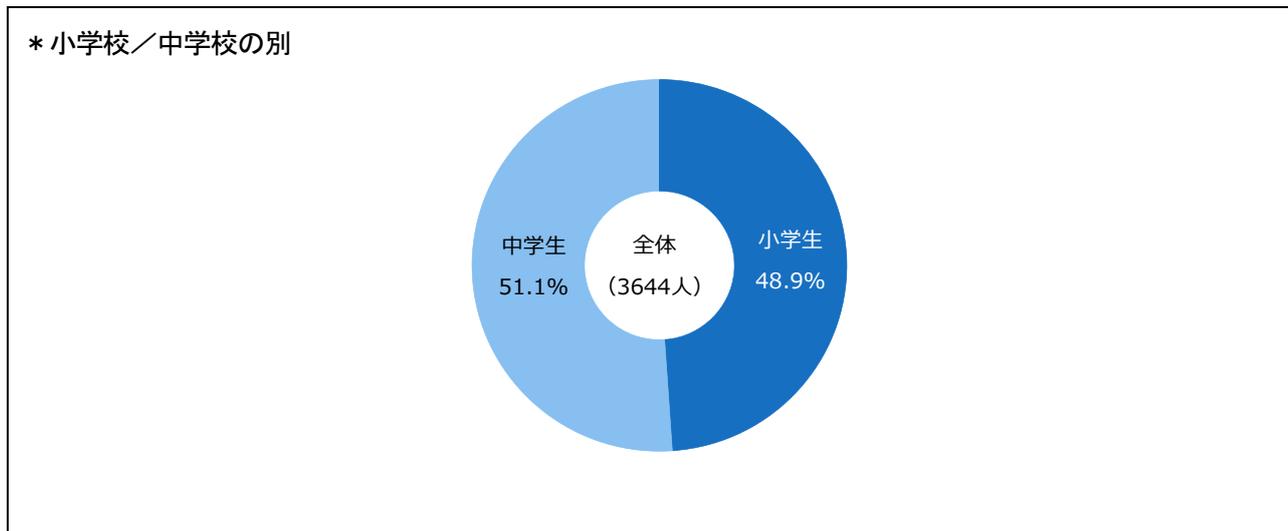
「教育にかかる費用の支援・無償化など」についてのご意見・ご要望について細かくみていくと、「制服や給食費、修学旅行などの費用」についてのご意見やご要望が24件、「学費」が18件となっています。

### Ⅲ 調査結果（子ども）



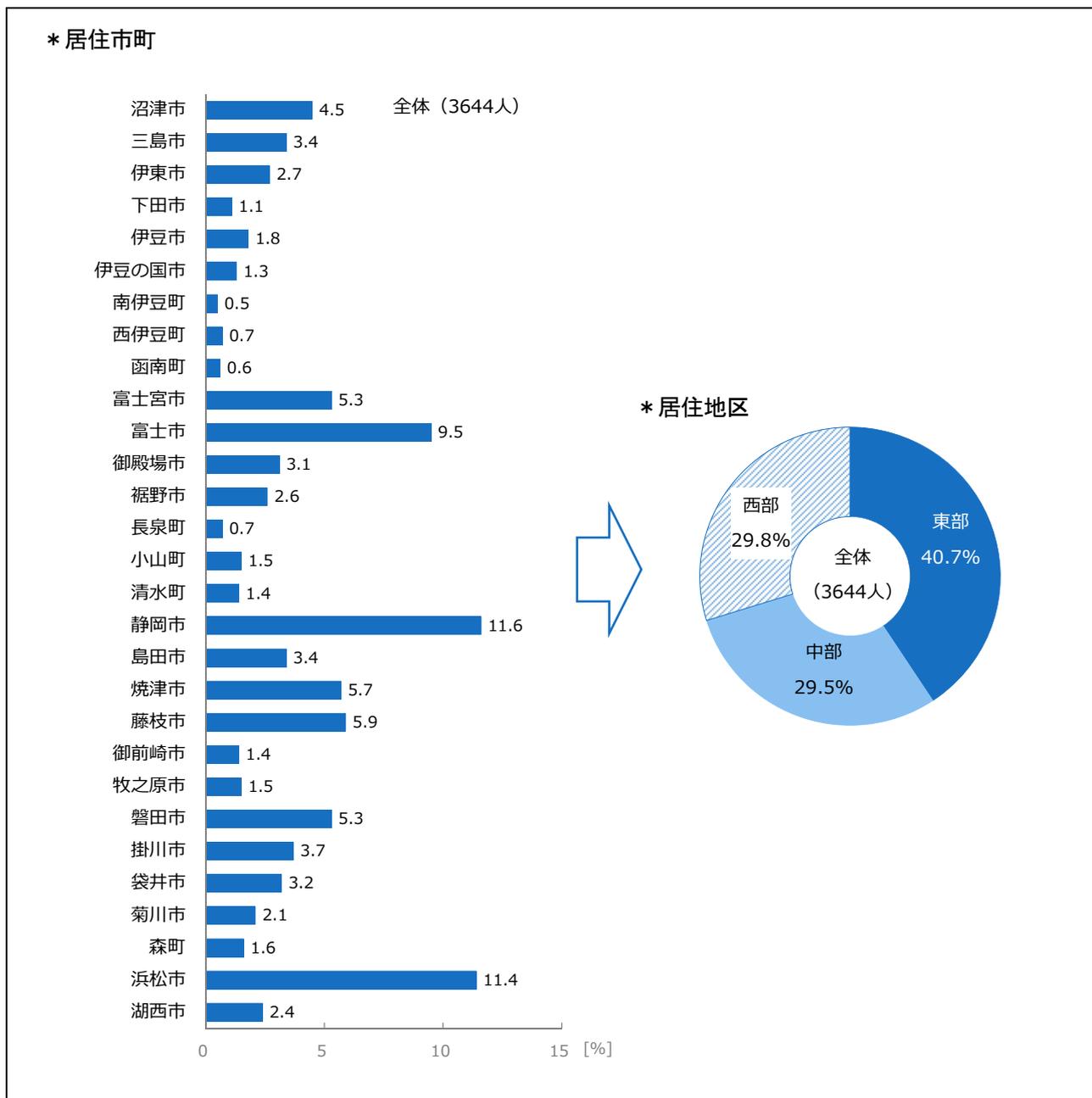
## \* 回答者の属性

### (1) 学年



学年（小学校・中学校の別）は、「中学生」51.1%、「小学生」48.9%となっています。

## (2) 居住地区

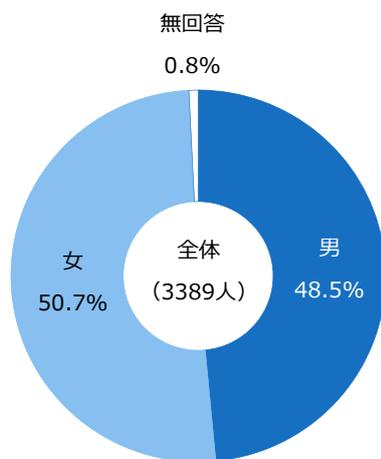


居住市町（学校所在市町）は、「静岡市」11.6%が最も多く、以下「浜松市」11.4%、「富士市」9.5%、「藤枝市」5.9%、「焼津市」5.7%、「富士宮市」と「磐田市」各5.3%となっています。

居住地区（学校所在地区）は、「東部」40.7%が最も多く、以下「西部」29.8%、「中部」29.5%となっています。

### (3) 性別

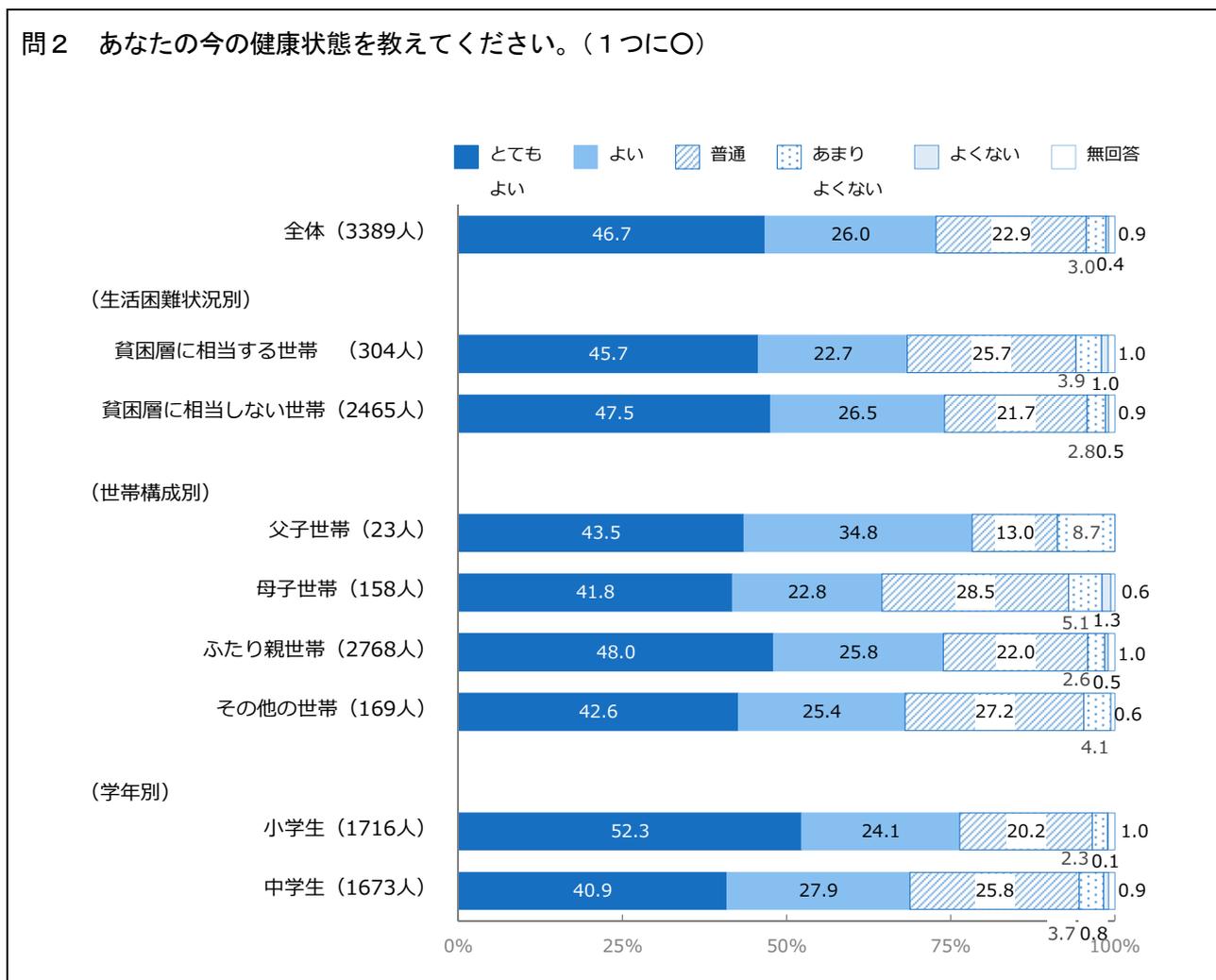
問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○)



性別は、「男」48.5%、「女」50.7%となっています。

# 1 健康のことについて

## (1) 健康状態



現在の健康状態は、「とてもよい」46.7%が最も多く、以下「よい」26.0%、「普通」22.9%となっています。「とてもよい」と「よい」を合わせた『よい』は72.7%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』は3.4%となっています。

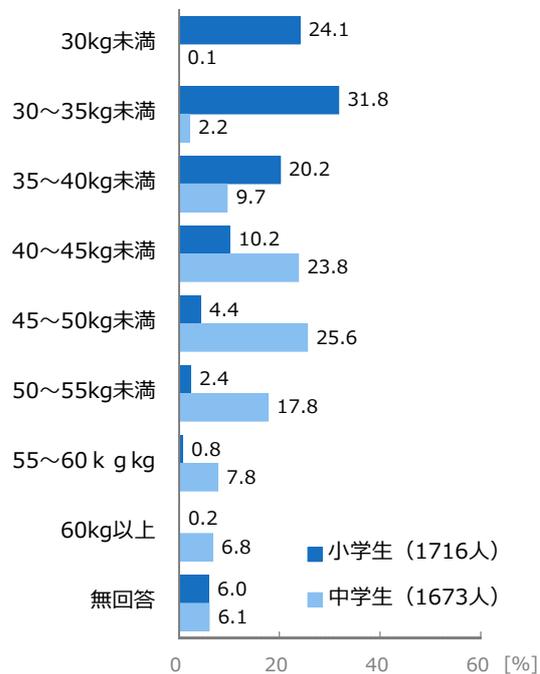
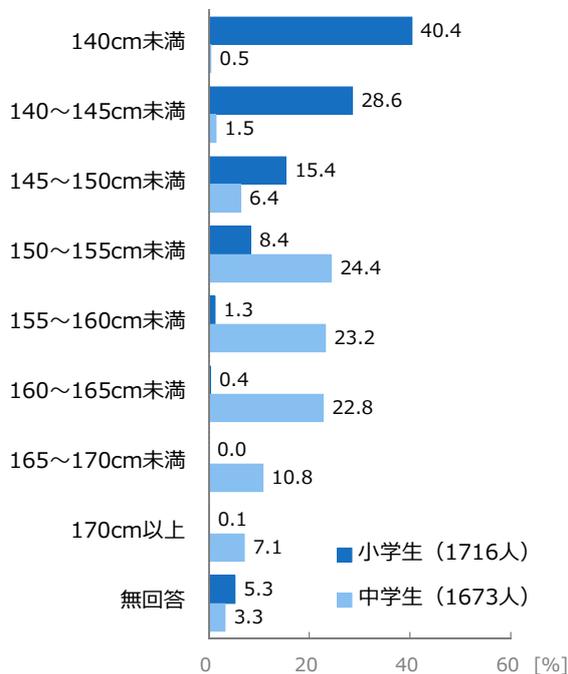
学年別でみると、小学生では「とてもよい」52.3%が比較的多くなっています。

## (2) 身長・体重

問3 あなたのおおよその身長と体重を教えてください。

\* 身長

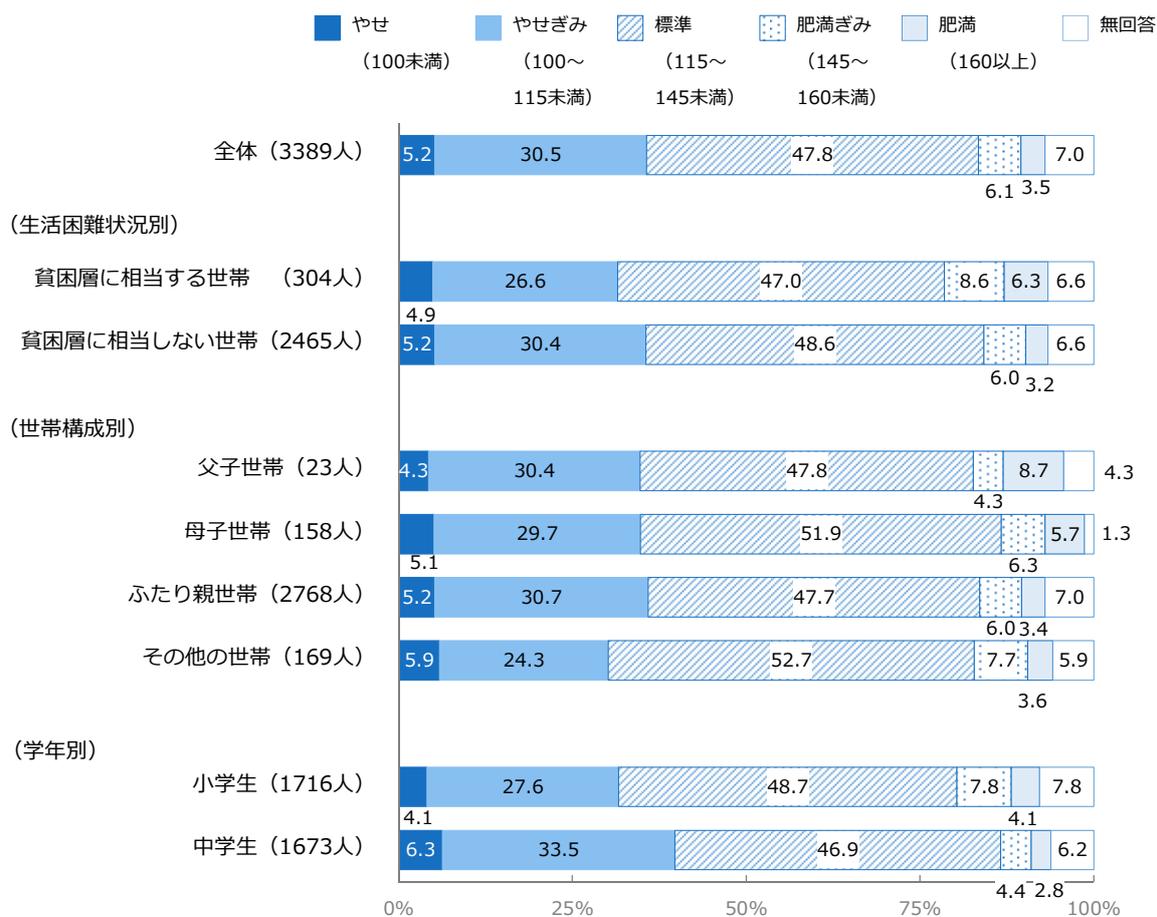
\* 体重



身長は、小学生では「140cm 未満」40.4%が最も多く、以下「140～145cm 未満」28.6%、「145～150cm 未満」15.4%となっています。中学生では「150～155cm 未満」24.4%が最も多く、以下「155～160cm 未満」23.2%、「160～165cm 未満」22.8%となっています。

体重は、小学生では「30～35kg 未満」31.8%が最も多く、以下「30kg 未満」24.1%、「35～40kg 未満」20.2%となっています。中学生では「45～50kg 未満」25.6%が最も多く、以下「40～45kg 未満」23.8%、「50～55kg 未満」17.8%となっています。

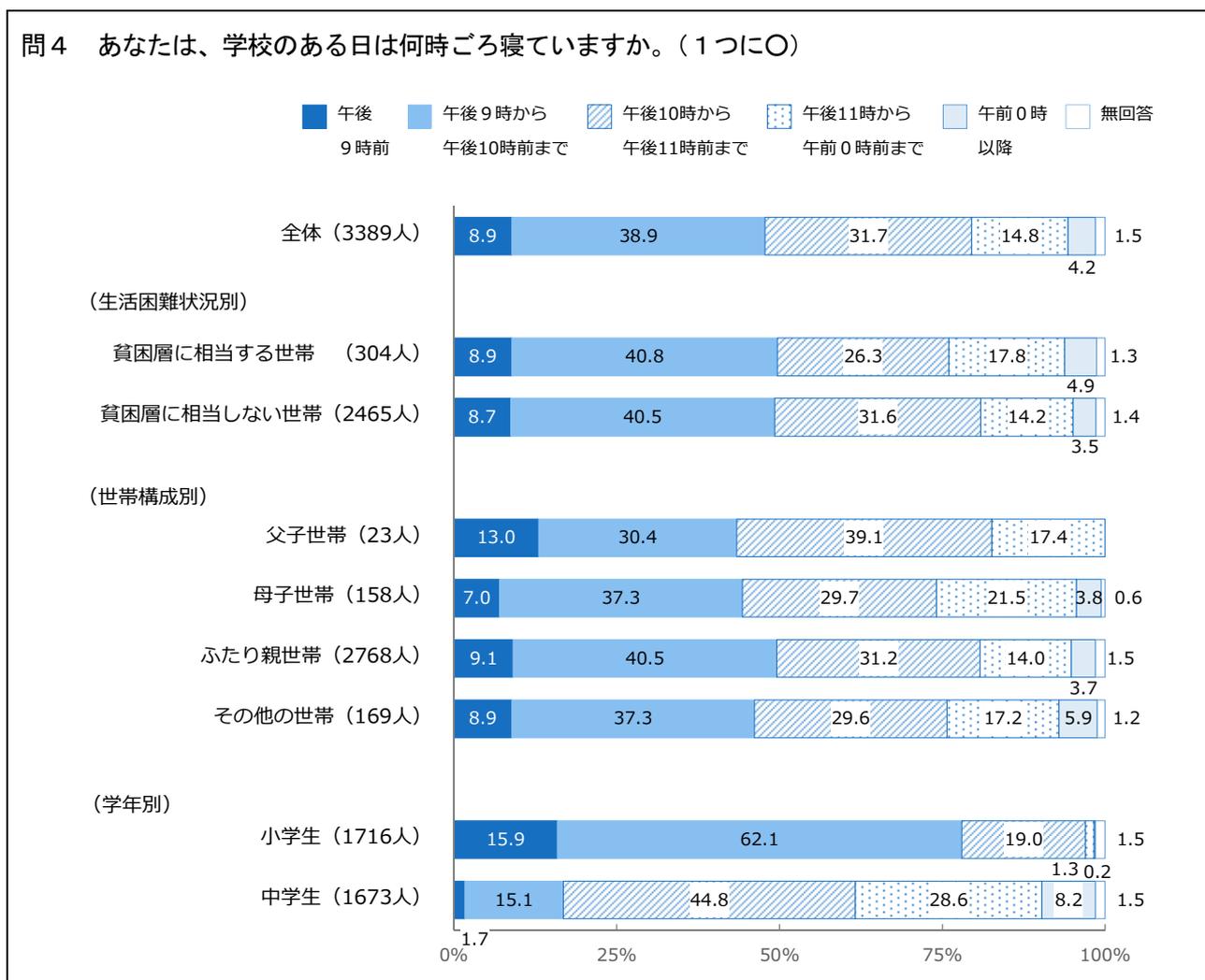
\* ローレル指数 …体重 (kg) ÷身長 (cm)<sup>3</sup> × 10<sup>7</sup> で算出



ローレル指数は、「標準 (115~145 未満)」47.8%が最も多く約半数を占め、以下「やせぎみ (100~115 未満)」30.5%、「肥満ぎみ (145~160 未満)」6.1%となっています。

学年別でみると、中学生では「やせぎみ (100~115 未満)」33.5%が比較的多くなっています。

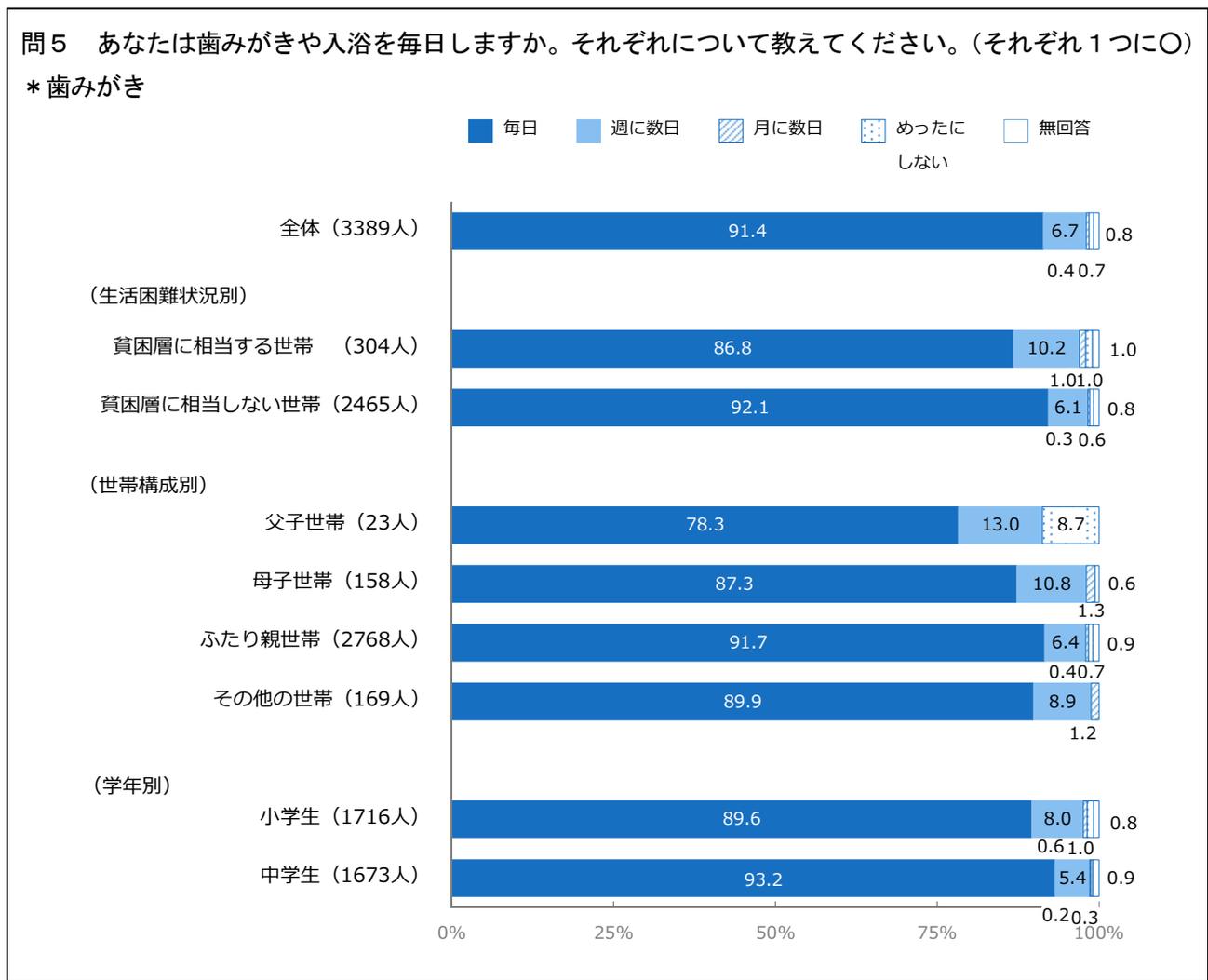
### (3) 就寝時刻



学校のある日の就寝時刻は、「午後9時から午後10時前まで」38.9%が最も多く、以下「午後10時から午後11時前まで」31.7%、「午後11時から午前0時前まで」14.8%、「午後9時前」8.9%となっています。

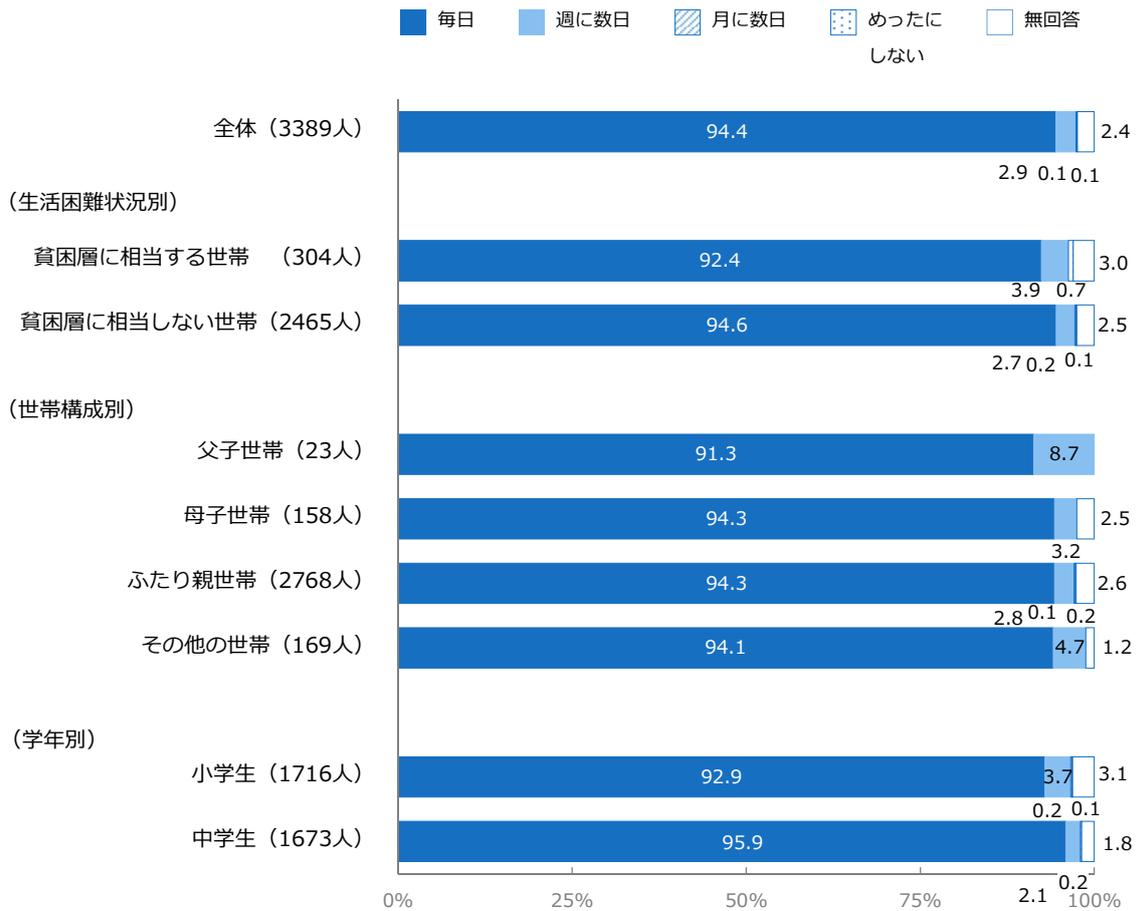
学年別でみると、小学生では「午後9時から午後10時前まで」62.1%が最も多く、以下「午後10時から午後11時前まで」19.0%、「午後9時前」15.9%となっています。中学生では「午後10時から午後11時前まで」44.8%が最も多く、「午後11時から午前0時前まで」28.6%、「午後9時から午後10時前まで」15.1%となっています。

#### (4) 歯みがき・入浴の頻度



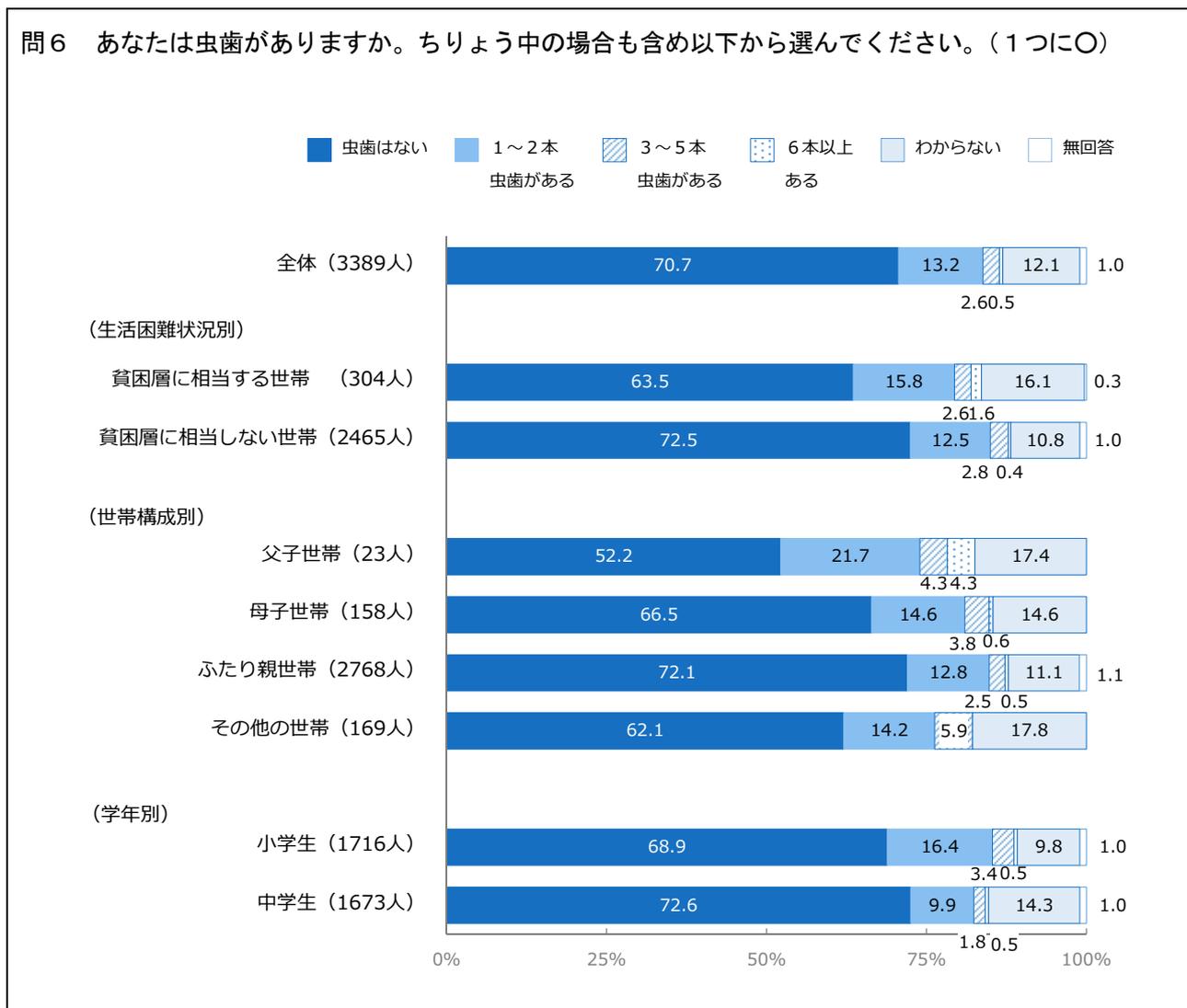
歯みがきの頻度は、「毎日」91.4%が最も多く9割以上を占め、次いで「週に数日」6.7%となっています。生活困難状況別、世帯構成別、学年別による差はあまりみられていません。

\* 入浴



入浴の頻度は、「毎日」94.4%が最も多く9割以上を占め、次いで「週に数日」2.9%となっています。生活困難状況別、世帯構成別、学年別による差はあまりみられていません。

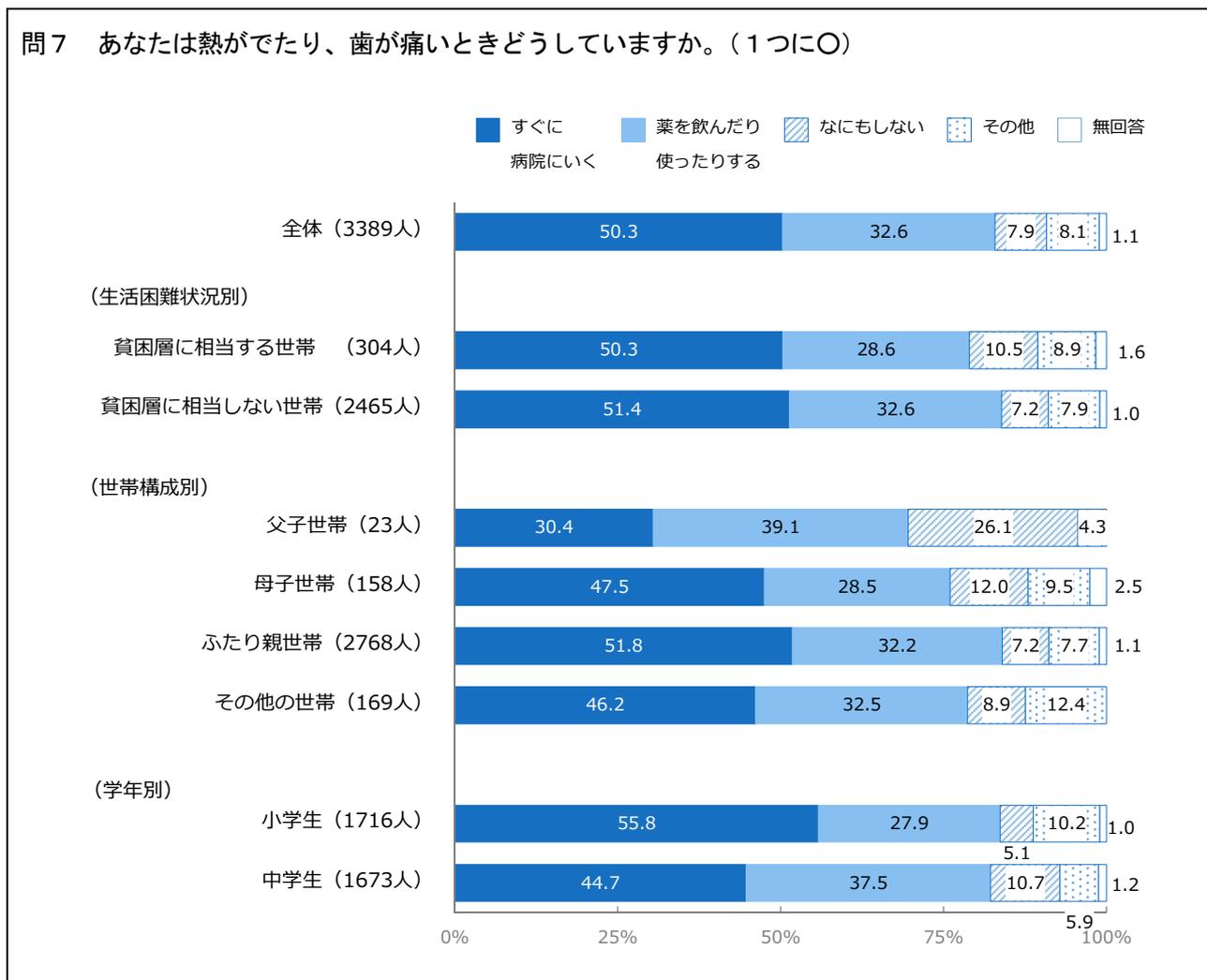
## (5) 虫歯の状況



虫歯の状況は、「虫歯はない」70.7%が最も多く、約7割を占めています。以下「1～2本虫歯がある」13.2%、「わからない」12.1%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当しない世帯では「虫歯はない」72.5%が比較的多くなっています。世帯構成別でみると、ふたり親世帯では「虫歯はない」72.1%が比較的多くなっています。

## (6) 発熱時や歯痛時の対応

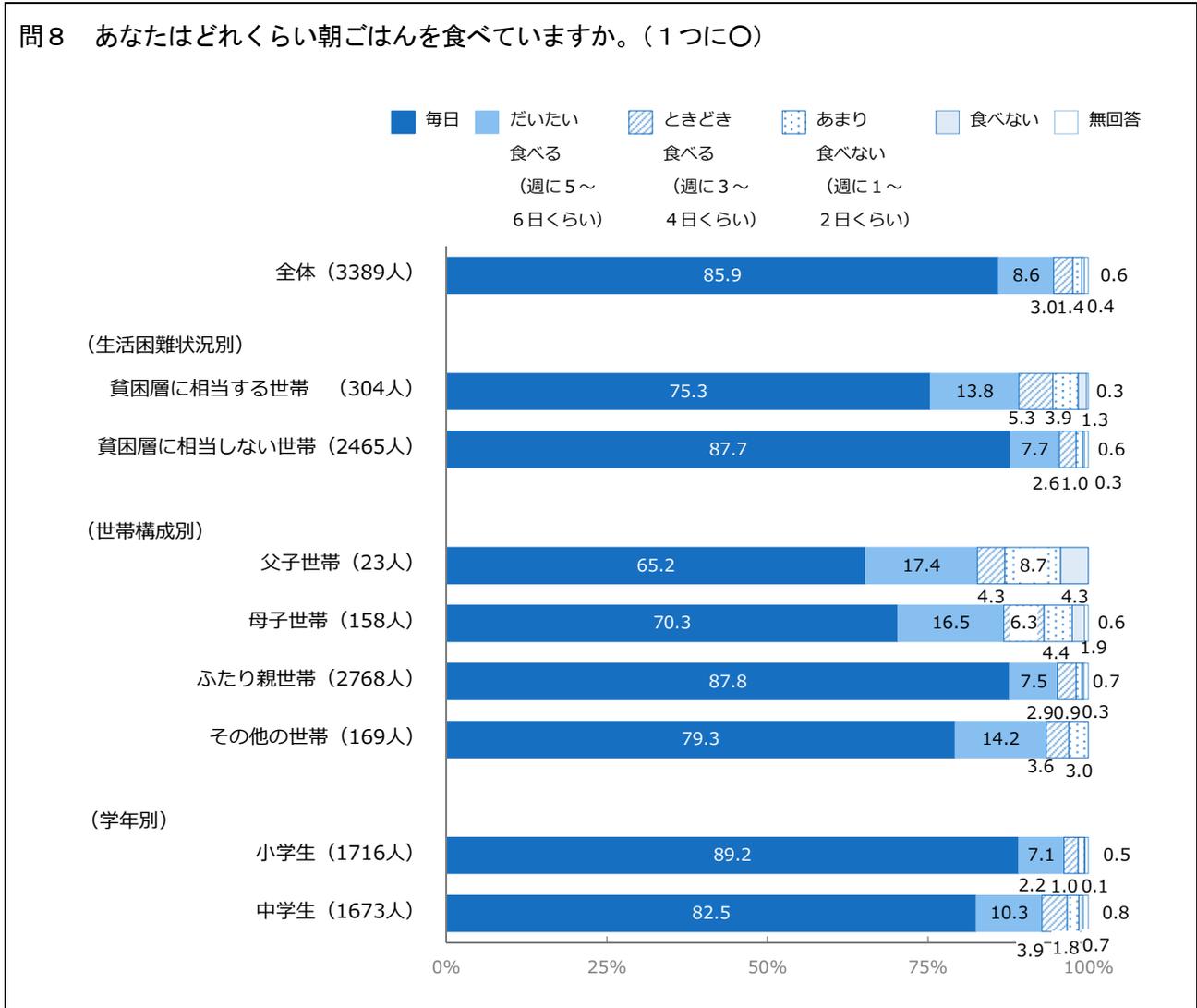


発熱時や歯痛時の対応は、「すぐに病院に行く」50.3%が最も多く、約半数を占めています。以下「薬を飲んだり使ったりする」32.6%、「その他」8.1%、「なにもしない」7.9%となっています。

学年別でみると、小学生では「すぐに病院に行く」55.8%が、中学生では「薬を飲んだり使ったりする」37.5%が比較的多くなっています。

## 2 ふだんの生活のことについて

### (1) 朝ごはんの摂取頻度



朝ごはんの摂取頻度は、「毎日」85.9%が最も多く、以下「だいたい食べる (週に5~6日くらい)」8.6%、「ときどき食べる (週に3~4日くらい)」3.0%となっています。

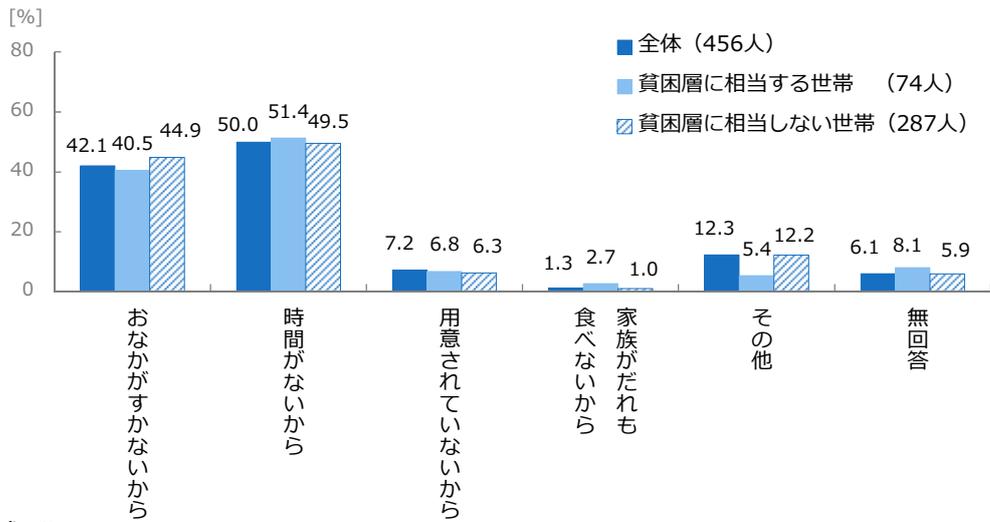
生活困難状況別でみると、貧困層に相当しない世帯では「毎日」87.7%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、ふたり親世帯では「毎日」87.8%が比較的多くなっています。

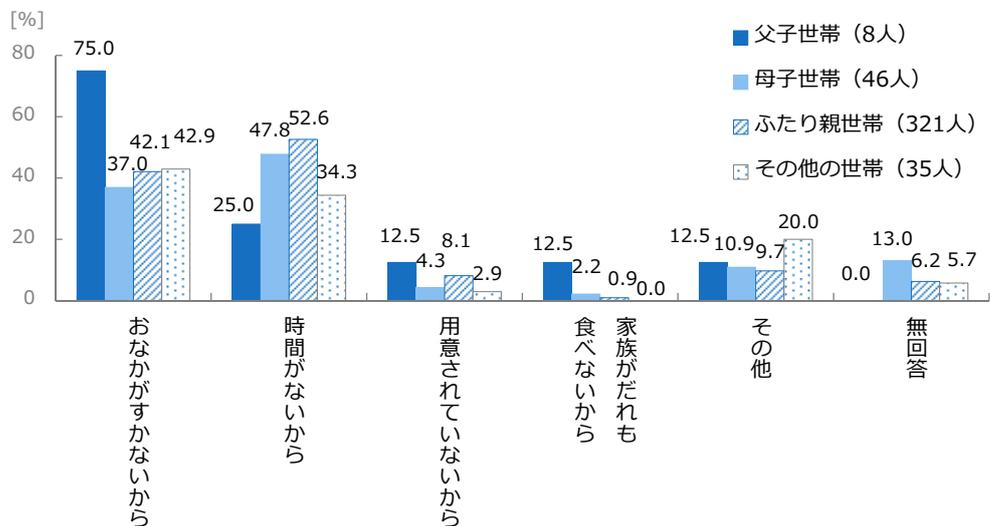
学年別でみると、小学生では「毎日」89.2%が比較的多くなっています。

(問8で「2」～「4」(毎日は食べない)と答えた方にききます。)

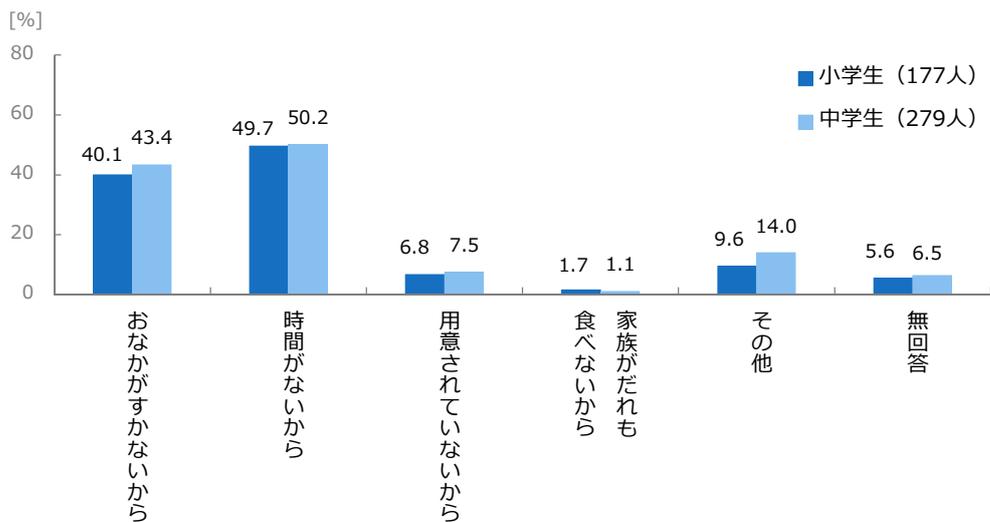
問8-1 毎日朝ごはんを食べない理由は何ですか(〇はいくつでも)



(世帯構成別)



(学年別)

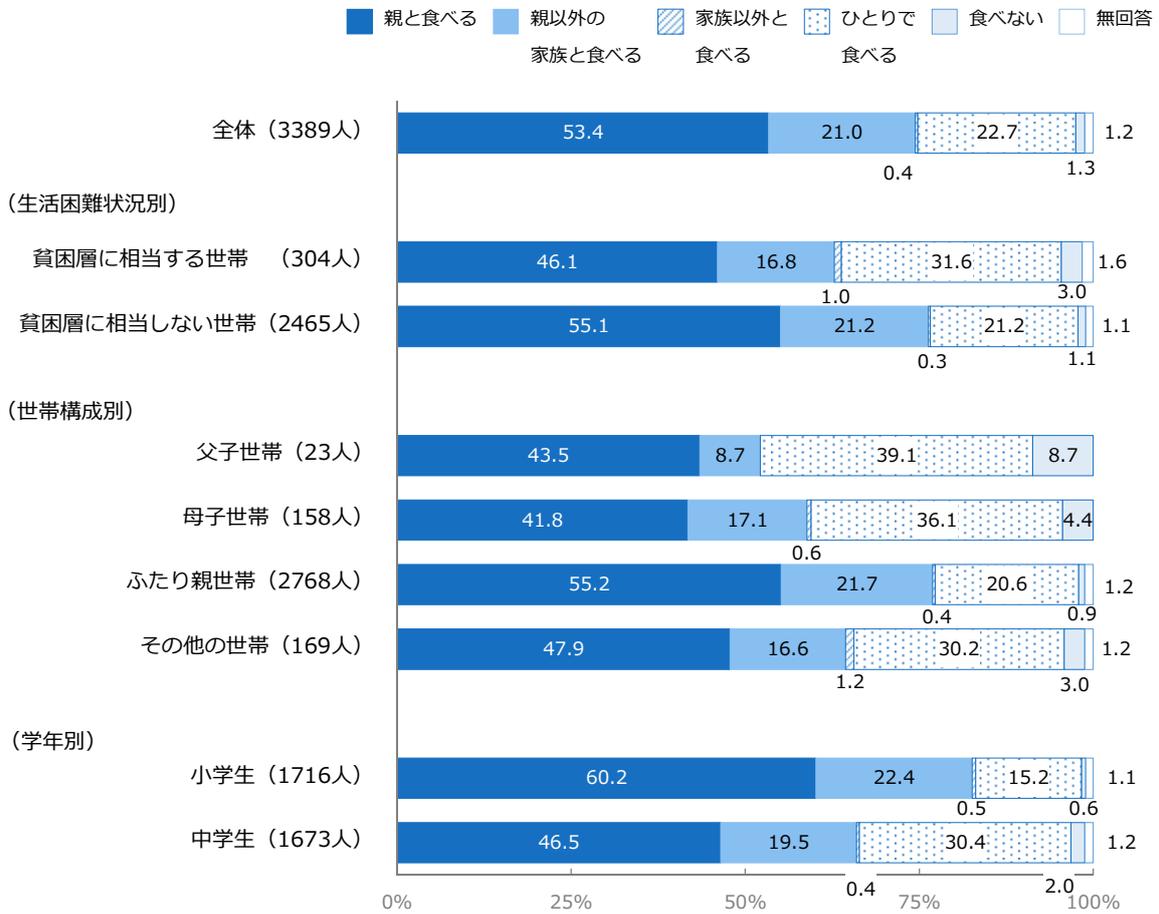


朝ごはんを毎日は食べない人(456人)の毎日朝ごはんを食べない理由は、「時間がないから」50.0%が最も多く、以下「おなかがすかないから」42.1%、「その他」12.3%、「用意されていないから」7.2%となっています。生活困難状況別、世帯構成別、学年別による差はあまりみられていません。

## (2) 食事の状況（一緒に食べる人の有無）

問9 あなたはごはんをだれと食べることが多いですか。（それぞれもっともあてはまるもの1つに○）

①学校のある日の朝ごはん

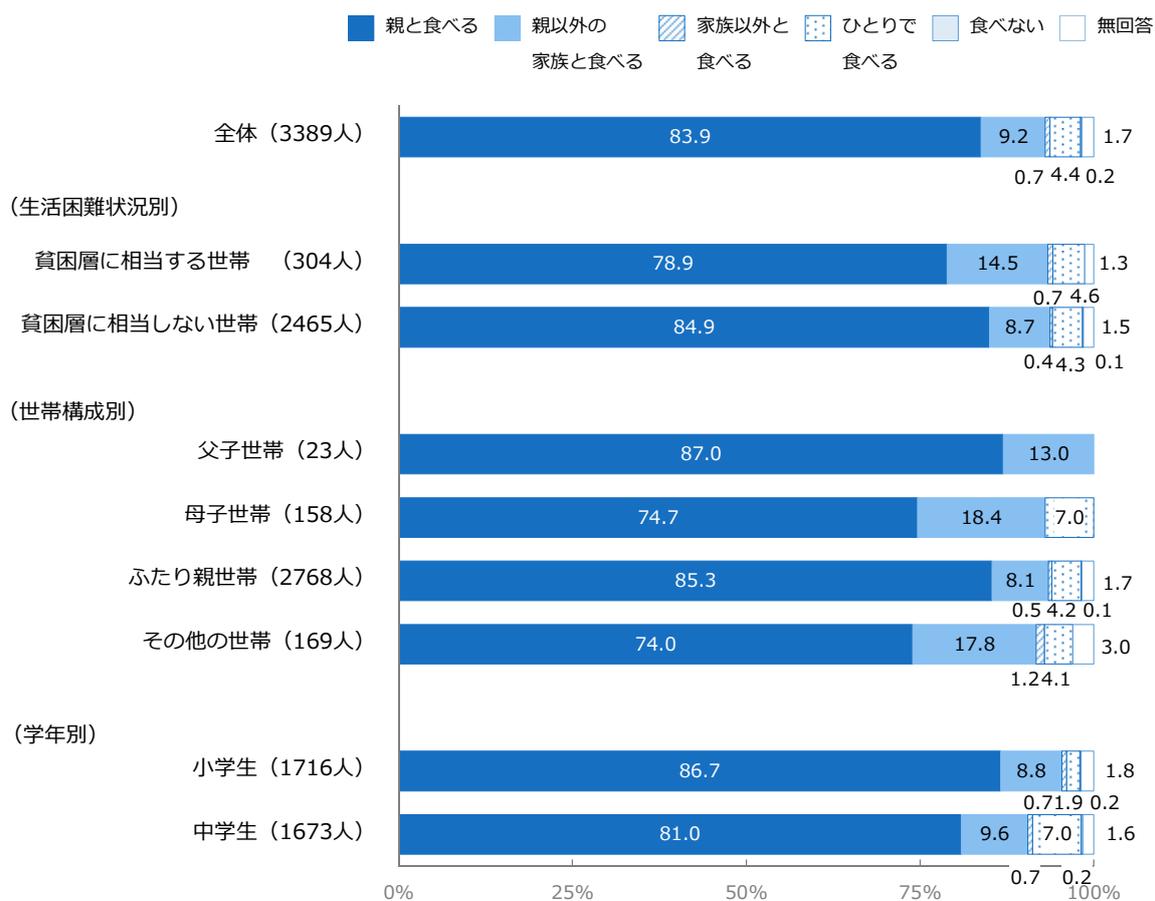


学校のある日の朝ごはんの状況は、「親と食べる」53.4%が最も多く、以下「ひとりで食べる」22.7%、「親以外の家族と食べる」21.0%、「食べない」1.3%、「家族以外と食べる」0.4%となっています。

世帯構成別でみると、母子世帯とその他の世帯では「ひとりで食べる」が比較的多くなっています（母子世帯：36.1%、その他の世帯：30.2%）。

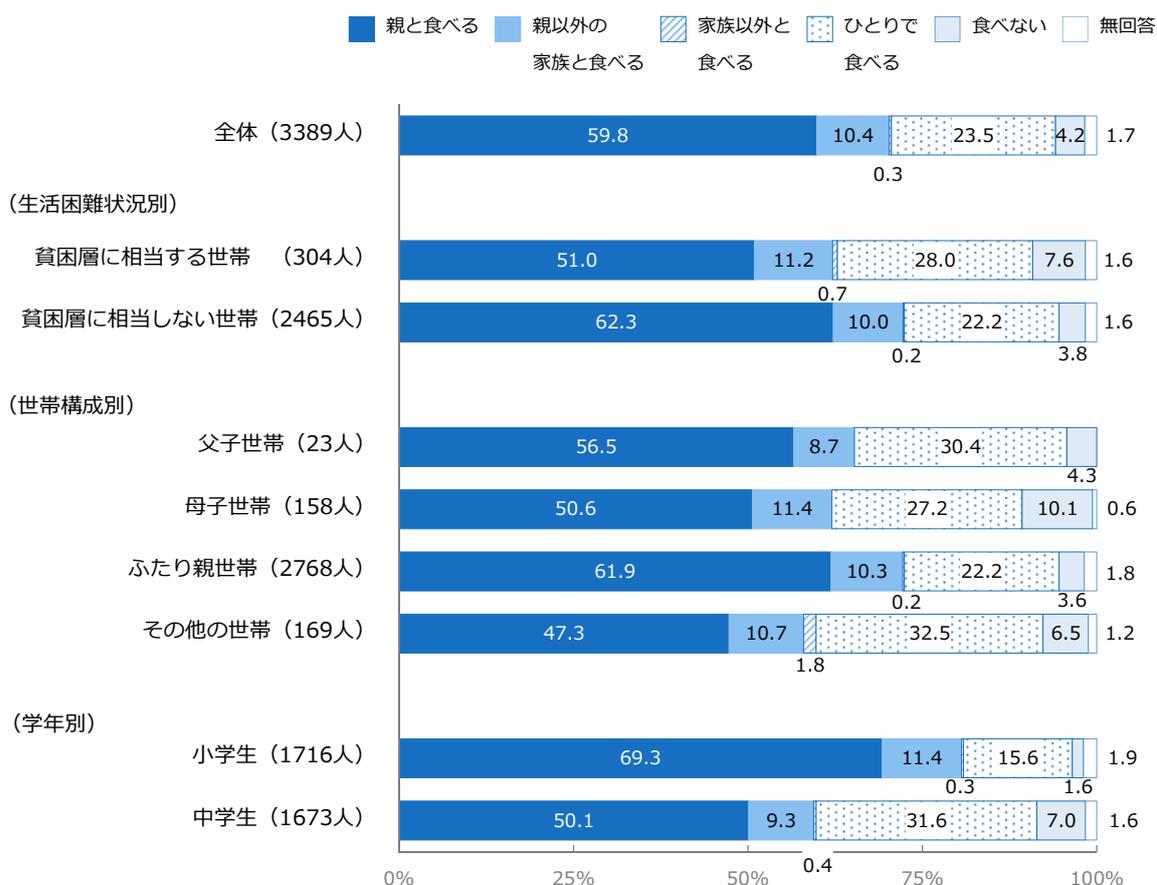
学年別でみると、小学生では「親と食べる」60.2%が、中学生では「ひとりで食べる」30.4%が比較的多くなっています。

## ②学校のある日の夕ごはん



学校のある日の夕ごはんの状況は、「親と食べる」83.9%が最も多く、以下「親以外の家族と食べる」9.2%、「ひとりで食べる」4.4%、「家族以外と食べる」0.7%、「食べない」0.2%となっています。世帯構成別でみると、ふたり親世帯では「親と食べる」85.3%が比較的多くなっています。

### ③学校の無い日の朝ごはん



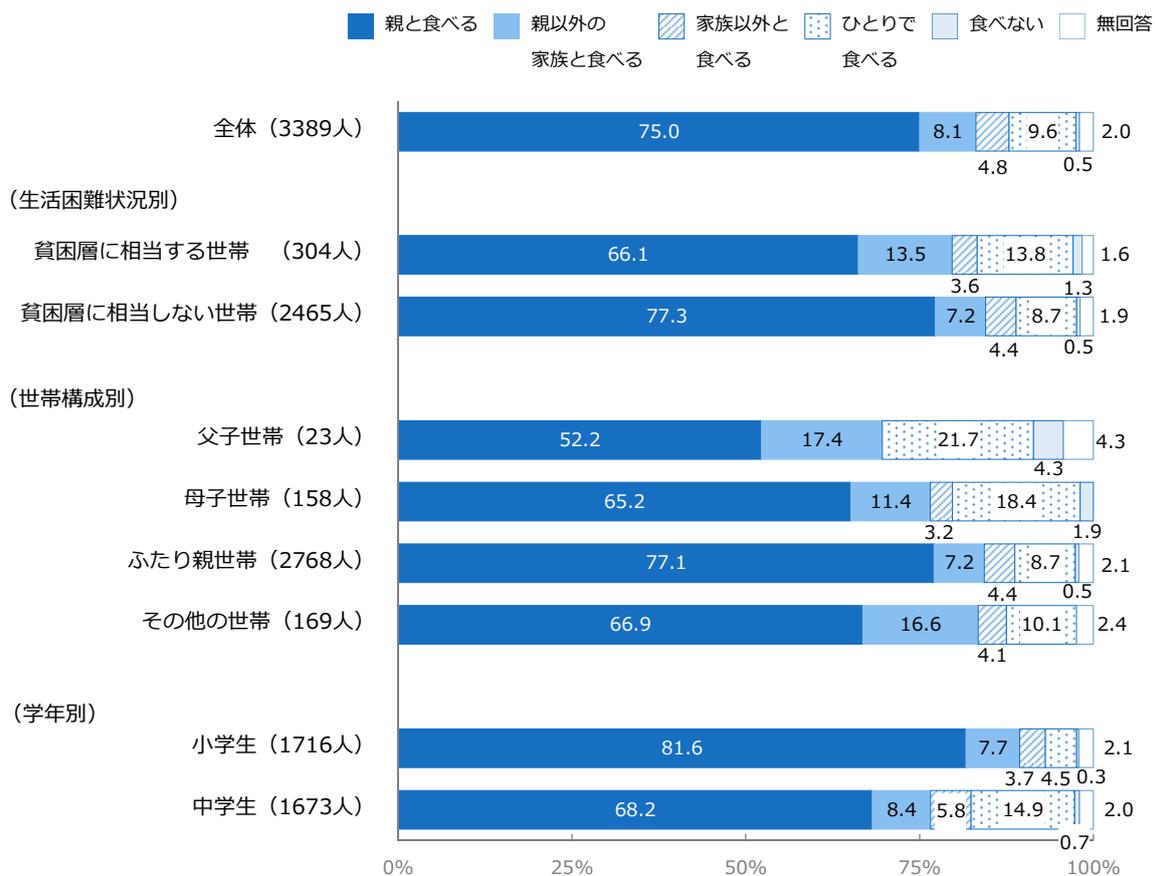
学校の無い日の朝ごはんの状況は、「親と食べる」59.8%が最も多く、以下「ひとりで食べる」23.5%、「親以外の家族と食べる」10.4%、「食べない」4.2%、「家族以外と食べる」0.3%となっています。

生活困難状況でみると、貧困層に相当しない世帯では「親と食べる」62.3%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、ふたり親世帯では「親と食べる」61.9%が、その他の世帯では「ひとりで食べる」32.5%が比較的多くなっています。

学年別でみると、小学生では「親と食べる」69.3%が、中学生では「ひとりで食べる」31.6%が比較的多くなっています。

#### ④学校の無い日の昼ごはん



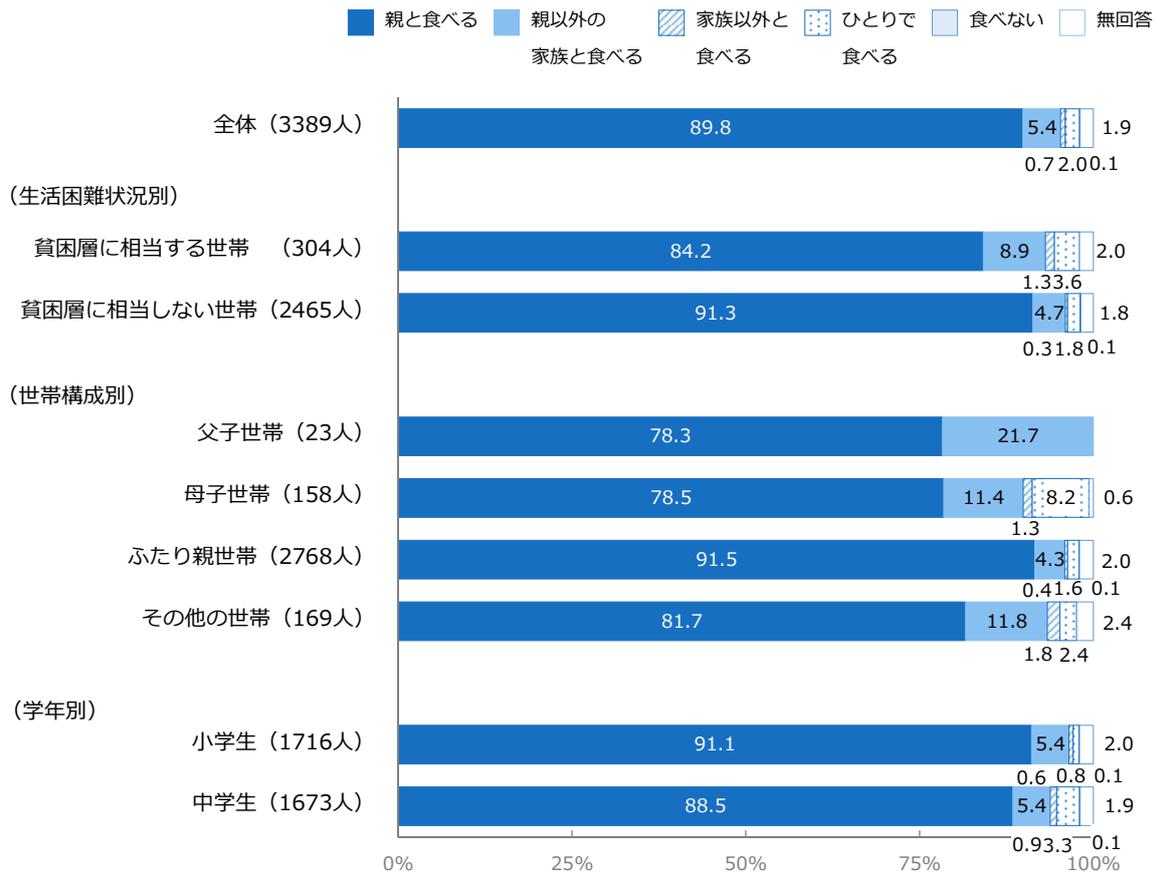
学校の無い日の昼ごはんの状況は、「親と食べる」75.0%が最も多く、以下「ひとりで食べる」9.6%、「親以外の家族と食べる」8.1%、「家族以外と食べる」4.8%、「食べない」0.5%となっています。

生活困難状況でみると、貧困層に相当しない世帯では「親と食べる」77.3%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、ふたり親世帯では「親と食べる」77.1%が比較的多くなっています。

学年別でみると、小学生では「親と食べる」81.6%が比較的多くなっています。

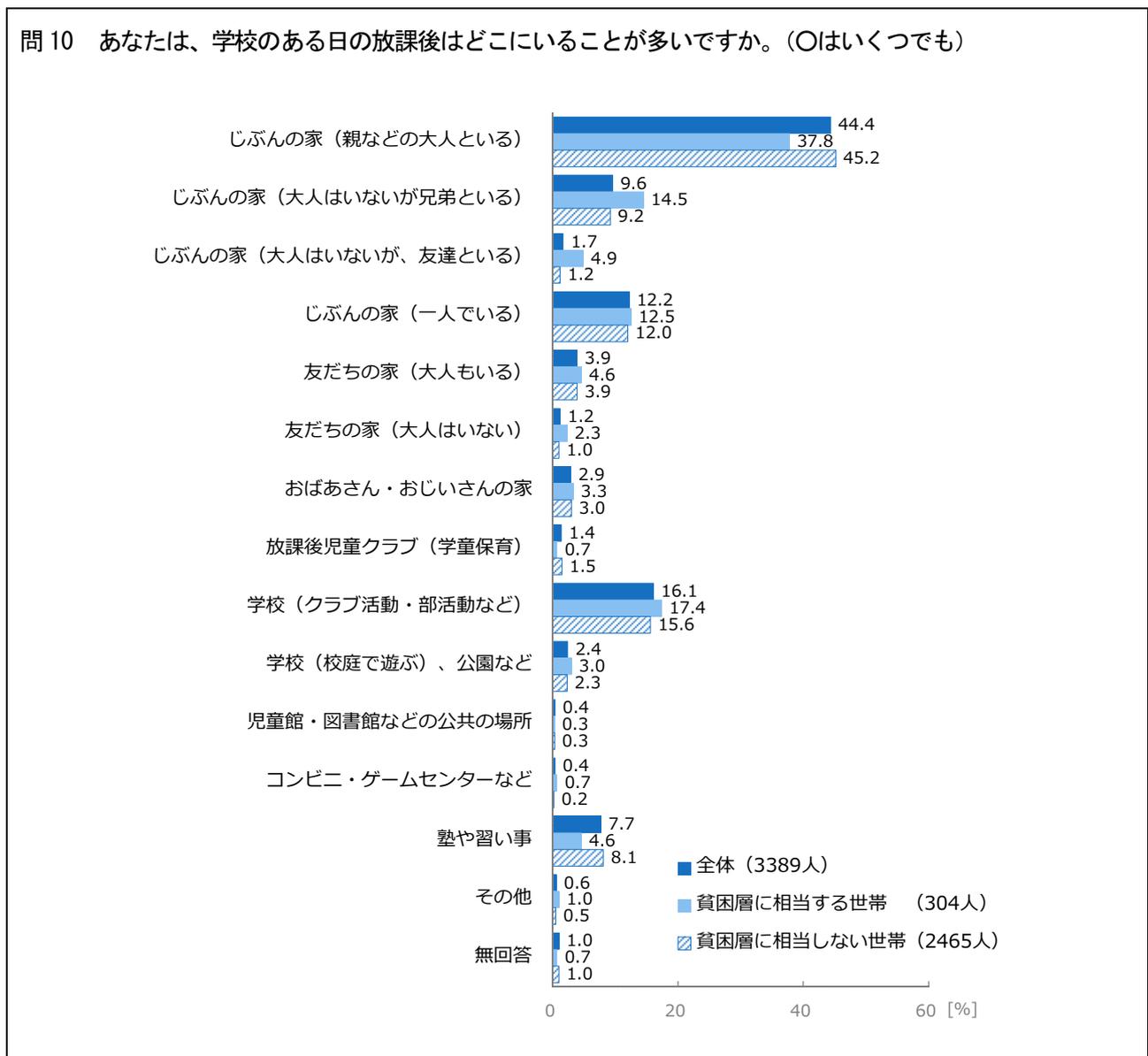
### ⑤学校の無い日の夕ごはん



学校の無い日の夕ごはんの状況は、「親と食べる」89.8%が最も多く、以下「親以外の家族と食べる」5.4%、「ひとりで食べる」2.0%、「家族以外と食べる」0.7%、「食べない」0.1%となっています。

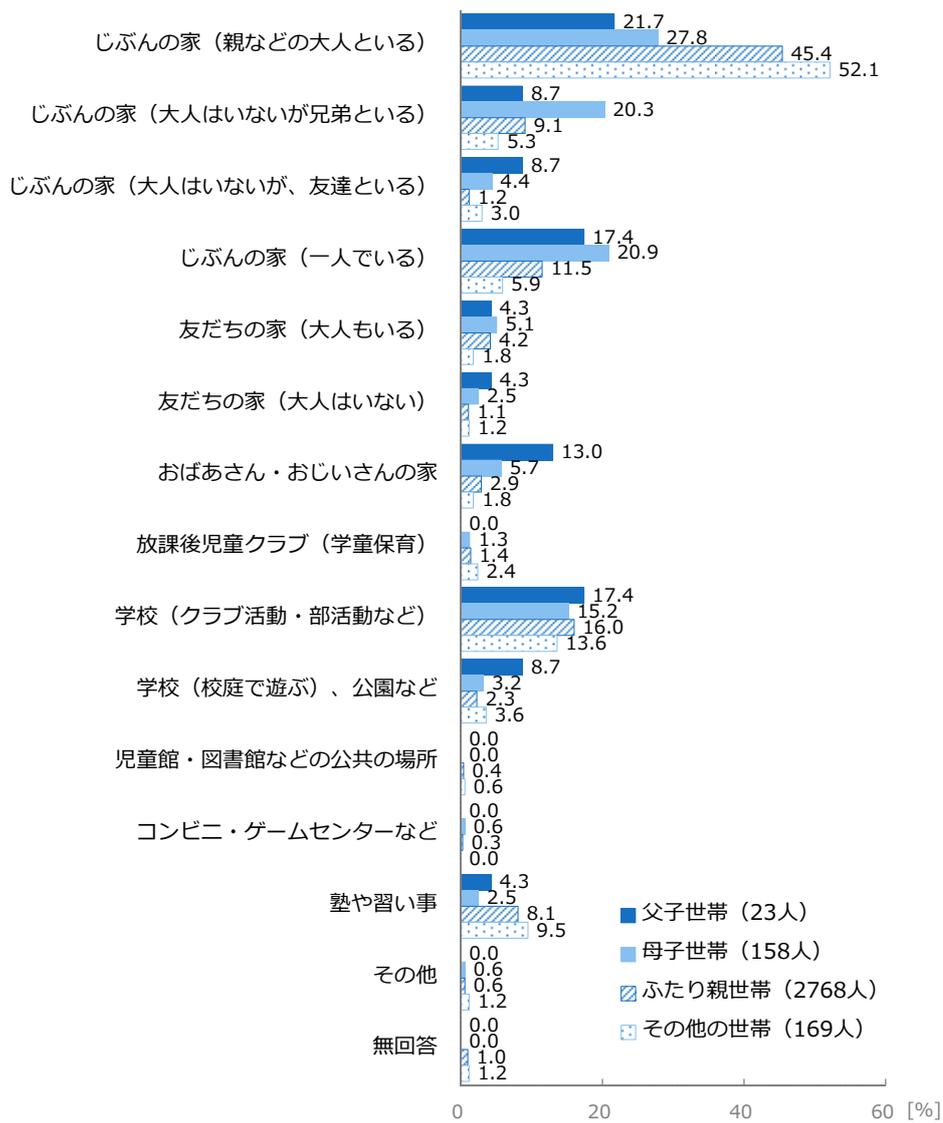
生活困難状況でみると、貧困層に相当しない世帯では「親と食べる」91.3%が比較的多くなっています。世帯構成別でみると、ふたり親世帯では「親と食べる」91.5%が比較的多くなっています。

### (3) 平日の放課後過ごす場所

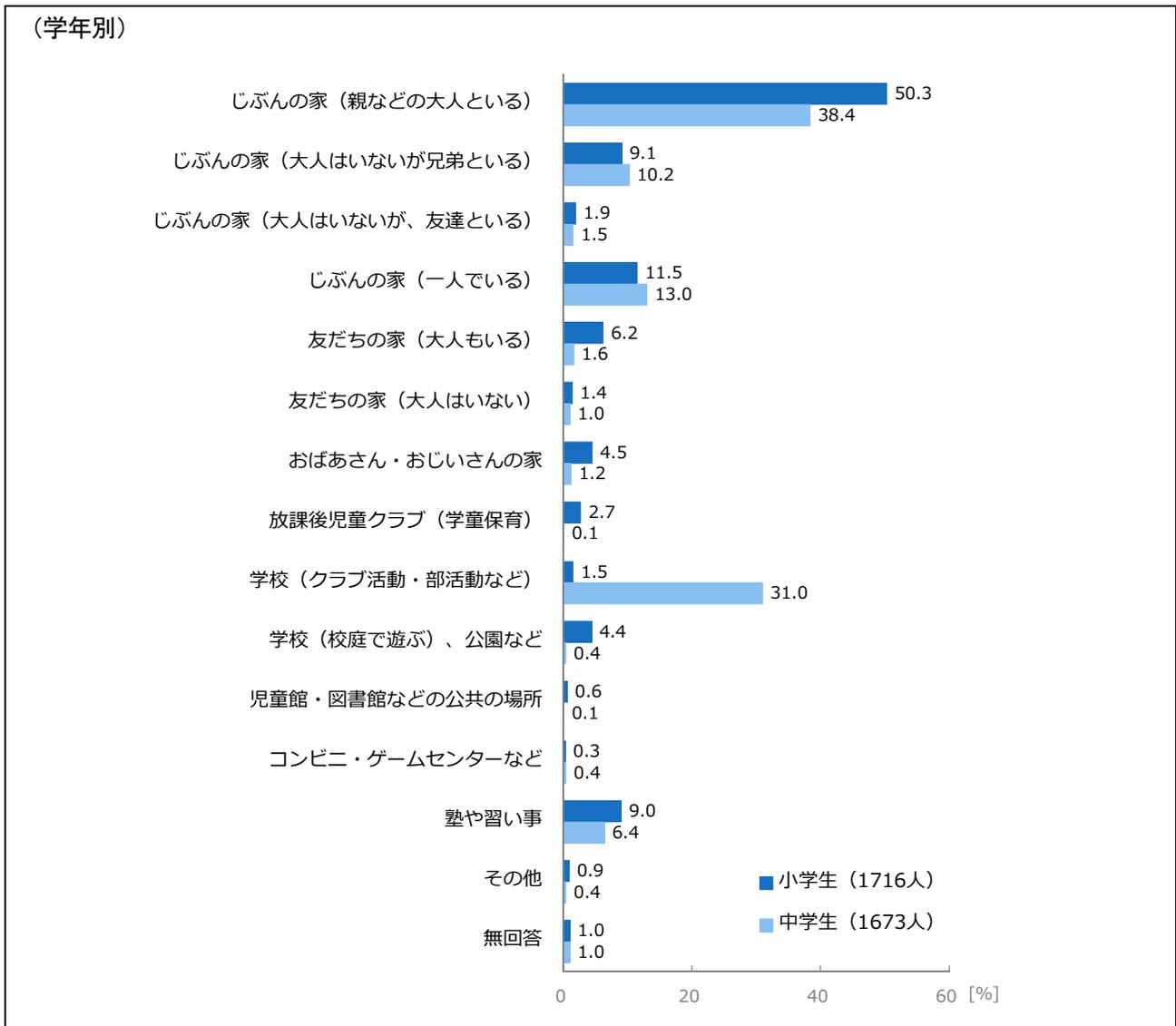


平日（学校のある日）の放課後に過ごすことが多い場所は、「じぶんの家（親などの大人といる）」44.4%が最も多く、以下「学校（クラブ活動・部活動など）」16.1%、「じぶんの家（一人でいる）」12.2%、「じぶんの家（大人はいないが兄弟といる）」9.6%、「塾や習い事」7.7%となっています。

(世帯構成別)



世帯構成別で見ると、母子世帯では「じぶんの家 (大人はいないが兄弟といる)」20.3%と「じぶんの家 (一人でいる)」20.9%が比較的多く、「自分の家 (親などの大人といる)」27.8%が比較的に少なくなっています。その他の世帯では「自分の家 (親などの大人といる)」52.1%が比較的多くなっています。

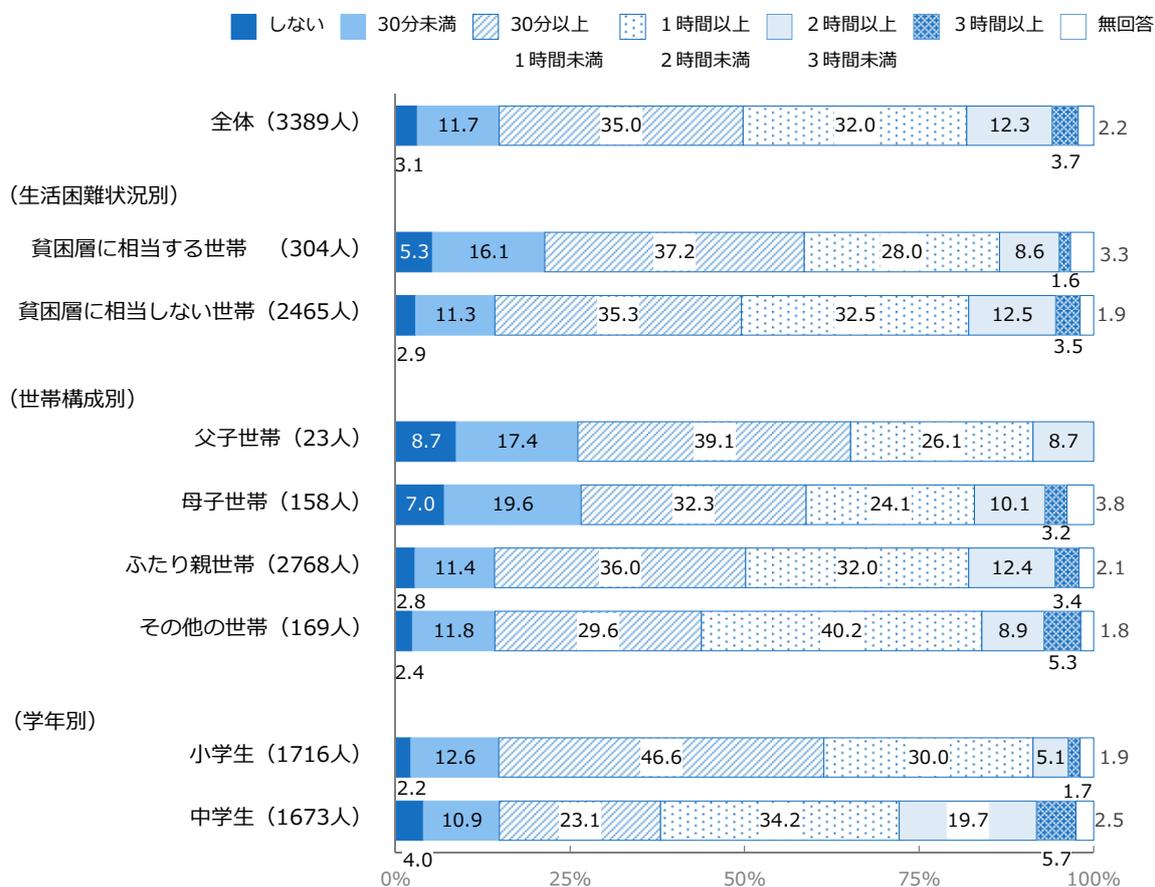


学年別でみると、小学生では「じぶんの家 (親などの大人といる)」50.3%が比較的多くなっています。中学生では「学校 (クラブ活動・部活動など)」31.0%が突出しています。

#### (4) 平日の放課後の過ごし方

問11 あなたは、学校のある日の放課後の時間をどのように過ごしていますか。それぞれの時間について教えてください。(それぞれもっともあてはまるもの1つに○)

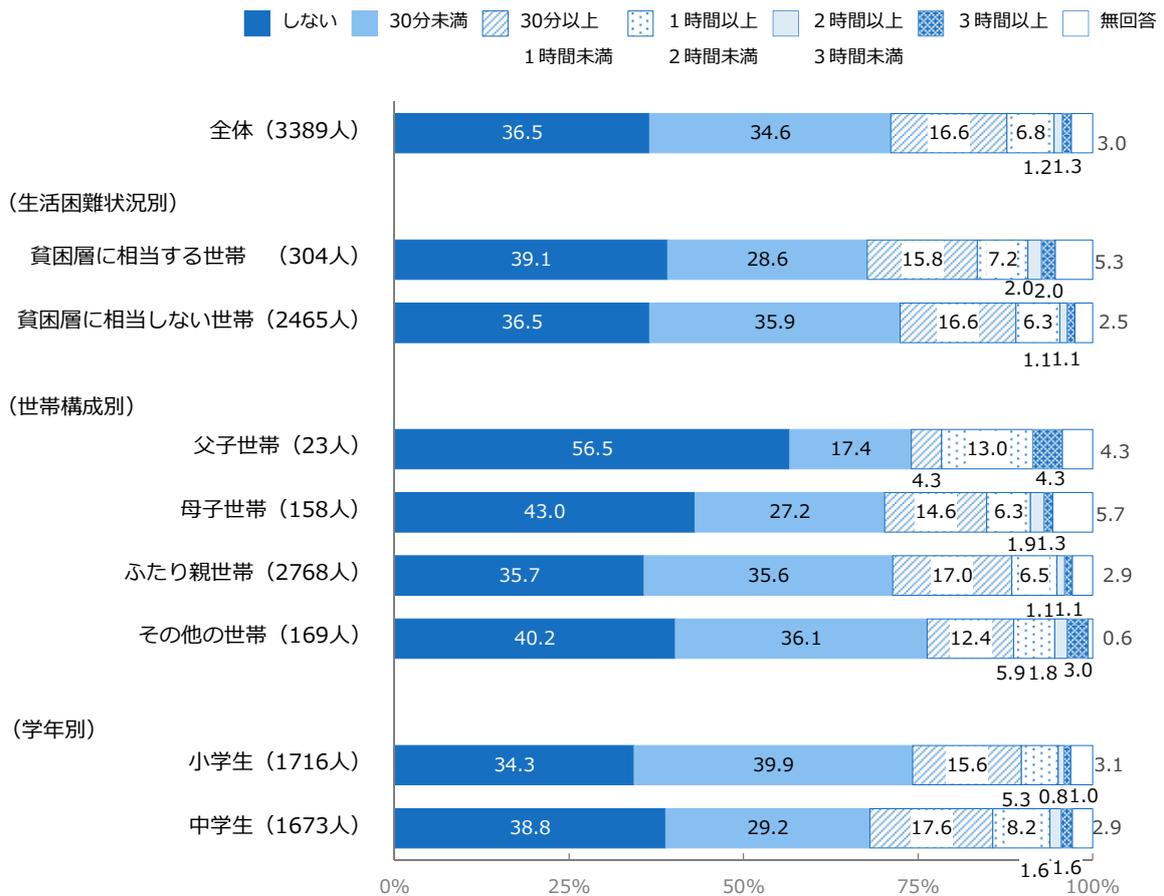
##### ① 勉強や宿題をする(塾に行くことも含む)



平日の放課後、勉強や宿題をする(塾に行くことも含む)時間は、「30分以上1時間未満」35.0%が最も多く、以下「1時間以上2時間未満」32.0%、「2時間以上3時間未満」12.3%、「30分未満」11.7%、「3時間以上」3.7%となっています。

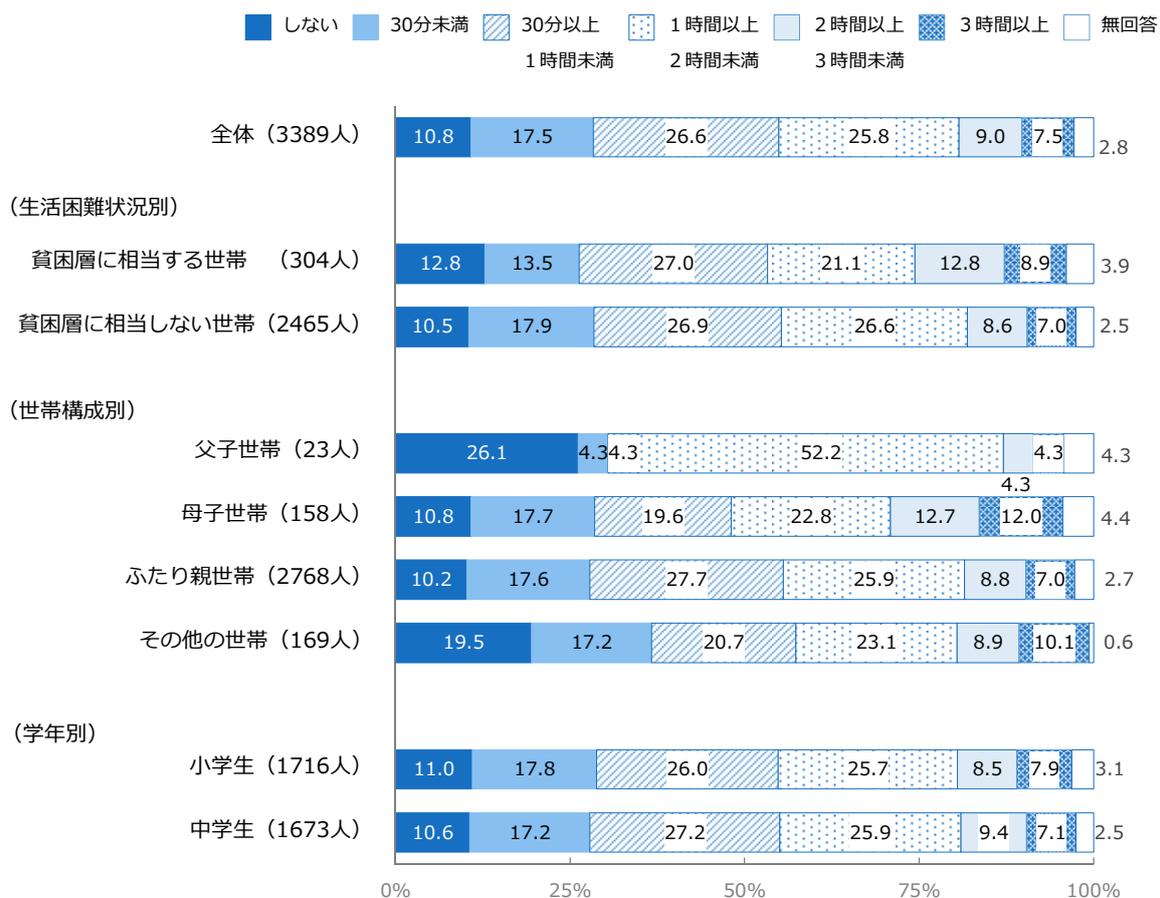
学年別でみると、小学生では「30分以上1時間未満」46.6%が比較的多くなっています。

## ②本やマンガを読む



平日の放課後、本やマンガを読む時間は、「しない」36.5%が最も多く、以下「30分未満」34.6%、「30分以上1時間未満」16.6%、「1時間以上2時間未満」6.8%、「3時間以上」1.3%となっています。生活困難状況別、世帯構成別、学年別による差はあまりみられていません。

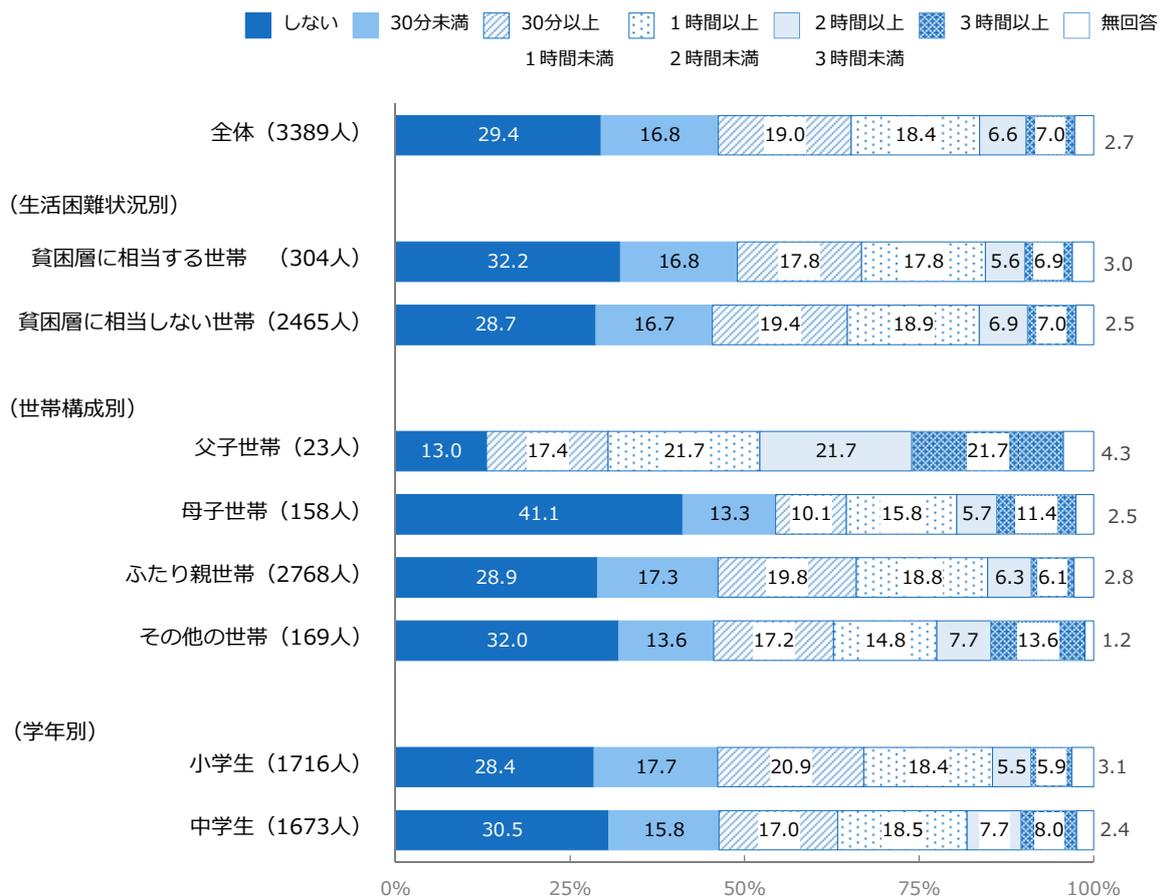
### ③テレビやDVDなどをみる



平日の放課後、テレビやDVDなどをみる時間は、「30分以上1時間未満」26.6%が最も多く、以下「1時間以上2時間未満」25.8%、「30分未満」17.5%、「しない」10.8%、「2時間以上3時間未満」9.0%となっています。

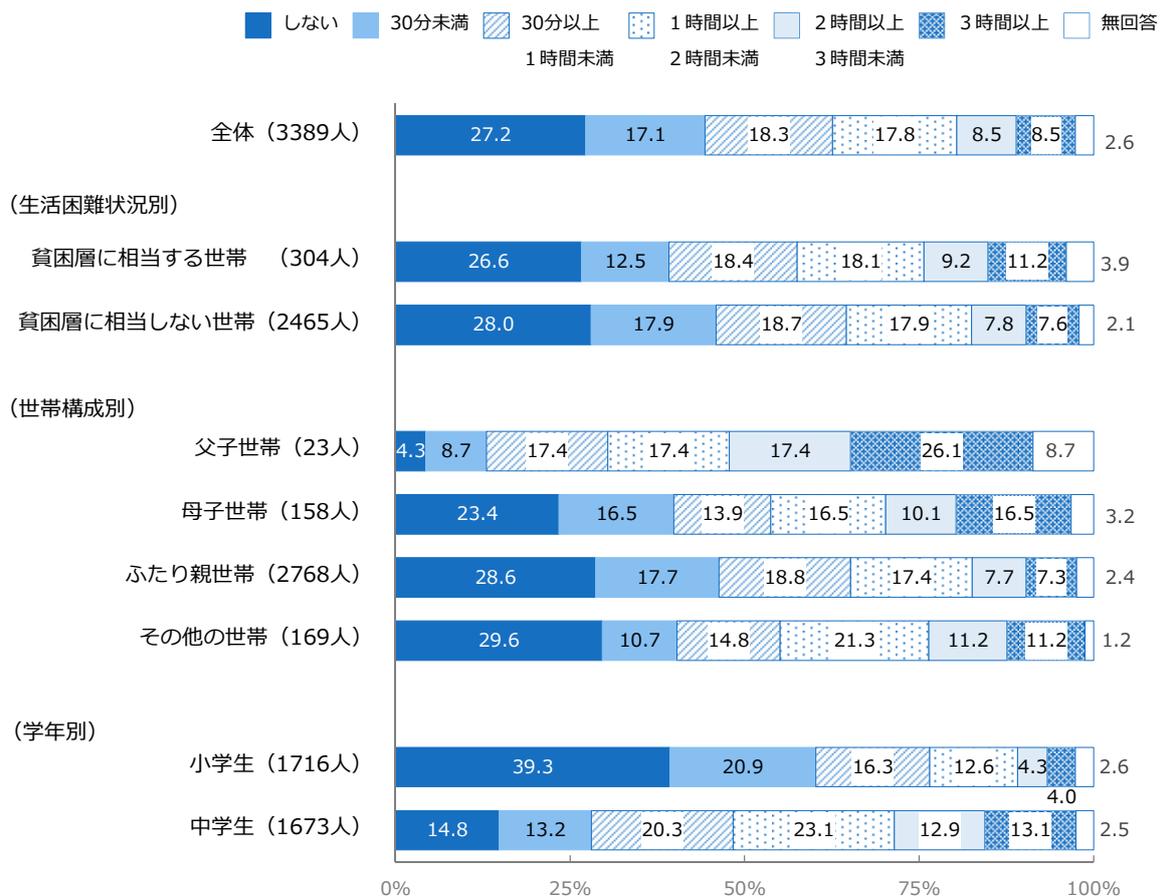
生活困難状況別、世帯構成別、学年別による差はあまりみられていません。

#### ④ゲームをする



平日の放課後、ゲームをする時間は、「しない」29.4%が最も多く、以下「30分以上1時間未満」19.0%、「1時間以上2時間未満」18.4%、「30分未満」16.8%、「3時間以上」7.0%となっています。世帯構成別でみると、母子世帯では「しない」41.1%が比較的多くなっています。

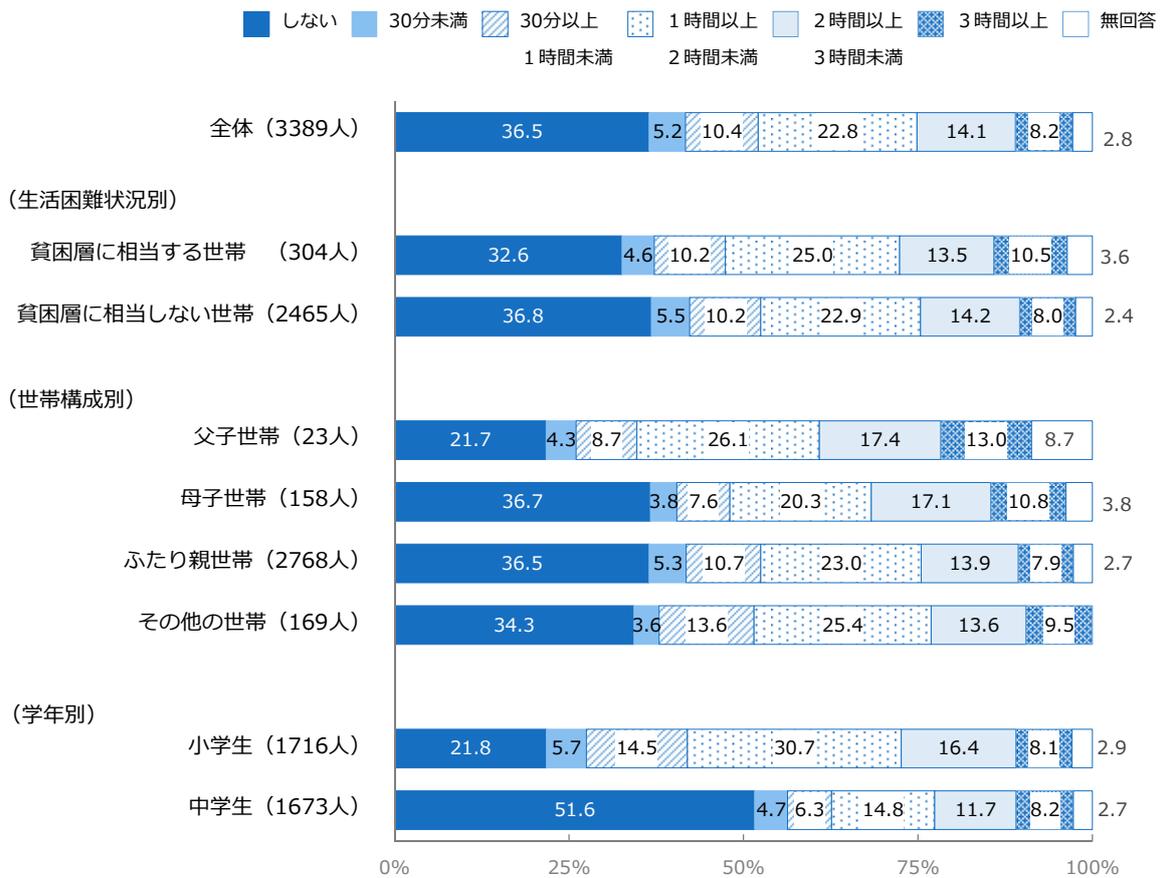
### ⑤スマートフォンなどでLINE をしたり YouTube をみる



平日の放課後、スマートフォンなどでLINE をしたり YouTube をみる時間は、「しない」27.2%が最も多く、以下「30分以上1時間未満」18.3%、「1時間以上2時間未満」17.8%、「30分未満」17.1%、「2時間以上3時間未満」と「3時間以上」各8.5%となっています。

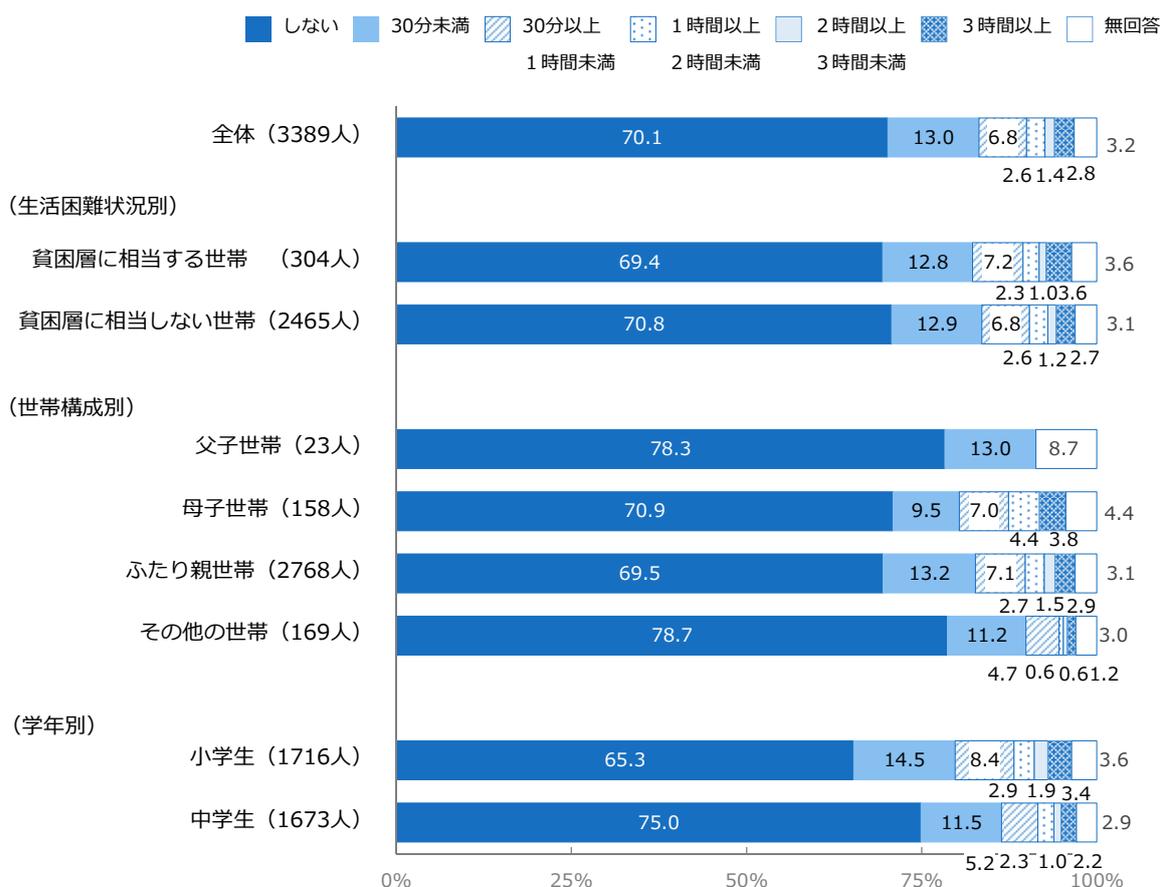
学年別でみると、小学生では「しない」39.3%が比較的多くなっています。

## ⑥友達と遊ぶ



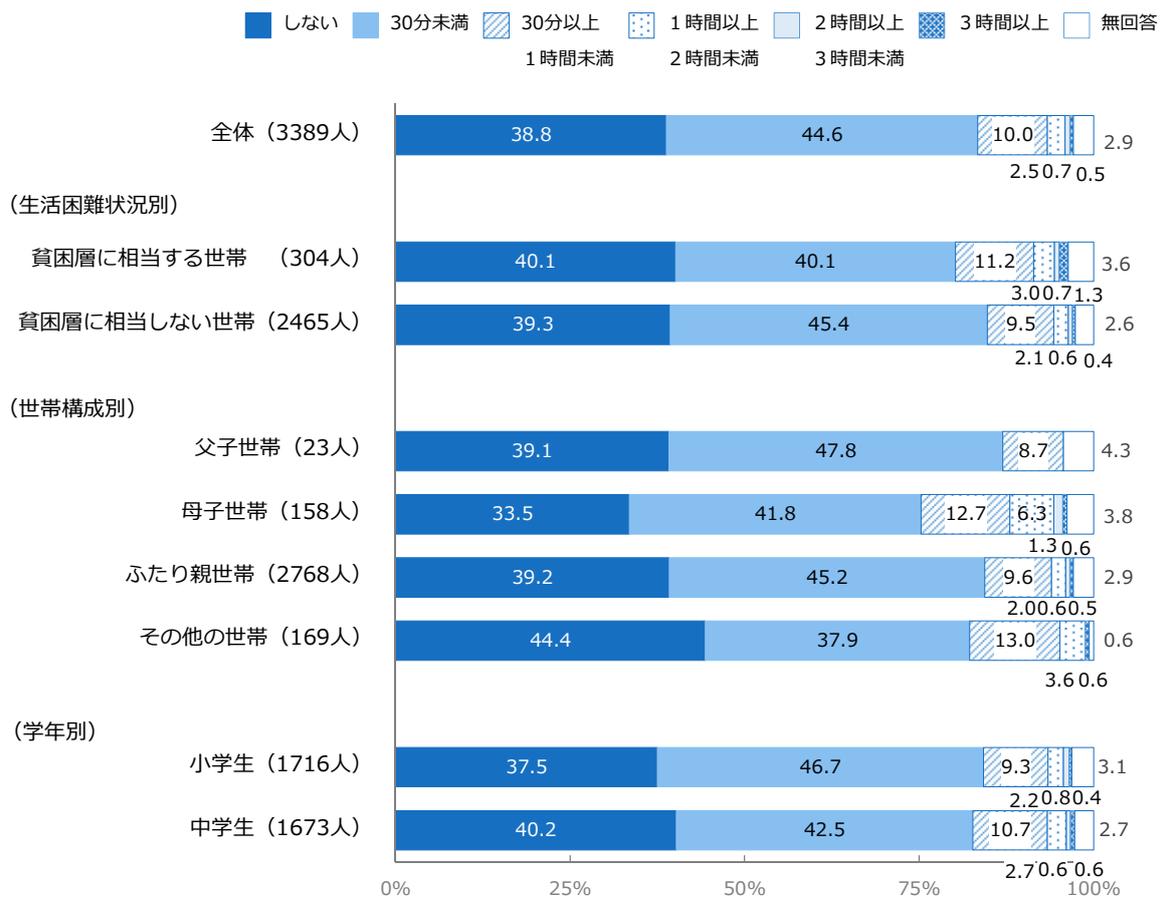
平日の放課後、友達と遊ぶ時間は、「しない」36.5%が最も多く、以下「1時間以上2時間未満」22.8%、「2時間以上3時間未満」14.1%、「30分以上1時間未満」10.4%、「3時間以上」8.2%となっています。学年別でみると、中学生では「しない」51.6%が比較的多くなっています。

### ⑦兄弟姉妹の世話をする



平日の放課後、兄弟姉妹の世話をする時間は、「しない」70.1%が最も多く、以下「30分未満」13.0%、「30分以上1時間未満」6.8%、「3時間以上」2.8%、「1時間以上2時間未満」2.6%となっています。世帯構成別でみると、その他の世帯では「しない」78.7%が比較的多くなっています。学年別でみると、中学生では「しない」75.0%が比較的多くなっています。

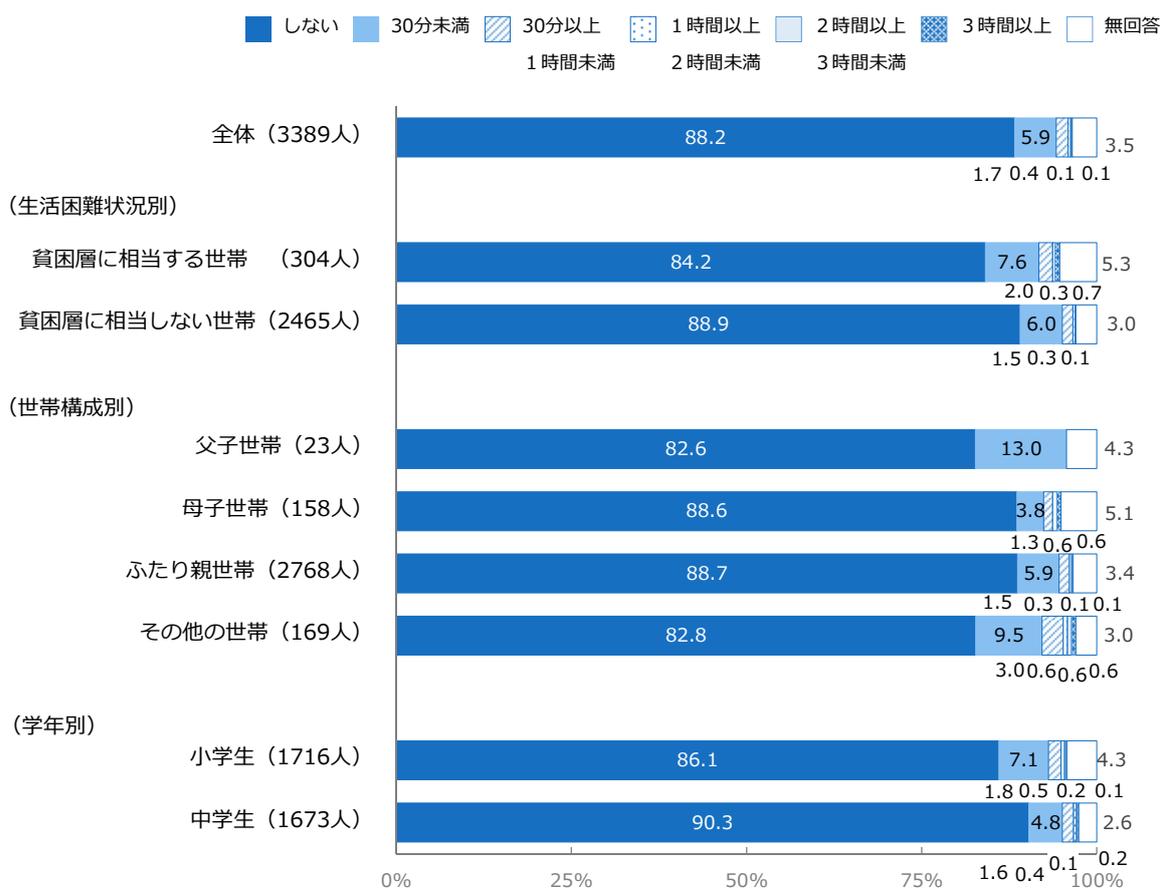
⑧家事（そうじ、洗たく、料理など）を手伝う



平日の放課後、家事（そうじ、洗たく、料理など）を手伝う時間は、「30分未満」44.6%が最も多く、以下「しない」38.8%、「30分以上1時間未満」10.0%、「1時間以上2時間未満」2.5%、「2時間以上3時間未満」0.7%となっています。

生活困難状況別、世帯構成別、学年別による差はあまりみられていません。

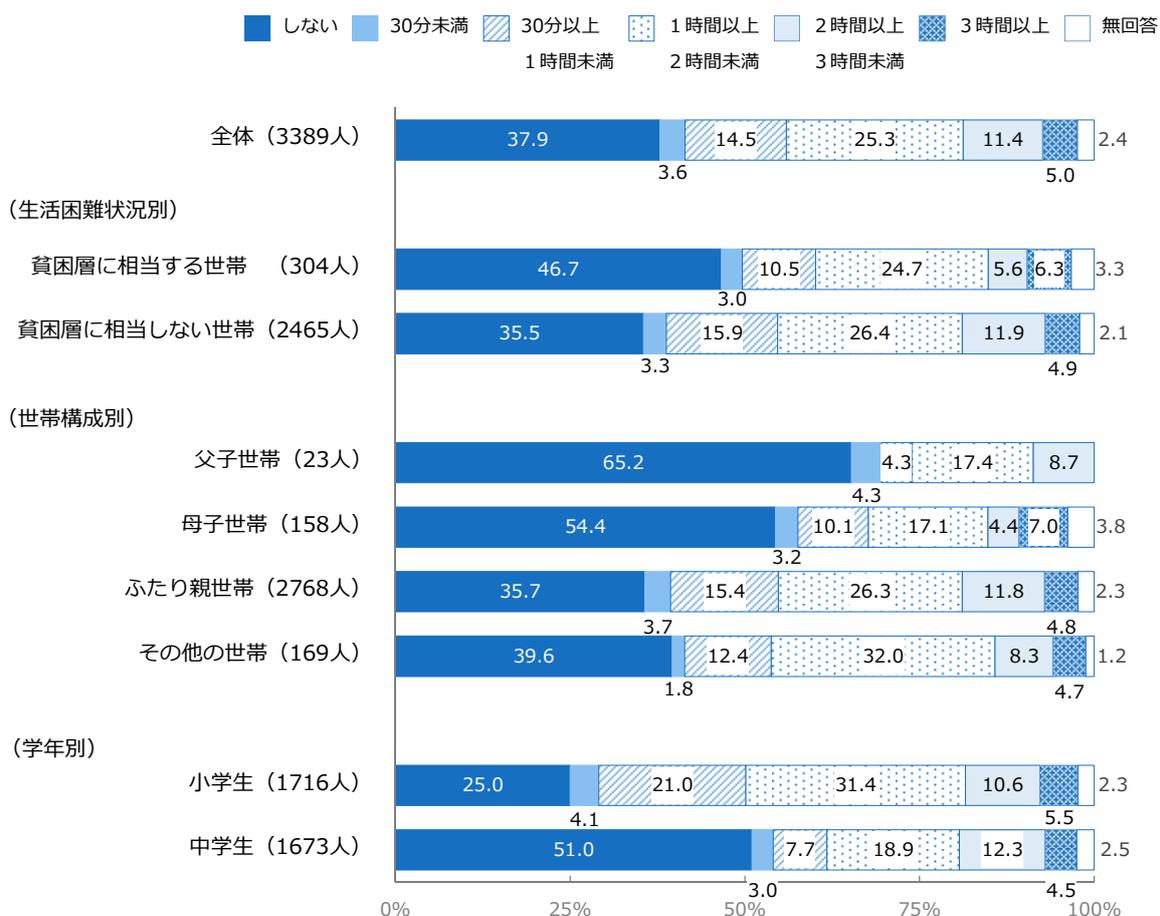
### ⑨家族の介護を手伝う



平日の放課後、家族の介護を手伝う時間は、「しない」88.2%が最も多く、以下「30分未満」5.9%、「30分以上1時間未満」1.7%、「1時間以上2時間未満」0.4%、「2時間以上3時間未満」と「3時間以上」各0.1%となっています。

生活困難状況別、世帯構成別、学年別による差はあまりみられていません。

## ⑩習い事（ピアノ、スポーツクラブなど）をする



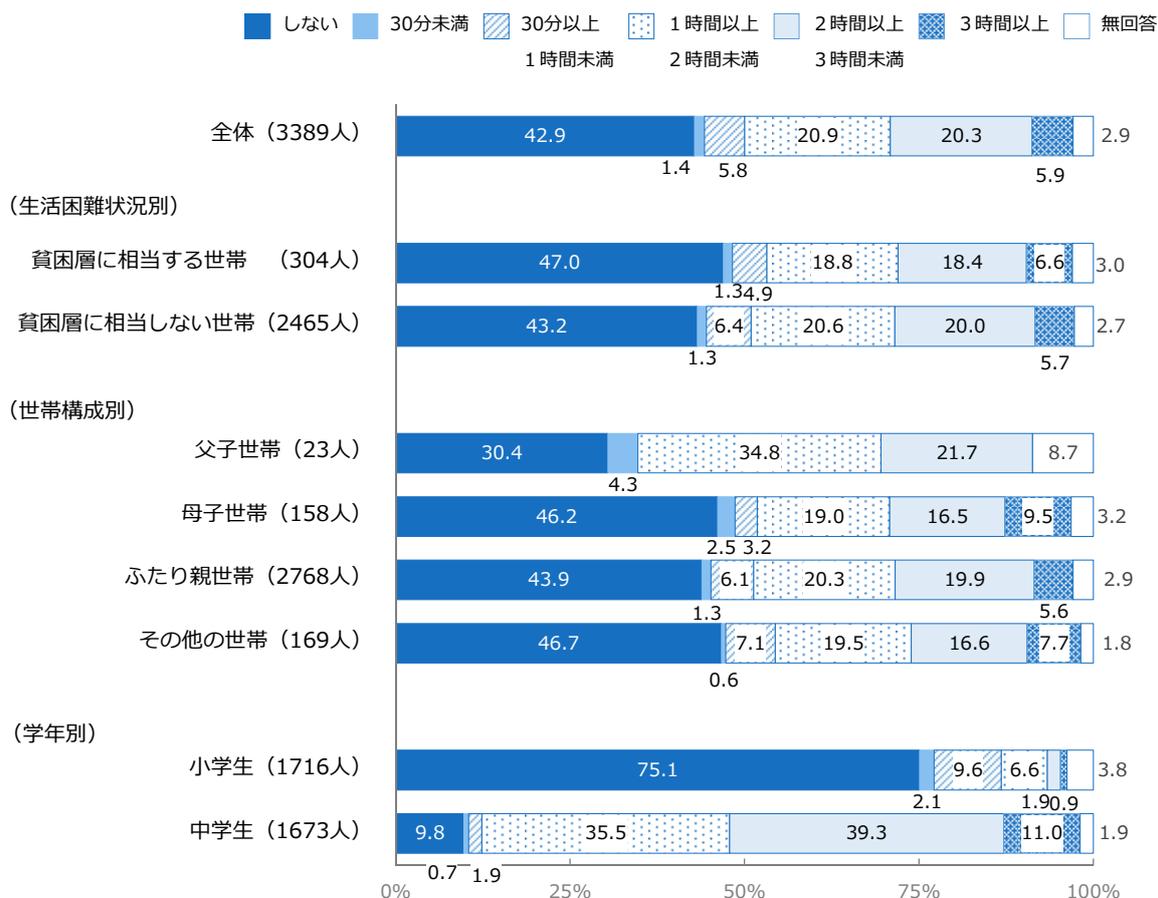
平日の放課後、習い事（ピアノ、スポーツクラブなど）をする時間は、「しない」37.9%が最も多く、以下「1時間以上2時間未満」25.3%、「30分以上1時間未満」14.5%、「2時間以上3時間未満」11.4%、「3時間以上」5.0%となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当する世帯では「しない」46.7%が比較的多くなっています。

世帯構成別で見ると、母子世帯では「しない」54.4%が比較的多くなっています。

学年別で見ると、中学生では「しない」51.0%が比較的多くなっています。

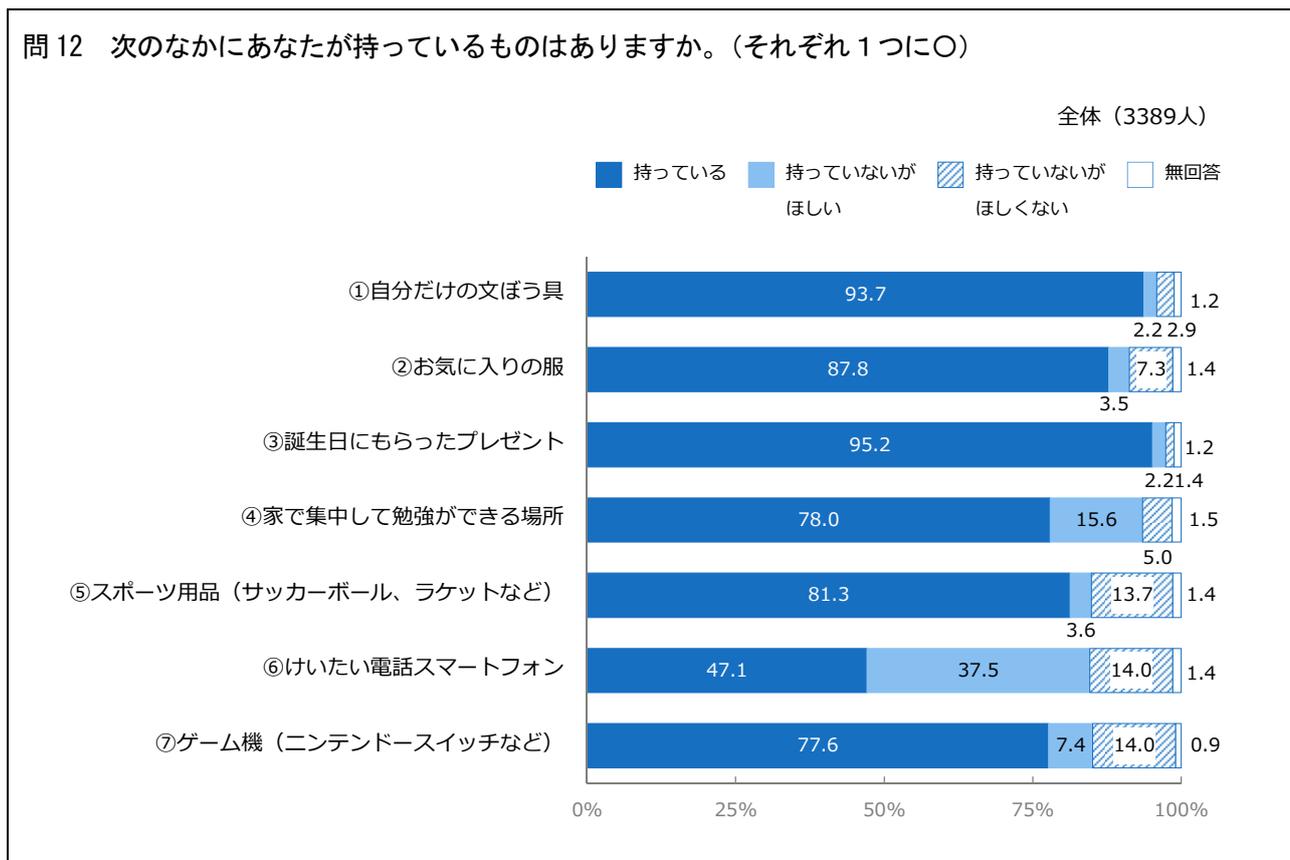
### ⑪部活動などをする



平日の放課後、部活動などをする時間では、「しない」42.9%が最も多く、以下「1時間以上2時間未満」20.9%、「2時間以上3時間未満」20.3%、「3時間以上」5.9%、「30分以上1時間未満」5.8%となっています。

学年別でみると、小学生では「しない」75.1%が4分の3以上を占めています。中学生では「1時間以上2時間未満」35.5%と「2時間以上3時間未満」39.3%が比較的多くなっています。

## (5) 所有物の状況



所有物の状況として、「持っている」との回答は、〔③誕生日にもらったプレゼント〕95.2%で最も多く、以下〔①自分だけの文ぼう具〕93.7%、〔②お気に入りの服〕87.8%、〔⑤スポーツ用品 (サッカーボール、ラケットなど)〕81.3%と続いています。

一方、「持っていないがほしい」との回答は、〔⑥けいたい電話スマートフォン〕37.5%で最も多く、以下〔④家で集中して勉強ができる場所〕15.6%、〔⑦ゲーム機 (ニンテンドースイッチなど)〕7.4%と続いています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 「所有あり」と「所有希望あり」)

	全体 (3389人)	生活困難状況別		世帯構成別				学年別		
		貧困層に 相当する 世帯 (304人)	貧困層に 相当しない 世帯 (2465人)	父子世帯 (23人)	母子世帯 (158人)	ふたり親 世帯 (2768人)	その他の 世帯 (169人)	小学生 (1716人)	中学生 (1673人)	
所有あり	①自分だけの文房用具	93.7	92.4	93.9	87.0	94.9	93.9	92.3	92.5	94.9
	②お気に入りの服	87.8	88.2	88.0	73.9	86.7	88.0	88.2	90.4	85.0
	③誕生日にもらったプレゼント	95.2	96.1	95.3	87.0	94.9	95.2	95.3	96.5	93.9
	④家で集中して勉強ができる場所	78.0	<b>67.4</b>	79.8	69.6	<b>65.8</b>	79.7	<b>69.8</b>	75.9	80.0
	⑤スポーツ用品 (サッカーボール、ラケットなど)	81.3	<b>74.3</b>	82.2	69.6	<b>71.5</b>	82.3	77.5	78.7	84.0
	⑥けいたい電話スマートフォン	47.1	51.0	45.8	56.5	<b>62.0</b>	45.3	48.5	<b>32.2</b>	<b>62.5</b>
	⑦ゲーム機 (ニンテンドースイッチなど)	77.6	70.7	78.7	78.3	<b>62.7</b>	78.4	81.1	78.4	76.8
所有希望あり	①自分だけの文房用具	2.2	1.3	2.4	-	0.6	2.2	3.6	3.0	1.4
	②お気に入りの服	3.5	3.0	3.2	-	4.4	3.4	4.7	2.6	4.5
	③誕生日にもらったプレゼント	2.2	2.0	2.2	8.7	1.9	2.2	3.0	1.7	2.7
	④家で集中して勉強ができる場所	15.6	<b>24.3</b>	14.3	17.4	<b>30.4</b>	14.0	<b>24.3</b>	17.7	13.4
	⑤スポーツ用品 (サッカーボール、ラケットなど)	3.6	4.9	3.4	-	6.3	3.5	5.3	5.0	2.2
	⑥けいたい電話スマートフォン	37.5	35.5	38.2	26.1	<b>30.4</b>	38.4	39.1	<b>47.0</b>	<b>27.8</b>
	⑦ゲーム機 (ニンテンドースイッチなど)	7.4	11.8	6.9	13.0	<b>16.5</b>	6.9	7.7	9.2	5.6

 全体よりも5ポイント以上多い  全体よりも5ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において「所有あり」が多ければ「所有希望あり」が少なくなり、「所有あり」が少なければ「所有希望あり」が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

\* 所有あり (「持っている」)

世帯構成別でみると、母子世帯では〔⑥けいたい電話スマートフォン〕62.0%で比較的多くなっています。学年別にみると、中学生では〔⑥けいたい電話スマートフォン〕62.5%で比較的多くなっています。

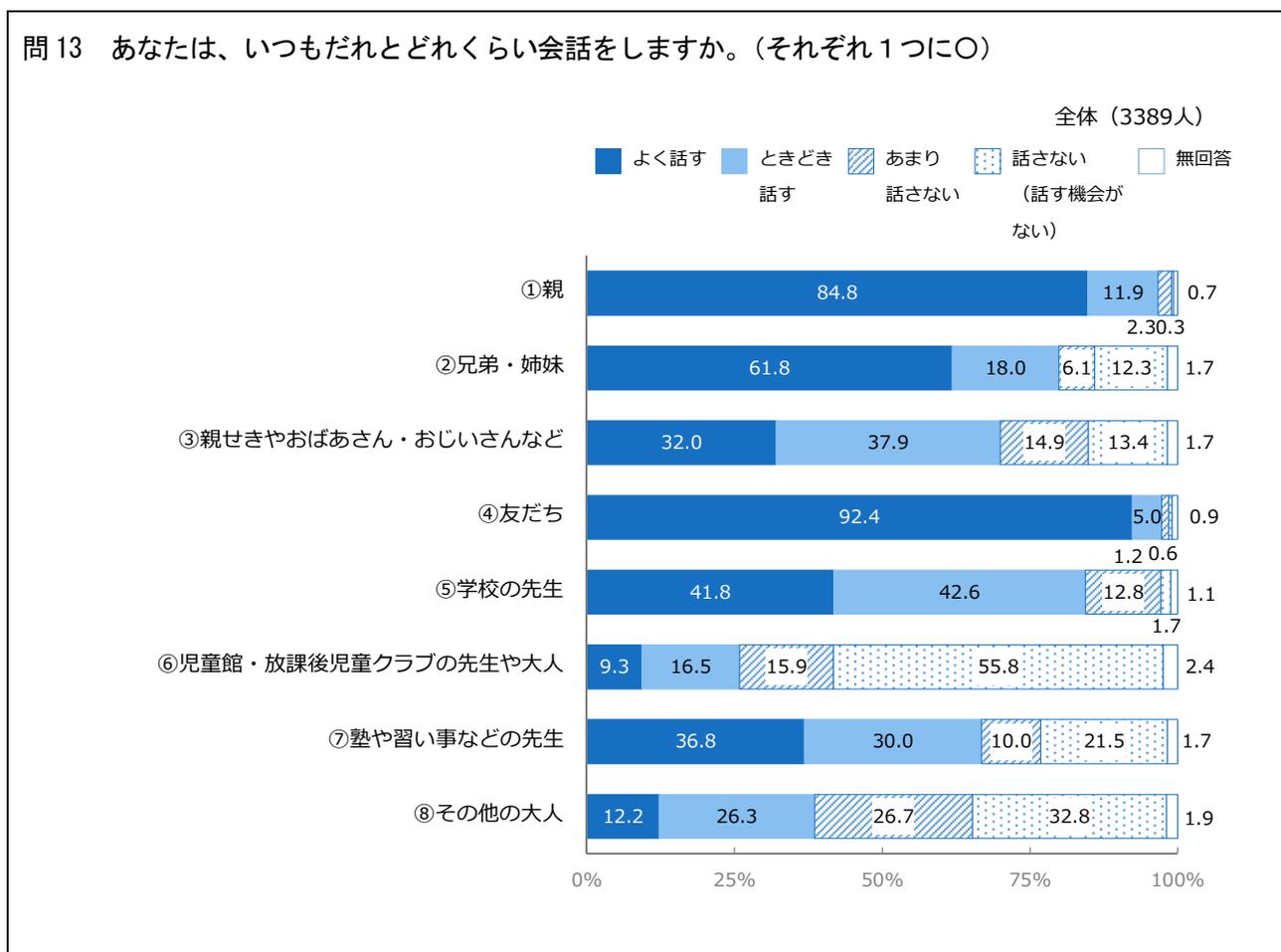
\* 所有希望あり (「持っていないがほしい」)

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔④家で集中して勉強ができる場所〕24.3%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔④家で集中して勉強ができる場所〕30.4%、〔⑦ゲーム機 (ニンテンドースイッチなど)〕16.5%で、その他の世帯では〔④家で集中して勉強ができる場所〕24.3%で比較的多くなっています。

学年別でみると、小学生では〔⑥けいたい電話スマートフォン〕47.0%で比較的多くなっています。

## (6) 身の周りの人との会話の状況



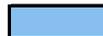
身の周りの人との会話の状況は、「よく話す」との回答は、〔④友だち〕92.4%で最も多く9割以上を占め、続く〔①親〕84.8%も8割以上を占めています。以下、〔②兄弟・姉妹〕61.8%、〔⑤学校の先生〕41.8%、〔⑦塾や習い事などの先生〕36.8%、〔③親せきやおばあさん・おじいさんなど〕32.0%と続いています。

一方、「あまり話さない」との回答は、〔⑧その他の大人〕で26.7%と最も多く、以下〔⑥児童館・放課後児童クラブの先生や大人〕15.9%、〔③親せきやおばあさん・おじいさんなど〕14.9%、〔⑤学校の先生〕12.8%と続いています。

また、「話さない (話す機会がない)」との回答は、〔⑥児童館・放課後児童クラブの先生や大人〕55.8%で最も多く、以下〔⑧その他の大人〕32.8%、〔⑦塾や習い事などの先生〕21.5%、〔③親せきやおばあさん・おじいさんなど〕13.4%、〔②兄弟・姉妹〕12.3%と続いています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 『話す』と『話さない』)

		生活困難状況別		世帯構成別				学年別		
		全体 (3389人)	貧困層に 相当する 世帯 (304人)	貧困層に 相当しない 世帯 (2465人)	父子世帯 (23人)	母子世帯 (158人)	ふたり親 世帯 (2768人)	その他の 世帯 (169人)	小学生 (1716人)	中学生 (1673人)
『 話 す 』	①親	96.6	96.4	97.1	95.7	97.5	97.2	91.7	97.9	95.3
	②兄弟・姉妹	79.8	76.3	80.1	65.2	<b>74.1</b>	81.5	<b>61.5</b>	82.3	77.3
	③親せきやおばあさん・ おじいさんなど	69.9	72.4	70.6	60.9	67.1	70.1	<b>76.9</b>	<b>75.1</b>	<b>64.6</b>
	④友だち	97.3	96.4	97.6	95.7	96.8	97.7	95.9	98.0	96.7
	⑤学校の先生	84.4	80.6	84.8	73.9	82.9	85.0	82.2	85.8	83.0
	⑥児童館・放課後児童クラブの 先生や大人	25.8	26.3	25.9	21.7	24.1	25.8	29.6	<b>32.2</b>	<b>19.3</b>
	⑦塾や習い事などの先生	66.8	<b>56.6</b>	68.8	47.8	<b>55.1</b>	68.0	66.3	70.5	63.1
	⑧その他の大人	38.6	40.8	37.9	21.7	41.1	38.3	42.0	42.1	35.0
『 話 さ な い 』	①親	2.7	2.6	2.3	4.3	1.9	2.2	<b>7.7</b>	1.5	3.8
	②兄弟・姉妹	18.4	21.4	18.3	34.8	<b>23.4</b>	17.2	<b>32.5</b>	15.9	21.0
	③親せきやおばあさん・ おじいさんなど	28.4	26.0	27.9	34.8	31.6	28.4	<b>20.7</b>	<b>23.1</b>	<b>33.7</b>
	④友だち	1.8	2.3	1.8	4.3	2.5	1.6	3.0	1.3	2.3
	⑤学校の先生	14.5	17.8	14.2	26.1	15.8	14.0	16.6	13.2	15.9
	⑥児童館・放課後児童クラブの 先生や大人	71.7	70.7	71.8	78.3	72.8	71.8	67.5	<b>65.2</b>	<b>78.4</b>
	⑦塾や習い事などの先生	31.5	<b>41.1</b>	29.9	52.2	<b>43.0</b>	30.6	31.4	28.0	35.1
	⑧その他の大人	59.5	57.6	60.3	78.3	57.6	59.9	56.2	56.1	63.1

 全体よりも5ポイント以上多い  全体よりも5ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において『話す』が多ければ『話さない』が少なくなり、『話す』が少なければ『話さない』が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみに記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

\* 『話す』(「よく話す」+「ときどき話す」)

世帯構成別でみると、その他の世帯では〔③親せきやおばあさん・おじいさんなど〕76.9%で比較的多くなっています。

学年別でみると、小学生では〔③親せきやおばあさん・おじいさんなど〕75.1%、〔⑥児童館・放課後児童クラブの先生や大人〕32.2%で比較的多くなっています。

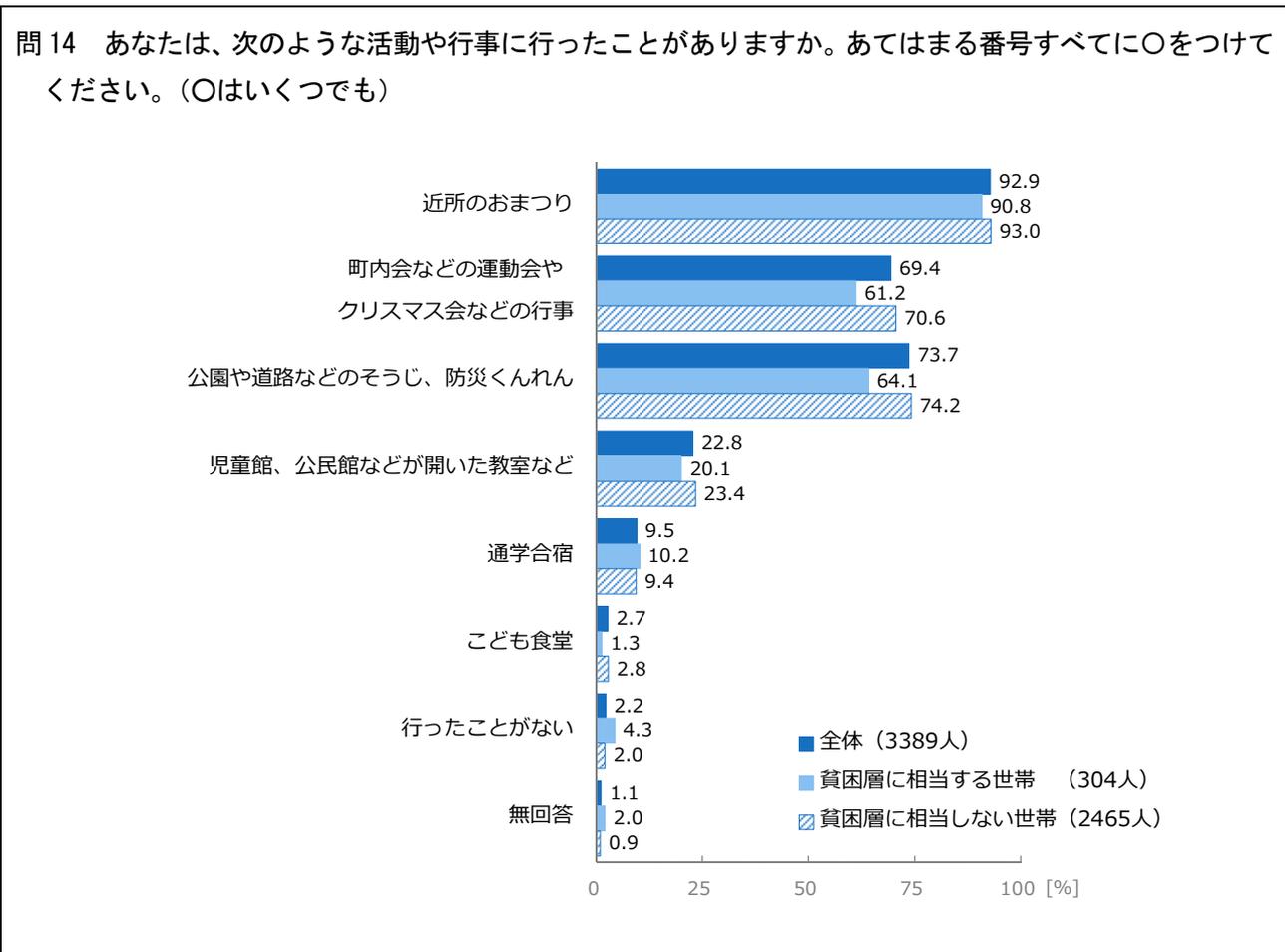
\* 『話さない』(「あまり話さない」+「話さない(話す機会がない)」)

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔⑦塾や習い事などの先生〕41.1%で比較的多くなっています。

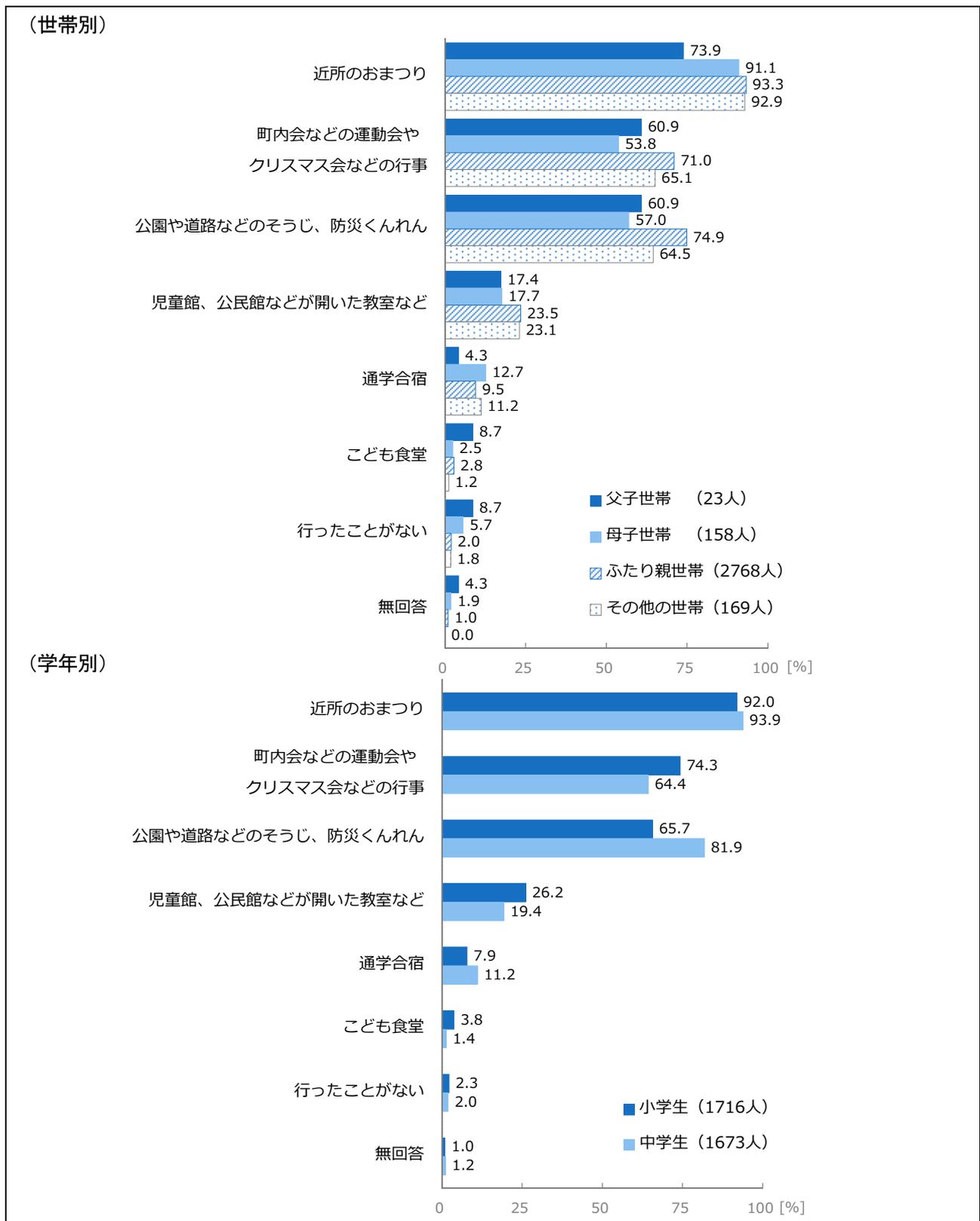
世帯構成別でみると、母子世帯では〔②兄弟・姉妹〕23.4%、〔⑦塾や習い事などの先生〕43.0%で、その他の世帯では〔①親〕7.7%、〔②兄弟・姉妹〕32.5%で比較的多くなっています。

学年別でみると、中学生では〔③親せきやおばあさん・おじいさんなど〕33.7%、〔⑦塾や習い事などの先生〕78.4%で比較的多くなっています。

## (7) 地域の活動や行事への参加状況



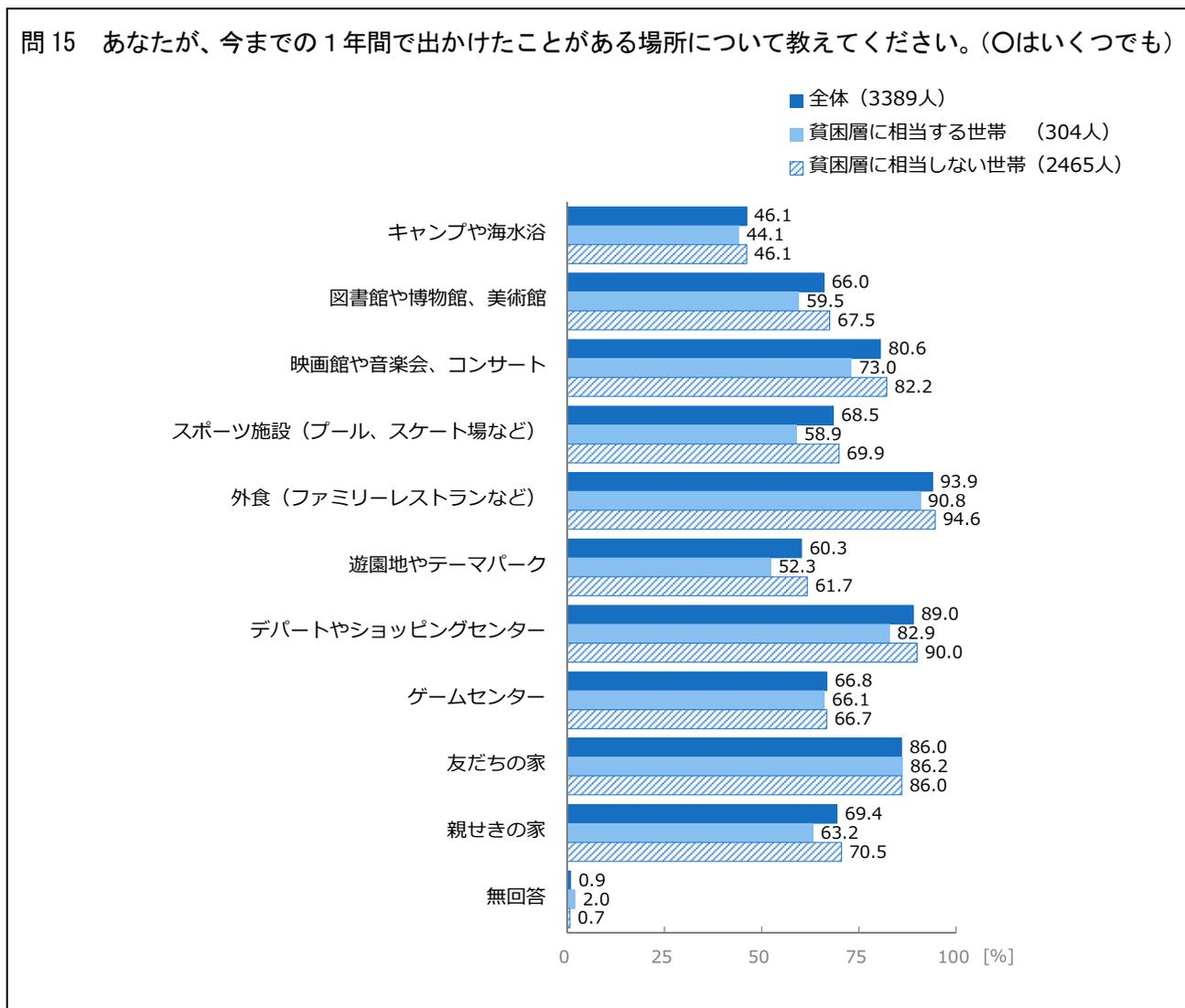
地域の活動や行事への参加状況は、「近所のおまつり」92.9%が最も多く、以下「公園や道路などのそうじ、防災くんれん」73.7%、「町内会などの運動会やクリスマス会などの行事」69.4%、「児童館、公民館などが開いた教室など」22.8%となっています。



世帯構成別でみると、母子世帯では「町内会などの運動会やクリスマス会などの行事」と「公園や道路などのそうじ、防災くんれん」が比較的少なくなっています（町内会などの運動会やクリスマス会などの行事：53.8%、公園や道路などのそうじ、防災くんれん：57.0%）。また、その他の世帯でも「公園や道路などのそうじ、防災くんれん」64.5%が比較的少なくなっています。

学年別でみると、小学生では「町内会などの運動会やクリスマス会などの行事」74.3%が、中学生では「公園や道路などのそうじ、防災くんれん」81.9%が比較的多くなっています。

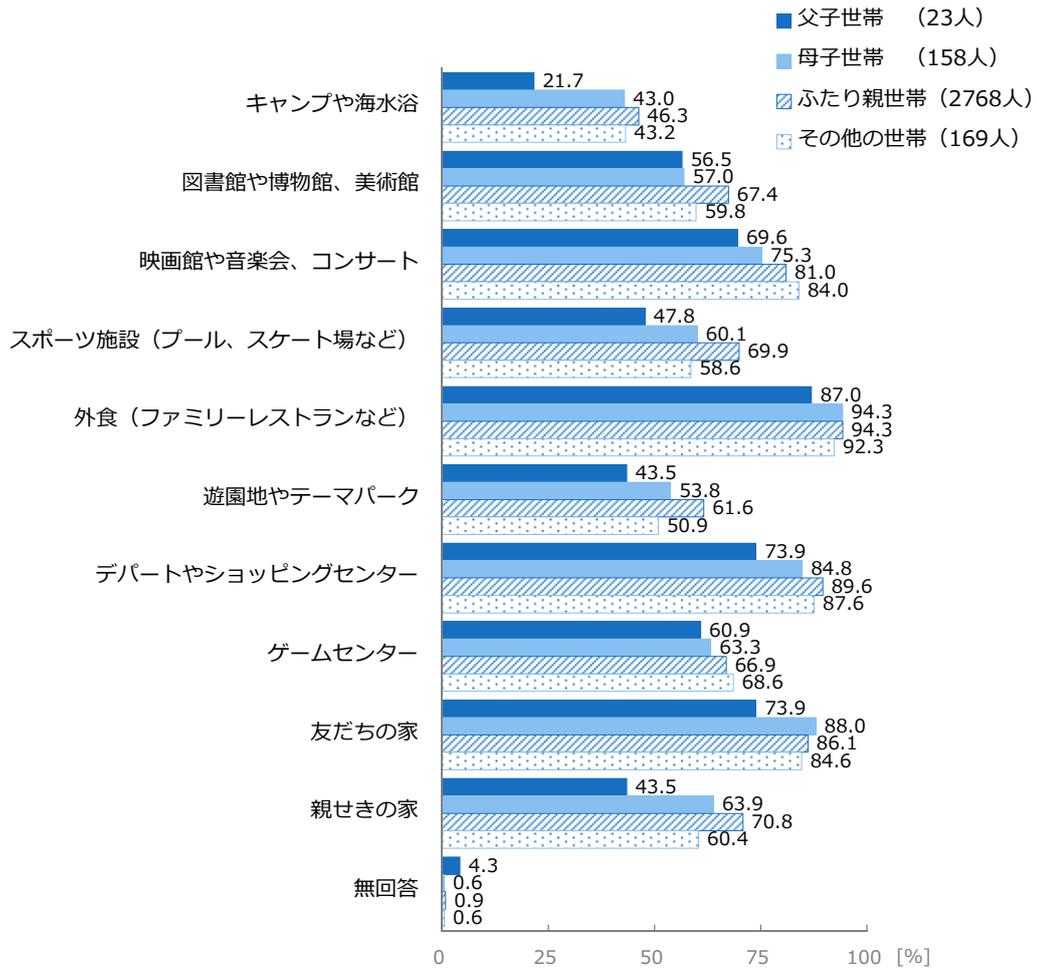
## (8) この1年間で出かけたことがある場所



この1年間で出かけたことがある場所は、「外食 (ファミリーレストランなど)」93.9%が最も多く、以下「デパートやショッピングセンター」89.0%、「友だちの家」86.0%、「映画館や音楽会、コンサート」80.6%となっています。

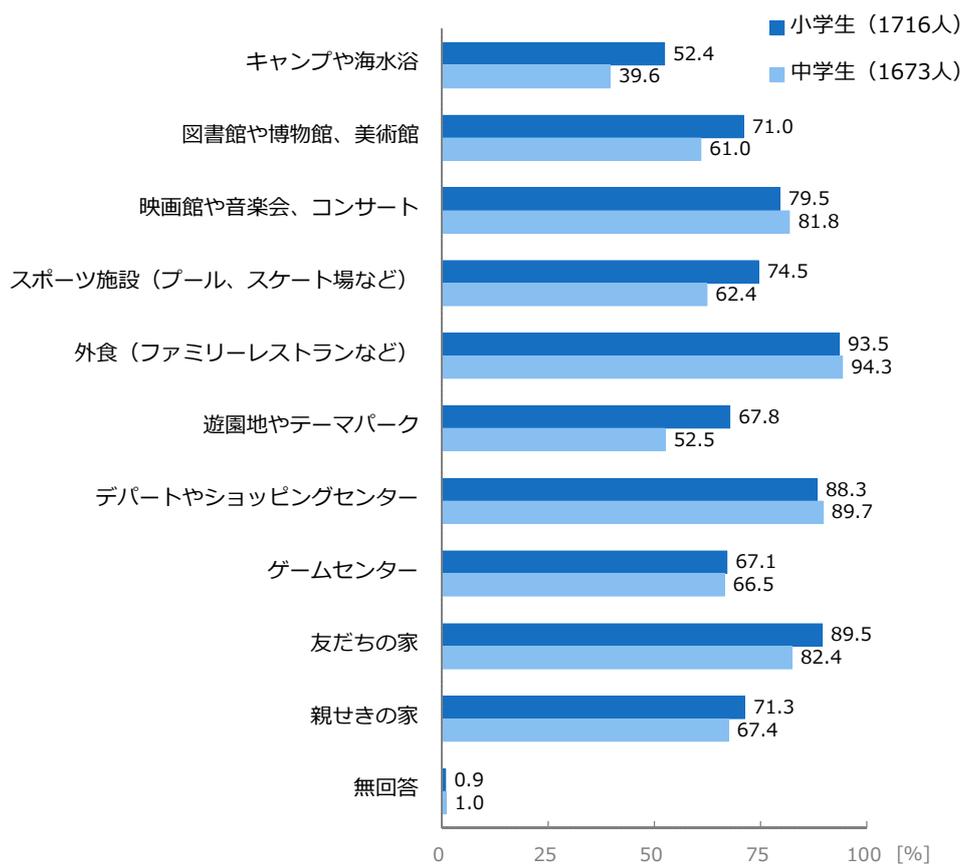
生活状況困難別でみると、貧困層に相当しない世帯では「スポーツ施設 (プール、スケート場など)」と「遊園地やテーマパーク」が比較的多くなっています。(スポーツ施設 (プール、スケート場など) : 69.9%、遊園地やテーマパーク : 61.7%)。

(世帯別)



世帯構成別でみると、ふたり親世帯では「図書館や博物館、美術館」「スポーツ施設 (プール、スケート場など)」「遊園地やテーマパーク」が比較的多くなっています。(図書館や博物館、美術館：67.4%、スポーツ施設 (プール、スケート場など)：69.9%、遊園地やテーマパーク：61.6%)。

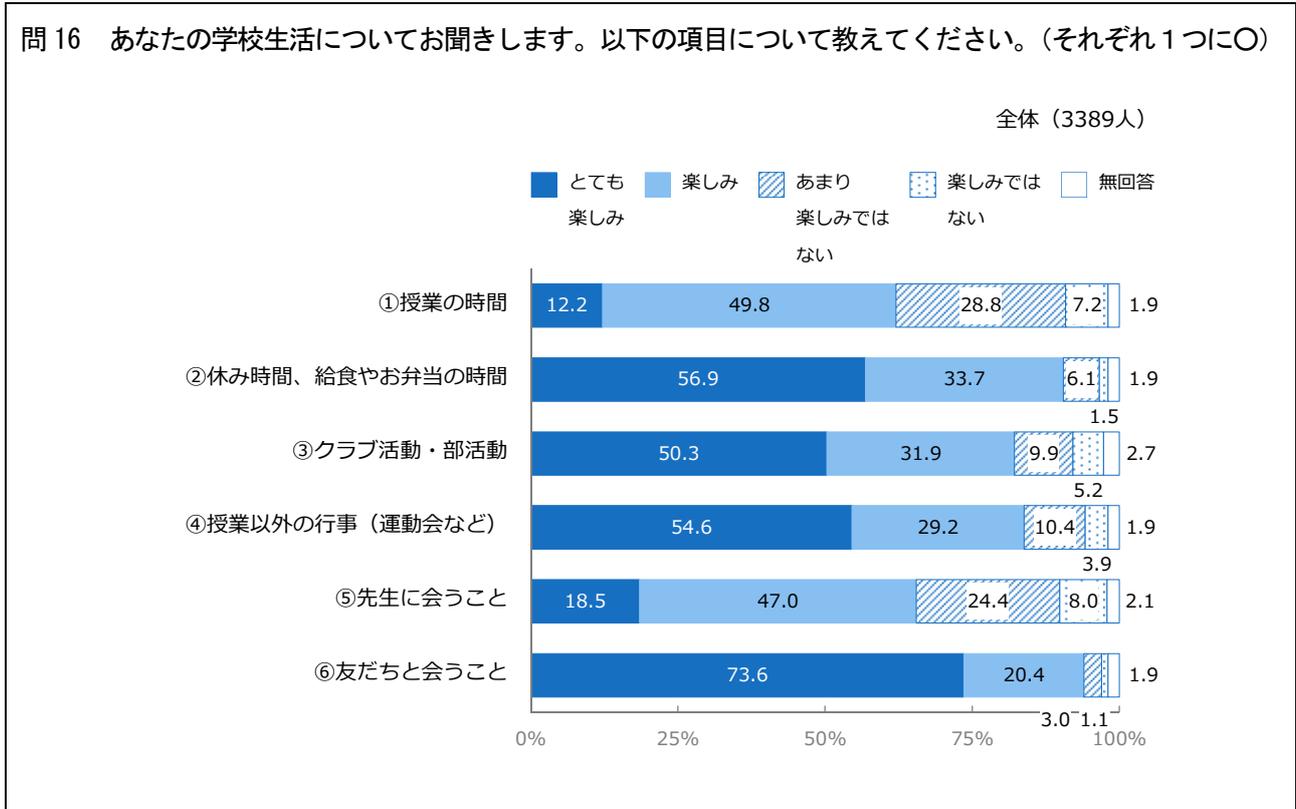
(学年別)



学年別でみると、小学生では「キャンプや海水浴」「図書館や博物館、美術館」「スポーツ施設 (プール、スケート場など)」「遊園地やテーマパーク」「友だちの家」が比較的多くなっています (キャンプや海水浴: 52.4%、図書館や博物館、美術館: 71.0%、スポーツ施設 (プール、スケート場など): 74.5%、遊園地やテーマパーク: 67.8%)。

### 3 学校や勉強のことについて

#### (1) 学校生活での楽しみ



学校生活での楽しみについては、「とても楽しみ」との回答は、〔⑥友だちと会うこと〕73.6%で最も多く、以下〔②休み時間、給食やお弁当の時間〕56.9%、〔④授業以外の行事(運動会など)〕54.6%、〔③クラブ活動・部活動〕50.3%と続き、この4つの項目では「とても楽しみ」と「楽しみ」との回答を合わせた『楽しみ』が8割以上を占めています。

一方、「あまり楽しみではない」との回答は、〔①授業の時間〕28.8%で最も多く、〔⑤先生に会うこと〕24.4%が続き、この2つの項目では「あまり楽しみではない」と「楽しみではない」との回答を合わせた『楽しみではない』が3割以上を占めています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 『楽しみ』『楽しみではない』)

		全体 (3389人)	生活困難状況別		世帯構成別				学年別	
			貧困層に 相当する 世帯 (304人)	貧困層に 相当しない 世帯 (2465人)	父子世帯 (23人)	母子世帯 (158人)	ふたり親 世帯 (2768人)	その他の 世帯 (169人)	小学生 (1716人)	中学生 (1673人)
『 楽 し み 』	①授業の時間	62.1	57.2	62.5	56.5	<b>53.8</b>	63.3	58.0	66.5	57.5
	②休み時間、給食やお弁当の時間	90.5	88.5	91.0	87.0	<b>85.4</b>	91.3	88.2	91.8	89.2
	③クラブ活動・部活動	82.2	79.9	82.4	87.0	<b>77.2</b>	82.9	<b>74.0</b>	<b>87.6</b>	<b>76.6</b>
	④授業以外の行事（運動会など）	83.8	<b>76.6</b>	84.3	82.6	79.1	84.8	<b>75.7</b>	86.2	81.4
	⑤先生に会うこと	65.5	61.5	66.2	52.2	<b>60.1</b>	66.6	63.9	<b>72.4</b>	<b>58.4</b>
	⑥友だちと会うこと	94.0	91.8	94.4	91.3	89.9	94.6	90.5	94.3	93.7
『 楽 し み で は な い 』	①授業の時間	36.0	39.1	35.7	39.1	<b>42.4</b>	34.9	37.9	31.2	<b>41.0</b>
	②休み時間、給食やお弁当の時間	7.6	7.9	7.1	8.7	10.8	7.0	8.3	5.9	9.4
	③クラブ活動・部活動	15.1	15.1	15.1	8.7	15.8	14.6	<b>20.1</b>	<b>9.2</b>	<b>21.2</b>
	④授業以外の行事（運動会など）	14.3	<b>19.4</b>	13.9	13.0	17.1	13.5	<b>20.1</b>	11.5	17.2
	⑤先生に会うこと	32.4	34.5	31.7	43.5	36.1	31.4	31.4	<b>25.0</b>	<b>40.0</b>
	⑥友だちと会うこと	4.1	4.6	3.8	4.3	7.0	3.6	5.3	3.5	4.7

全体よりも5ポイント以上多い
  全体よりも5ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において『楽しみ』が多ければ『楽しみではない』が少なくなり、『楽しみ』が少なれば『楽しみではない』が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

\* 『楽しみ』（「とても楽しみ」＋「楽しみ」）

学年別にみると、小学生では〔⑤先生に会うこと〕72.4%で比較的多くなっています。

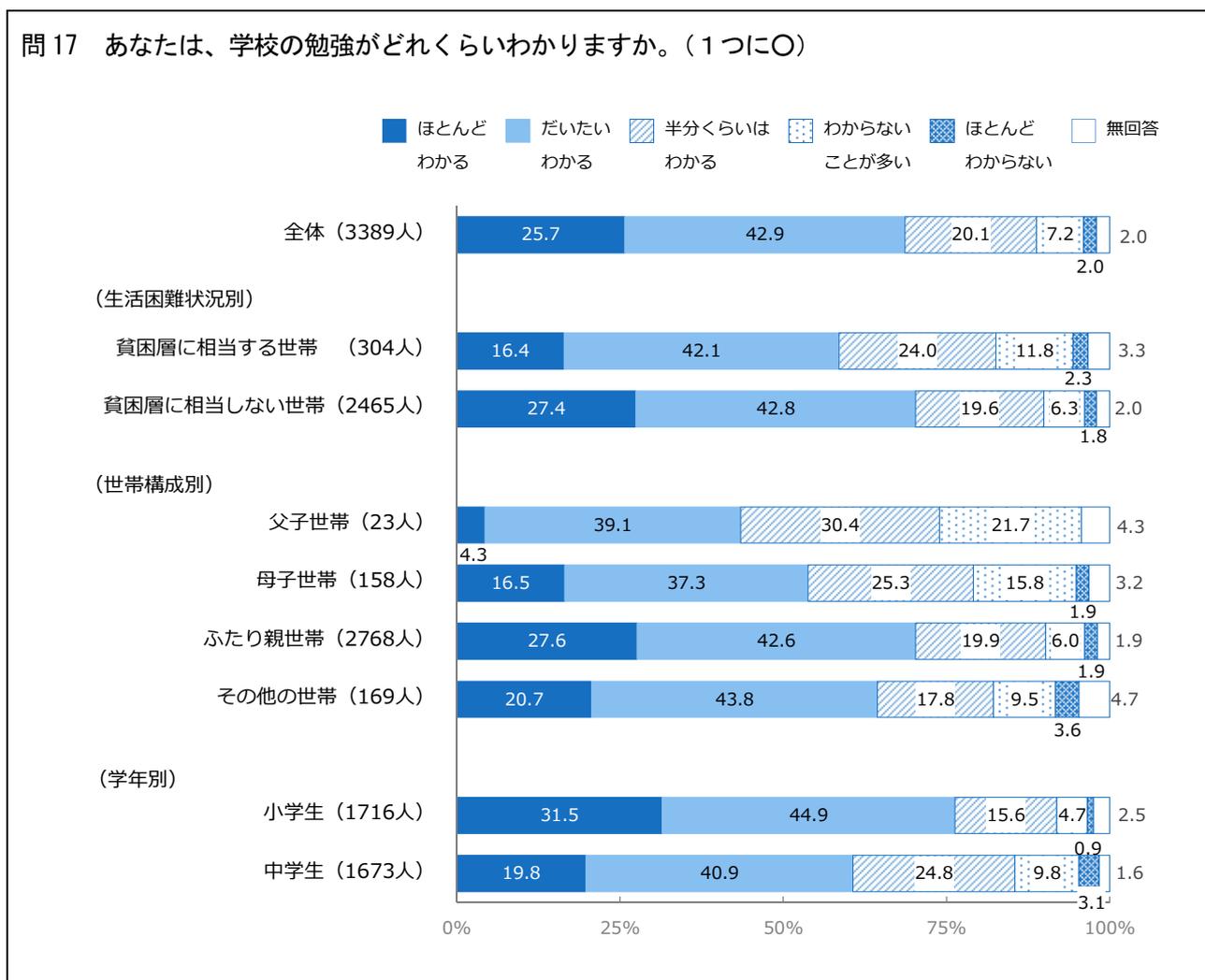
\* 『楽しみではない』（「あまり楽しみではない」＋「楽しみではない」）

生活困難状況別でみると、貧困層に相当しない世帯では〔④授業以外の行事（運動会など）〕19.4%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔①授業の時間〕42.4%で、その他の世帯では〔③クラブ活動・部活動〕20.1%と〔④授業以外の行事（運動会など）〕各20.1%で比較的多くなっています。

学年別にみると、中学生では〔①授業の時間〕41.0%、〔③クラブ活動・部活動〕21.2%、〔⑤先生に会うこと〕40.0%で比較的多くなっています。

## (2) 学校の勉強の理解度



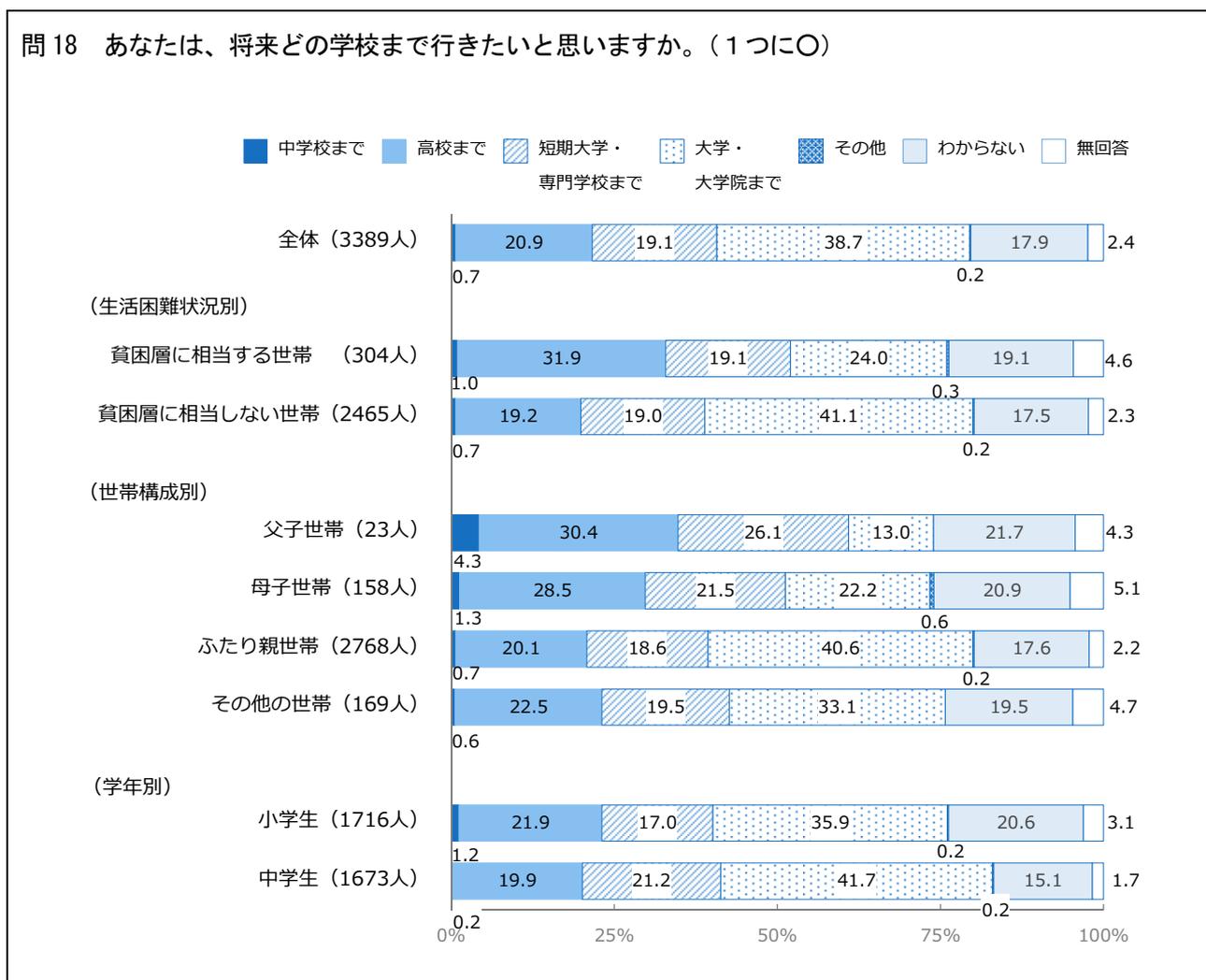
学校の勉強の理解度は、「だいたいわかる」42.9%が最も多く、以下「ほとんどわかる」25.7%、「半分くらいはわかる」20.1%、「わからないことが多い」7.2%となっています。「ほとんどわかる」と「だいたいわかる」を合わせた『わかる』は68.6%、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた『わからない』は9.2%となっています。

生活困難状況別でみると、貧困層に相当しない世帯では「ほとんどわかる」27.4%が比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、ふたり親世帯では「ほとんどわかる」27.6%が比較的多くなっています。

学年別でみると、小学生では「ほとんどわかる」31.5%が、中学生では「半分くらいはわかる」24.8%が比較的多くなっています。

### (3) 将来の進学希望



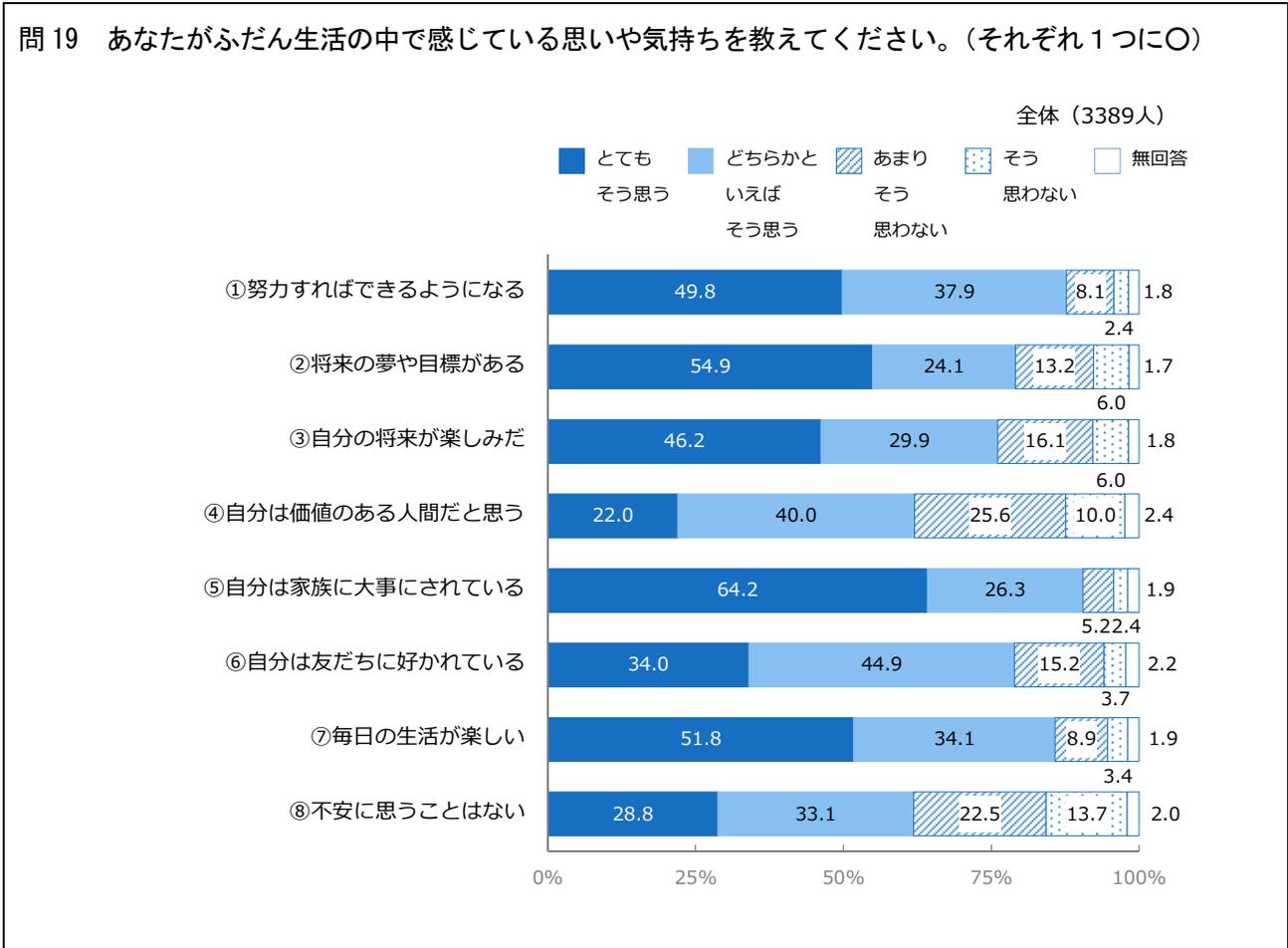
将来の進学希望は、「大学・大学院まで」38.7%が最も多く、以下「高校まで」20.9%、「短期大学・専門学校まで」19.1%、「わからない」17.9%となっています。

生活困難状況別で見ると、貧困層に相当する世帯では「高校まで」31.9%が比較的多くなっています。

世帯構成別で見ると、ふたり親世帯では「大学・大学院まで」40.6%が比較的多くなっています。

## 4 ふだん感じていること

### (1) 自己肯定感



自己肯定感については、「とてもそう思う」との回答は、〔⑤自分は家族に大切にされている〕64.2%で最も多く、以下〔②将来の夢や目標がある〕54.9%、〔⑦毎日の生活が楽しい〕51.8%、〔①努力すればできるようになる〕49.8%と続き、この4つの項目では「とてもそう思う」と「どちらかといえばそう思う」との回答を合わせた『そう思う』(⇒「自己肯定感 高」)が8割～9割を占めています。

一方、「あまりそう思わない」との回答は、〔④自分は価値のある人間だと思う〕25.6%、〔⑧不安に思うことはない〕22.5%で多く、この2つの項目では「あまりそう思わない」と「そう思わない」との回答を合わせた『そう思わない』(⇒「自己肯定感 低」)が3分の1以上を占めています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 「自己肯定感 高」と「自己肯定感 低」)

	全体 (3389人)	生活困難状況別		世帯構成別				学年別		
		貧困層に 相当する 世帯 (304人)	貧困層に 相当しない 世帯 (2465人)	父子世帯 (23人)	母子世帯 (158人)	ふたり親 世帯 (2768人)	その他の 世帯 (169人)	小学生 (1716人)	中学生 (1673人)	
自己 肯定感 高	①努力すればできるようになる	87.7	<b>82.6</b>	88.4	78.3	<b>79.7</b>	88.6	<b>81.1</b>	88.6	86.7
	②将来の夢や目標がある	79.0	77.0	79.6	60.9	<b>73.4</b>	80.1	75.7	<b>85.7</b>	<b>72.1</b>
	③自分の将来が楽しみだ	76.1	71.4	77.0	65.2	<b>65.8</b>	77.7	<b>69.2</b>	<b>83.3</b>	<b>68.7</b>
	④自分は価値のある人間だと思う	62.1	<b>52.6</b>	63.7	39.1	<b>49.4</b>	64.2	<b>53.8</b>	65.5	58.5
	⑤自分は家族に大事にされている	90.5	86.5	91.2	78.3	<b>85.4</b>	91.4	87.0	91.8	89.2
	⑥自分は友だちに好かれている	78.9	<b>71.1</b>	80.1	56.5	<b>67.7</b>	80.5	<b>70.4</b>	78.4	79.5
	⑦毎日の生活が楽しい	85.9	<b>80.3</b>	86.7	82.6	<b>76.6</b>	87.1	<b>78.7</b>	87.5	84.2
	⑧不安に思うことはない	61.9	59.9	62.9	52.2	<b>55.7</b>	63.3	<b>56.8</b>	<b>67.3</b>	<b>56.3</b>
自己 肯定感 低	①努力すればできるようになる	10.5	13.5	9.9	17.4	<b>15.8</b>	9.8	15.4	9.1	12.0
	②将来の夢や目標がある	19.2	19.1	18.7	30.4	22.8	18.4	20.7	<b>12.1</b>	<b>26.5</b>
	③自分の将来が楽しみだ	22.1	24.7	21.3	30.4	<b>29.7</b>	20.7	<b>27.2</b>	<b>14.6</b>	<b>29.8</b>
	④自分は価値のある人間だと思う	35.6	<b>42.4</b>	34.0	52.2	<b>44.3</b>	33.6	<b>42.0</b>	31.6	39.6
	⑤自分は家族に大事にされている	7.6	9.5	7.0	13.0	10.8	6.9	8.9	6.0	9.1
	⑥自分は友だちに好かれている	18.9	<b>24.3</b>	17.9	34.8	<b>27.8</b>	17.5	<b>24.9</b>	19.0	18.8
	⑦毎日の生活が楽しい	12.2	16.1	11.6	13.0	<b>19.6</b>	11.2	<b>17.8</b>	10.2	14.3
	⑧不安に思うことはない	36.1	36.2	35.3	43.5	39.9	34.9	39.1	<b>30.3</b>	<b>42.1</b>

 全体よりも5ポイント以上多い  全体よりも5ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において「自己肯定感 高」が多ければ「自己肯定感 低」が少なくなり、「自己肯定感 高」が少なければ「自己肯定感 低」が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

\* 「自己肯定感 高」(「とてもそう思う」+「どちらかといえばそう思う」)

学年別にみると、小学生では〔②将来の夢や目標がある〕85.7%、〔③自分の将来が楽しみだ〕83.3%、〔⑧不安に思うことはない〕67.3%で比較的多くなっています。

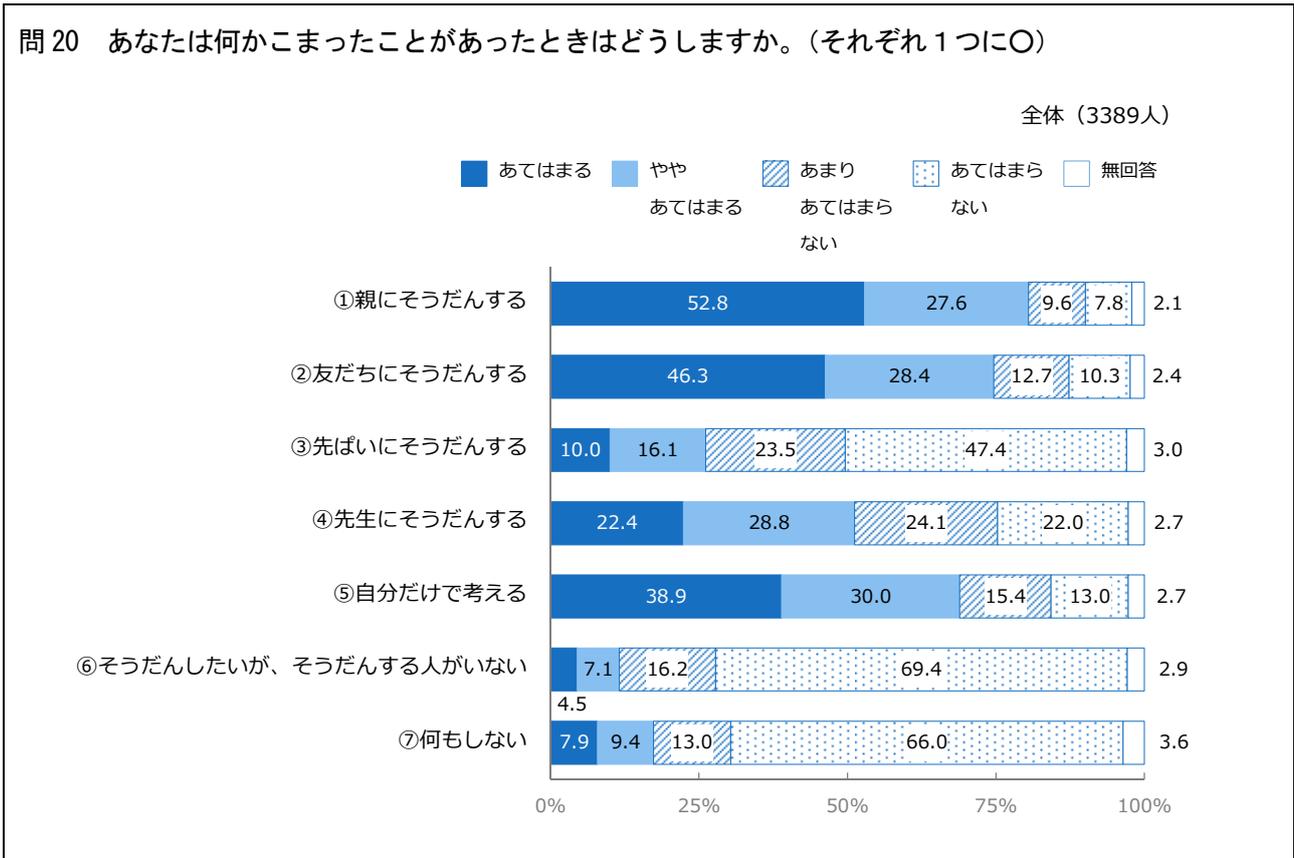
\* 「自己肯定感 低」(「あまりそう思わない」+「そう思わない」)

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔④自分は価値のある人間だと思う〕42.4%、〔⑥自分は友だちに好かれている〕24.3%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔①努力すればできるようになる〕15.8%、〔③自分の将来が楽しみだ〕29.7%、〔④自分は価値のある人間だと思う〕44.3%、〔⑥自分は友だちに好かれている〕27.8%、〔⑦毎日の生活が楽しい〕19.6%で、その他の世帯では〔③自分の将来が楽しみだ〕27.2%、〔④自分は価値のある人間だと思う〕42.0%、〔⑥自分は友だちに好かれている〕24.9%、〔⑦毎日の生活が楽しい〕17.8%で比較的多くなっています。

学年別にみると、中学生では〔②将来の夢や目標がある〕26.5%、〔③自分の将来が楽しみだ〕29.8%、〔⑧不安に思うことはない〕42.1%で比較的多くなっています。

## (2) 困ったことがあったときの対応（相談相手の有無）



困ったことがあったときの対応（相談相手の有無）は、「あてはまる」との回答は、〔①親にそうだんする〕52.8%で最も多く、以下〔②友だちにそうだんする〕46.3%、〔⑤自分だけで考える〕38.9%と続き、この3つの項目では「あてはまる」と「ややあてはまる」との回答を合わせた『あてはまる』が6割～8割を占めています。

一方、「あてはまらない」との回答は、〔⑥そうだんしたいが、そうだんする人がいない〕69.4%で最も多く、次いで〔⑦何もしない〕66.0%と続き、この2つの項目では「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」との回答を合わせた『あてはまらない』が8割前後を占めています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 『あてはまる』と『あてはまらない』)

	全体 (3389人)	生活困難状況別		世帯構成別				学年別		
		貧困層に 相当する 世帯 (304人)	貧困層に 相当しない 世帯 (2465人)	父子世帯 (23人)	母子世帯 (158人)	ふたり親 世帯 (2768人)	その他の 世帯 (169人)	小学生 (1716人)	中学生 (1673人)	
『あてはまる』	①親にそうだんする	80.5	75.0	81.2	60.9	74.7	81.6	66.9	85.4	75.5
	②友だちにそうだんする	74.7	70.4	74.8	65.2	70.3	75.2	66.3	71.6	77.8
	③先ばいにそうだんする	26.2	20.7	25.6	21.7	19.6	26.1	19.5	20.1	32.4
	④先生にそうだんする	51.2	44.1	51.8	43.5	47.5	52.2	40.8	58.3	43.9
	⑤自分だけで考える	68.9	71.4	68.8	65.2	70.3	68.5	69.2	63.4	74.5
	⑥そうだんしたいが、 そうだんする人がいない	11.5	14.1	11.5	4.3	17.1	11.5	10.1	11.5	11.6
	⑦何もしない	17.3	18.1	16.9	13.0	19.0	16.8	19.5	12.4	22.4
『あてはまらない』	①親にそうだんする	17.4	21.1	16.9	34.8	20.3	16.5	30.2	11.9	23.1
	②友だちにそうだんする	22.9	25.3	22.8	30.4	25.3	22.5	30.2	25.3	20.4
	③先ばいにそうだんする	70.8	74.7	71.6	73.9	75.3	71.1	76.3	76.1	65.5
	④先生にそうだんする	46.1	51.3	45.6	52.2	48.7	45.2	55.6	38.3	54.0
	⑤自分だけで考える	28.4	23.4	28.6	26.1	24.7	28.9	26.6	33.1	23.5
	⑥そうだんしたいが、 そうだんする人がいない	85.5	80.6	85.8	91.3	77.2	85.9	85.8	84.8	86.3
	⑦何もしない	79.1	76.3	79.6	82.6	74.7	79.7	76.9	83.2	74.8

全体よりも5ポイント以上多い
  全体よりも5ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において『あてはまる』が多ければ『あてはまらない』が少なくなり、『あてはまる』が少なければ『あてはまらない』が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

\* 『あてはまる』（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）

世帯構成別でみると、母子世帯では〔⑥そうだんしたいが、そうだんする人がいない〕17.1%で比較的多くなっています。

学年別にみると、小学生では〔④先生にそうだんする〕58.3%が、中学生では〔③先ばいにそうだんする〕32.4%、〔⑤自分だけで考える〕74.5%、〔⑦何もしない〕22.4%で比較的多くなっています。

\* 『あてはまらない』（「あまりあてはまらない」＋「あてはまらない」）

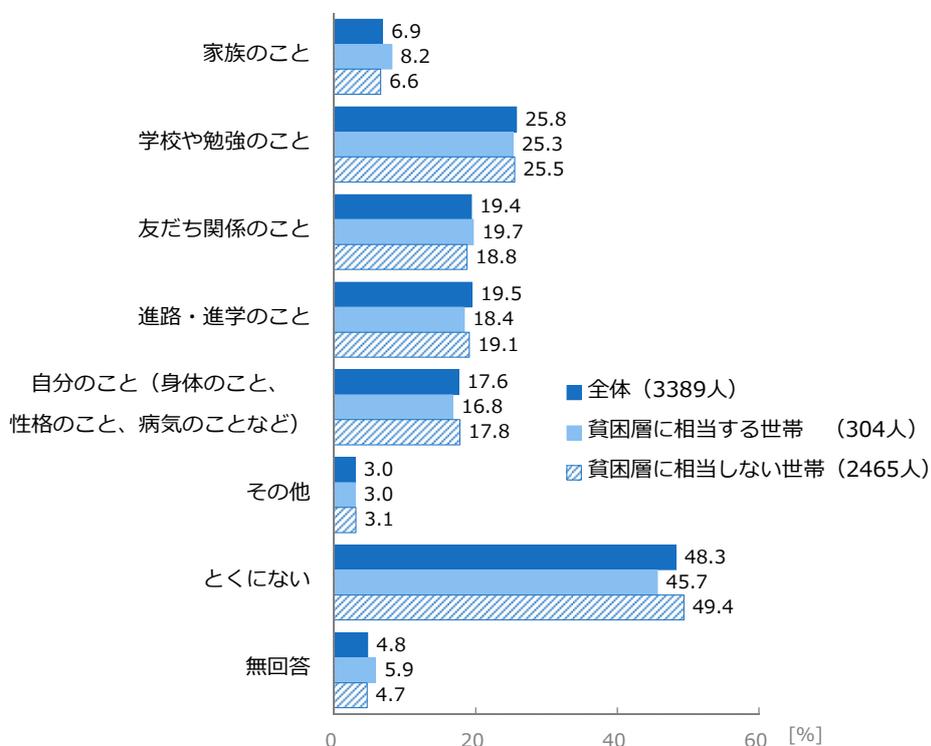
生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔④先生にそうだんする〕51.3%で比較的で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、その他の世帯では〔①親にそうだんする〕と〔②友だちにそうだんする〕各30.2%、〔③先ばいにそうだんする〕76.3%、〔④先生にそうだんする〕55.6%で比較的多くなっています。

学年別にみると、小学生では〔③先ばいにそうだんする〕76.1%、中学生では〔①親にそうだんする〕23.1%、〔④先生にそうだんする〕54.0%で比較的多くなっています。

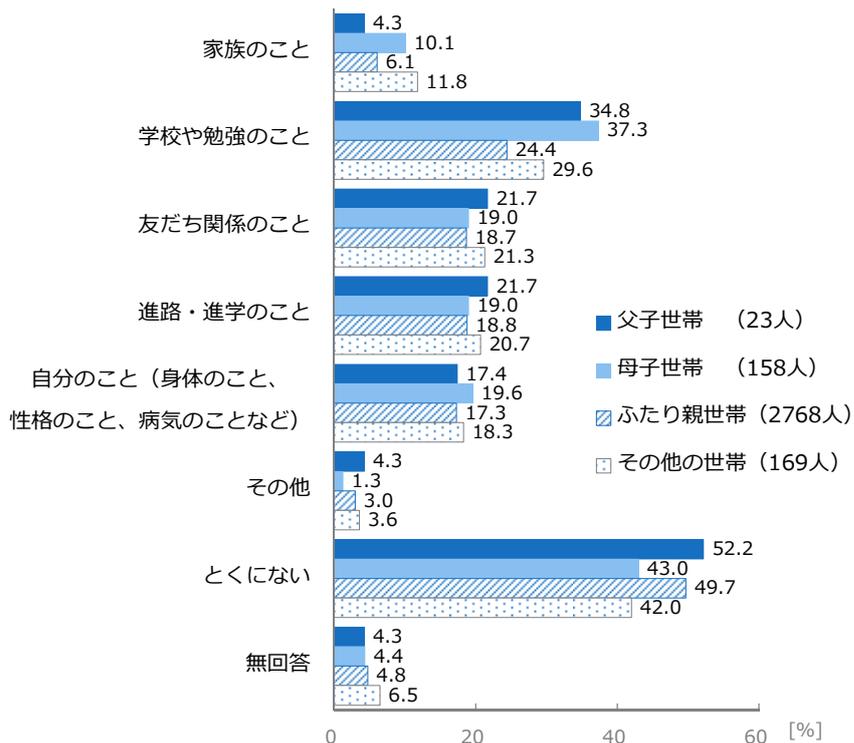
### (3) 今誰かに相談したいこと

問21 あなたは今こまっていることや心配なことなど、だれかにそうだんしたいことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

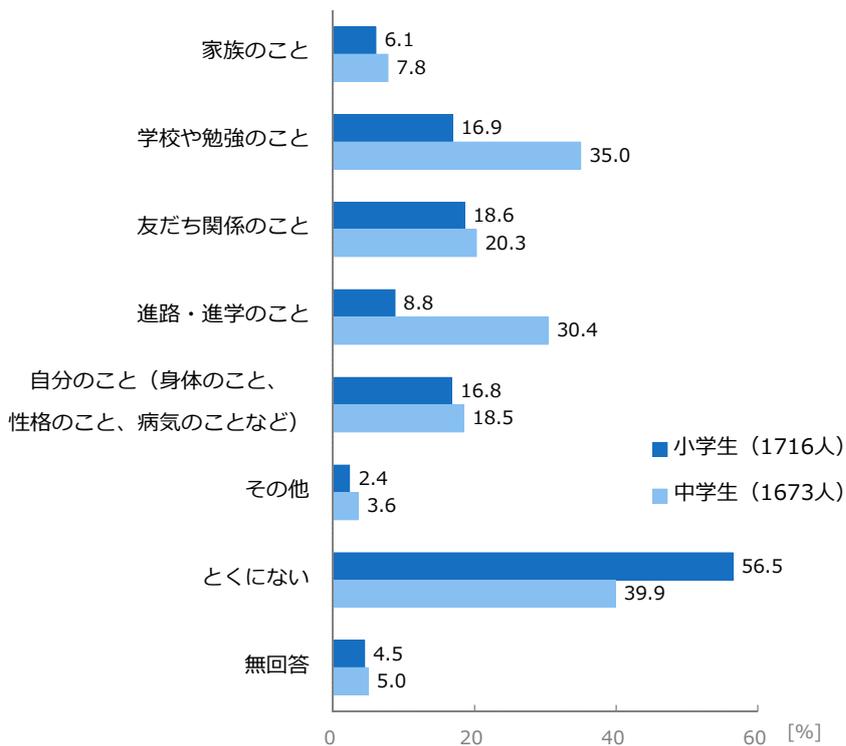


今誰かに相談したいことは、「学校や勉強のこと」25.8%が最も多く、以下「進路・進学のこと」19.5%、「友だち関係のこと」19.4%、「自分のこと (身体のこと、性格のこと、病気のことなど)」17.6%となっています。また、「とくにない」が48.3%となっています。

(世帯別)



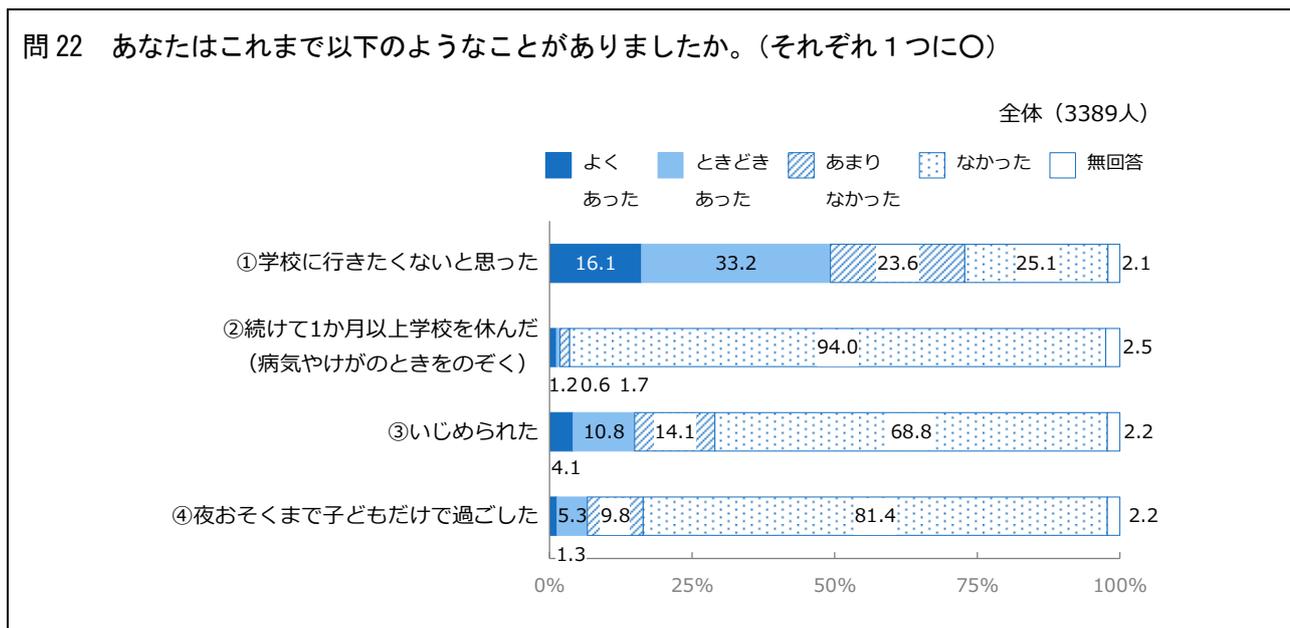
(学年別)



世帯構成別で見ると、母子世帯では「学校や勉強のこと」37.3%が比較的多くなっています。

学年別で見ると、小学生では「とくにない」56.5%が、中学生では「学校や勉強のこと」35.0%と「進路・進学のこと」30.4%が比較的多くなっています。

#### (4) いじめや不登校等の経験



いじめや不登校等の経験は、「よくあった」との回答は、「①学校に行きたくないと思った」16.1%で最も多く、「ときどきあった」との回答を合わせた『あった』が約半分を占めています。また、「③いじめられた」でも『あった』が1割以上となっています。

一方、「なかった」との回答は、「②続けて1か月以上学校を休んだ(病気やけがのときをのぞく)」94.0%で最も多く、「あまりなかった」との回答を合わせた『なかった』が大多数を占めています。また、「④夜おそくまで子どもだけで過ごした」でも『なかった』が9割以上を占めています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 『あった』と『なかった』)

	全体 (3389人)	生活困難状況別		世帯構成別				学年別		
		貧困層に 相当する 世帯 (304人)	貧困層に 相当しない 世帯 (2465人)	父子世帯 (23人)	母子世帯 (158人)	ふたり親 世帯 (2768人)	その他の 世帯 (169人)	小学生 (1716人)	中学生 (1673人)	
『あ っ た』	①学校に行きたくないと思った	49.2	<b>54.9</b>	48.5	56.5	<b>58.9</b>	47.7	<b>55.0</b>	48.1	50.4
	②続けて1か月以上学校を休んだ (病気やけがのときをのぞく)	1.7	3.3	1.5	-	2.5	1.7	1.8	1.3	2.2
	③いじめられた	14.9	14.1	15.3	8.7	13.9	15.2	15.4	17.9	11.9
	④夜おそくまで子どもだけで 過ごした	6.6	9.5	6.0	17.4	<b>14.6</b>	5.5	8.9	5.1	8.1
『な か っ た』	①学校に行きたくないと思った	48.7	<b>41.8</b>	49.5	39.1	<b>37.3</b>	50.4	<b>42.0</b>	49.4	48.0
	②続けて1か月以上学校を休んだ (病気やけがのときをのぞく)	95.7	93.1	96.1	95.7	93.7	96.0	94.7	95.7	95.8
	③いじめられた	82.9	81.9	82.7	87.0	82.3	82.8	81.1	79.4	86.4
	④夜おそくまで子どもだけで 過ごした	91.2	87.2	91.9	78.3	<b>81.6</b>	92.4	88.2	92.2	90.1

 全体よりも5ポイント以上多い  全体よりも5ポイント以上少ない

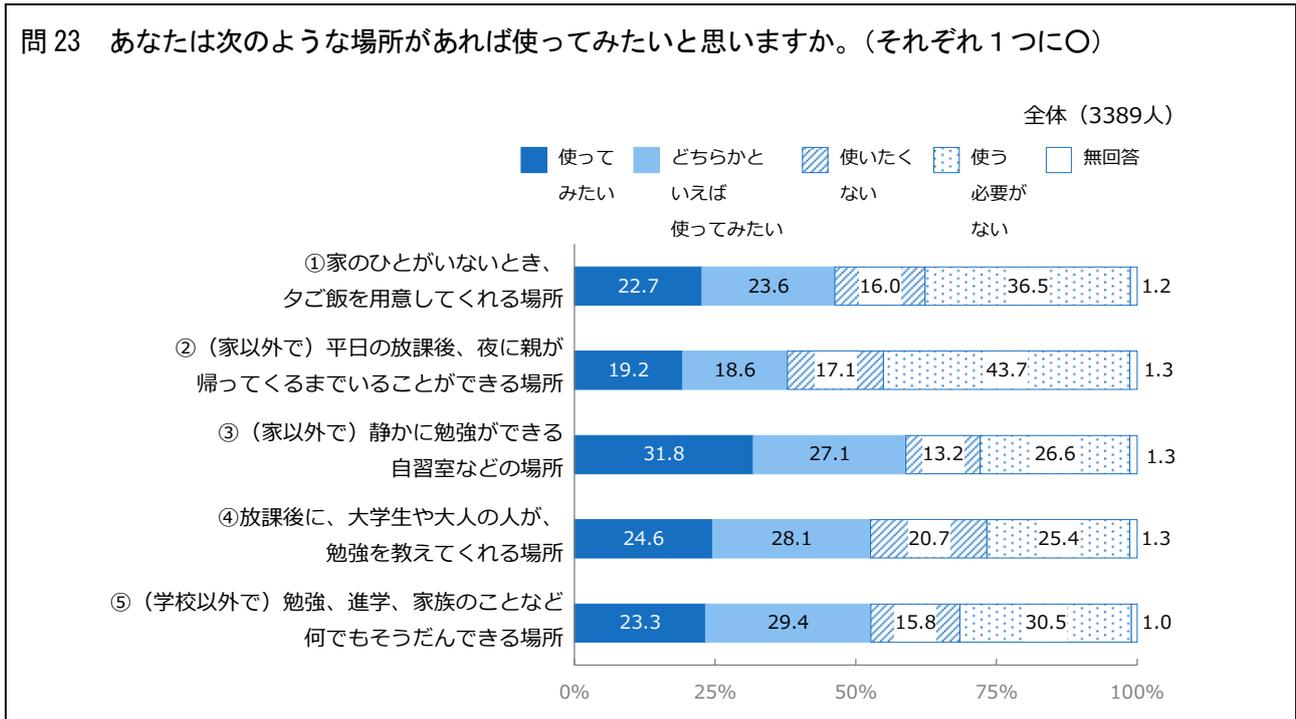
※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けしていますが、この間では1つの属性において『あった』が多ければ『なかった』が少なくなり、『あった』が少なれば『なかった』が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

\* 『あった』(「よくあった」+「ときどきあった」)

生活困難状況別でみると、貧困層に相当する世帯では〔①学校に行きたくないと思った〕54.9%で比較的多くなっています。

世帯構成別でみると、母子世帯では〔①学校に行きたくないと思った〕58.9%と〔④夜おそくまで子どもだけで過ごした〕14.6%で、その他の世帯では〔①学校に行きたくないと思った〕55.0%で比較的多くなっています。

## (5) 子どものための施策や施設等の利用意向



子どものための施策や施設等の利用意向は、「使ってみたい」との回答は、〔③(家以外で) 静かに勉強ができる自習室などの場所〕31.8%で最も多く、以下〔④放課後に、大学生や大人の人が、勉強を教えてくれる場所〕24.6%、〔⑤(学校以外で) 勉強、進学、家族のことなど何でもそっかんできる場所〕23.3%と続き、この3つの項目では「どちらかといえば使ってみたい」との回答と合わせた『使ってみたい』が5割～6割を占めています。

一方、「使いたくない」との回答は、〔④放課後に、大学生や大人の人が、勉強を教えてくれる場所〕20.7%で2割を占めています。

また、「使う必要がない」との回答は、〔②(家以外で) 平日の放課後、夜に親が帰ってくるまでいることができる場所〕43.7%で最も多く、以下〔①家のひとがいないとき、夕ご飯を用意してくれる場所〕36.5%、〔⑤(学校以外で) 勉強、進学、家族のことなど何でもそっかんできる場所〕30.5%と続き、この3つの項目では「使う必要がない」が首位項目となっています。

(生活困難状況別・世帯構成別・学年別 『利用意向あり』と『利用意向なし』)

	全体 (3389人)	生活困難状況別		世帯構成別				学年別		
		貧困層に 相当する 世帯 (304人)	貧困層に 相当しない 世帯 (2465人)	父子世帯 (23人)	母子世帯 (158人)	ふたり親 世帯 (2768人)	その他の 世帯 (169人)	小学生 (1716人)	中学生 (1673人)	
利用意向あり	①家のひとがいないとき、 夕ご飯を用意してくれる場所	46.3	50.3	45.3	56.5	51.9	45.5	46.2	47.0	45.6
	②(家以外で) 平日の放課後、夜に親が 帰ってくるまでいることができる場所	37.8	38.8	37.7	34.8	32.9	37.5	42.0	40.6	35.0
	③(家以外で) 静かに勉強ができる 自習室などの場所	58.9	58.9	58.5	60.9	58.2	58.3	60.9	55.9	61.9
	④放課後に、大学生や大人の人が、 勉強を教えてくれる場所	52.7	52.3	52.6	52.2	54.4	52.2	52.1	50.9	54.5
	⑤(学校以外で) 勉強、進学、家族の ことなど何でもそうだんできる場所	52.7	50.7	52.9	52.2	48.1	52.3	56.2	52.4	53.0
利用意向なし	①家のひとがいないとき、 夕ご飯を用意してくれる場所	52.5	46.4	53.8	43.5	46.2	53.4	52.7	51.7	53.4
	②(家以外で) 平日の放課後、夜に親が 帰ってくるまでいることができる場所	60.8	57.9	61.3	65.2	65.2	61.2	56.2	57.9	63.9
	③(家以外で) 静かに勉強ができる 自習室などの場所	39.8	36.8	40.8	39.1	38.6	40.6	36.7	42.7	36.9
	④放課後に、大学生や大人の人が、 勉強を教えてくれる場所	46.0	43.8	46.5	47.8	43.0	46.6	46.7	47.6	44.5
	⑤(学校以外で) 勉強、進学、家族の ことなど何でもそうだんできる場所	46.3	46.4	46.4	47.8	50.6	46.7	42.0	46.4	46.1

 全体よりも5ポイント以上多い

 全体よりも5ポイント以上少ない

※上記の表では全体よりも5ポイント以上多いものと全体よりも5ポイント以上少ないものに色付けていますが、この間では1つの属性において『利用意向あり』が多ければ『利用意向なし』が少なくなり、『利用意向あり』が少なければ『利用意向なし』が多くなる傾向があるため、下記のコメントでは全体よりも5ポイント以上多いものについてのみ記載し、全体よりも5ポイント以上少ないものについては割愛するものとします。

\* 『利用意向あり』(「使ってみたい」+「どちらかといえば使ってみたい」)

世帯構成別でみると、母子世帯では〔①家のひとがいないとき、夕ご飯を用意してくれる場所〕51.9%で比較的多くなっています。

## (6) 今一番やってみたいこと（自由意見）

問 24 あなたが今一番やってみたいことはなんですか。また、そのためにはなにが必要だと思いますか。自由にお書きください。

今一番やってみたいこと 1,580 件を内容ごとに分類したところ、次頁のようにまとめました。

最も多かったのは「スポーツ」で 190 件でした。ついで、「仕事・職業（働いてみたい、将来就いてみたい）」が 122 件、「勉強」が 98 件、「行ってみたい・見てみたい・会いたい（鑑賞・観戦、レジャー等）」が 89 件、「旅行（海外含む）」が 87 件となっています。

分類	件数	分類	件数
スポーツ	190	家族や家庭のこと	25
仕事・職業（働いてみたい、将来就いてみたい）	122	成長・成熟（身体的・精神的）	25
勉強	98	発見・発明、（自由）研究、工作・実験	24
行ってみたい・見てみたい・会いたい （鑑賞・観戦、レジャー等）	89	将来の夢	22
旅行（海外含む）	87	Youtube・Youtuber	20
学校生活	73	読書	16
文化・芸術活動 （マンガ・絵を描きたい、写真、音楽等）	70	余暇（寝たい、休みたい）・健康（規則正しい生活等）	16
大会出場、発表会参加等	61	お泊り会	15
遊びたい	60	空を飛びたい	14
ゲーム	58	塾・習い事	14
アクティビティ	50	LINE 等インターネット関連	14
進学・進路	46	ダンス	12
学校生活(部活)	41	資格・免許取得、資格試験	12
動物のこと（買いたい、保護したい等）	34	自由な暮らし（一人暮らし）	12
欲しい施設・場所	32	お金、宝くじ、ギャンブル等	10
買いたい・食べたい	30	ボランティア・人助け	9
料理、お菓子づくり	29	やってみたいことがわからない	30
コミュニケーション （挨拶、交流、仲良くしたい）	27	その他	93
		合計	1,580

## **IV 使用調査票**



## 1 保護者調査

# 静岡県 子どもの生活アンケート (保護者のみなさまへ)

令和元年7月  
静岡県

この調査は、子どもの健やかな成長や自立を支援し、より安心して子どもを育てるために必要な取組を検討するにあたり、お子さまのいる家庭の生活状況やご意見をおたずねするものです。

お答えいただいた内容につきましては、統計的に処理され、個人が特定されることはありませんし、お子様が通う学校が内容を見ることもありません。また、調査の目的以外には一切使用されることはありません。

調査の趣旨をご理解の上、ありのままをご記入いただきますよう、ご協力をお願いします。

### 【調査にご協力をお願いする方】

※ この調査は、静岡県内の小学校5年生と中学校2年生のお子さまと、その保護者の方にご協力をお願いしております。(お子さま用のアンケートは別にあります。)静岡県内の学校から無作為に抽出し、配布させていただきました。

### 【記入上の注意】

- 1 この調査票には、令和元年7月1日現在でお答えください。無記名でご提出をお願いいたします。
- 2 ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- 3 設問によってお選びいただく数が異なりますので、それぞれの注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある( )内に具体的な内容をご記入ください。
- 4 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きに従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。

### 【回収方法】

このアンケート票は、封筒に入れ、必ず封をしたうえで、お子さまを通じて学校に提出してください。

### 【お問い合わせ先】

ご記入にあたって、わからない点などがございましたら、静岡県 健康福祉部 こども未来局 こども家庭課までお問い合わせください。

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号  
静岡県 健康福祉部 こども未来局こども家庭課  
電話番号 054-221-3309  
FAX番号 054-221-3521

## 1 ご家族について

『お子さま』とは、調査票を持ち帰ったお子さまのことを指します。

問1 あなた(ご回答者)の、お子さまからみた続柄についてお答えください。(1つに○)

1 父親	2 母親	3 祖父	4 祖母
5 兄弟姉妹	6 その他( )		

問2 あなたの世帯について、令和元年7月1日時点の、ご家族の人数を教えてください。(人数を記入)

一緒に住んでいる人数(あなたとお子さまを含めた)	人
そのうち子ども(18歳未満)の人数	人

問3 あなたの世帯はどなたと一緒に暮らしていますか。お子さまからみた続柄でお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

1 父親	2 母親	3 祖父	4 祖母
5 兄弟姉妹	6 その他( )		

問4 あなたの世帯のご家族の中に、介護や介助が必要な方はいますか。(1つに○)

1 いる	2 いない
------	-------

問4で「1」を選んだ方におうかがいします。

問4-1 お子さまからみて、介護や介助が必要な方はどなたですか。(1つに○)

1 父親	2 母親	3 祖父	4 祖母
5 兄弟姉妹	6 その他( )		

問5 現在お住まいの住宅の種類についてお答えください。(1つに○)

1 持ち家	2 民間賃貸住宅	3 社宅・公務員住宅等の給与住宅
4 自治体・公社等の公営賃貸住宅	5 その他( )	

問6 お子さまが病気のときや、ご自身の用事のときなどに頼れる同居していない親族や友人はいますか。(1つに○)

1 いる	2 いない
------	-------





### 3 お子さまとの関わり、習慣について

問 14 お子さまの基本的な生活・学習習慣について教えてください。  
(それぞれあてはまるもの1つに○)

項 目	できている	ほぼできている	あまりできていない	できていない	わからない
決まった時間に起床する	1	2	3	4	5
決まった時間に就寝する	1	2	3	4	5
毎日朝食を食べる	1	2	3	4	5
朝や夜に歯を磨く	1	2	3	4	5
毎日お風呂に入る	1	2	3	4	5
遅刻せず学校に行く	1	2	3	4	5
宿題をする	1	2	3	4	5
自分の持ち物を整理整頓する	1	2	3	4	5
あいさつをきちんとする	1	2	3	4	5
友だちと話したり遊んだりする	1	2	3	4	5

問 15 お子さまは習い事をしていますか。以下のうちあてはまるものにお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

1 学習塾	2 家庭教師	3 英会話	4 習字・そろばん
5 音楽	6 スポーツ	7 その他	8 特にしていない

問16 あなたはお子さまの進学についてどこまで希望されていますか。(1つに○)

1 中学校	2 高等学校	3 高専・短大・専門学校
4 大学	5 大学院	6 その他 ( )

問16-1 あなたは、お子さまが問16 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。  
(1つに○)

1 思う	2 思わない	3 わからない
------	--------	---------

問16-1 で「2」を選んだ方におうかがいします。

問16-2 その理由として、主なものをお答えください。(1つに○)

1 学力が不足しているため	2 経済的に余裕がないため
3 本人の希望と異なっているため	4 その他 ( )

#### 4 子どもを取り巻く環境・子育ての悩みについて

問17 あなたのご家庭ではお子さまに次のことをしていますか。  
(それぞれあてはまるもの1つに○)

項 目	して いる	していない	
		方針でし ていない	経済的に できない
毎月お小遣いを渡す	1	2	3
毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
習い事（音楽・スポーツ・習字など）に通わせる	1	2	3
学習塾に通わせる	1	2	3
お誕生日のお祝いをする	1	2	3
クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
子ども用のスポーツ用品・おもちゃを買う	1	2	3
子どもの学校行事などに親が参加する	1	2	3
子どもが自宅で勉強が出来る場所を用意する	1	2	3
1年に一回くらい家族旅行に行く	1	2	3

問18 あなたのご家庭では、過去一年間に経済的な理由による次のような経験がありましたか。  
(それぞれあてはまるもの1つに○)

項 目	全く 無い	何度か あった	頻繁に あった
必要な食料が買えなかった	1	2	3
必要な服が買えなかった	1	2	3
学用品費が買えなかった	1	2	3
電気・ガス・水道料金を滞納した	1	2	3
家賃を滞納した	1	2	3
給食費を滞納した	1	2	3
税金を滞納した	1	2	3
固定電話や携帯電話の料金を滞納した	1	2	3
携帯電話を持てなかった	1	2	3
医療機関を受診できなかった	1	2	3
生活費が不足し、親族や金融機関からお金を借りた	1	2	3

問19 あなたは現在、お子さまについて悩みや不安はありますか。(あてはまるものすべてに○)

項目	あてはまる
お子さまに対するしつけや教育に自信が持てない	1
お子さまに対するしつけや教育について相談する相手がいない	2
家族と子育ての意見が合わない	3
お子さまに基本的な生活習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理整頓など)が身につかない	4
お子さまが勉強しない	5
お子さまの進学や受験のことが心配である	6
お子さまが反抗的でなかなかいうことを聞かない	7
お子さまの身体の発育や病気が心配である	8
お子さまの非行や問題行動が心配である	9
お子さまに十分な食事や洋服を与えることができていない	10
感情的になってお子さまにきつくあたってしまうことがある	11
その他( )	12
特に悩みは無い	13

問20 あなたは、お子さまに関すること以外で心配や悩み事がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 家族との人間関係	2 家族以外との人間関係	3 収入や家計・借金など
4 自分の病気や介護	5 家族の病気や介護	6 妊娠・出産
7 家事	8 自分の仕事	9 家族の仕事
10 住まいや生活環境	11 その他( )	12 特に悩みは無い

問21 あなたには現在心おきなく相談できる相手がいますか。(1つに○)

1 いる	2 いないので欲しい	3 いないが必要ない
------	------------	------------

問21で、「1」または「2」を選んだ方にお伺いします。

問21-1 その相談相手は誰ですか、また、相談相手が欲しい方はどのような相手に相談したいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 配偶者・パートナー	2 親、親戚、兄弟姉妹	3 子ども
4 友人・知人	5 隣人・地域の人	6 民生委員・児童委員
7 幼稚園・保育所や学校の先生	8 カウンセラーなどの専門家	
9 民間団体・ボランティア等	10 その他( )	

## 5 各種支援・サービスについて

問22 以下の公的な支援制度について、利用したことがありますか。また、利用したことがない場合はその理由を教えてください。(それぞれあてはまるもの1つに○)

※制度内容は、同封の《参考情報》をご覧ください。

	利用している (したことがある)	利用したことがない				
		利用する必要がない	利用したいが基準にあてはまらない	利用するのがためられた	利用したいがどこに相談すればいいかわからない	制度を知らなかった
①児童手当	1	2	3	4	5	6
②児童扶養手当	1	2	3	4	5	6
③特別児童扶養手当	1	2	3	4	5	6
④母子父子寡婦福祉 資金貸付	1	2	3	4	5	6
⑤生活困窮者自立支 援制度	1	2	3	4	5	6
⑥生活保護	1	2	3	4	5	6
⑦生活福祉資金貸付	1	2	3	4	5	6
⑧高等学校等奨学給 付金	1	2	3	4	5	6
⑨自立支援教育訓練 給付金	1	2	3	4	5	6
⑩高等職業訓練促進 給付金	1	2	3	4	5	6
⑪母子家庭等医療費 助成	1	2	3	4	5	6
⑫放課後児童クラブ	1	2	3	4	5	6
⑬スクールカウンセラ ー、スクールソーシャ ルワーカーへの相談	1	2	3	4	5	6
⑭母子家庭等就業自 立支援センターへ の就業相談	1	2	3	4	5	6

問23 あなたのご家庭ではお子さまのために就学援助制度を利用していますか（1つに○）  
 ※就学援助制度は、経済的理由で小・中学生の子どもの就学に困っている保護者に対し、学用品費や給食費などの費用の一部を援助する制度です。

- 1 利用している                      2 利用していない                      3 わからない

問23で、「1」を選んだ方にお伺いします。

問23-1 現在の就学援助は学校にかかる経費をカバーできていますか（1つに○）

- 1 できている    2 だいたいできている    3 あまりできていない    4 できていない

問23で、「2」を選んだ方にお伺いします。

問23-2 現在、就学援助を利用していない理由はなんですか（1つに○）

- 1 必要なかったため申請しなかった    2 必要であるが、基準を満たさなかった  
 3 必要であるが、周囲の目が気になり申請しなかった  
 4 申請したが認められなかった    5 手続きがわからなかった    6 知らなかった

問24 あなたは、子育てなどに関する公的な支援制度の情報をどのようにして入手していますか。  
 （あてはまるものすべてに○）

- 1 県・市・町のホームページ    2 県・市・町の広報誌    3 学校からの連絡・お便り  
 4 家族や友人からの情報    5 SNS(LINEやtwitterなど)    6 その他(                      )

問25 あなたは、子育てなどに関する公的な支援制度を、今後どのような方法で情報を入手したいと思いませんか、またはできたら良いと思いませんか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 県・市・町のホームページ    2 県・市・町の広報誌    3 学校からの連絡・お便り  
 4 家族や友人からの情報    5 SNS(LINEやtwitterなど)    6 その他(                      )

問26 公的な支援制度など、必要な支援をもれなく受けられるようにするには何が重要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

項目	あてはまる
支援制度の申請手続きの簡素化	1
支援制度や申請手続きなどをわかりやすくまとめた情報の発信	2
気軽に生活や悩みごとを相談できる相談窓口を増やす	3
子育て世帯への訪問事業などを積極的に行う	4
メールマガジンや SNS 等で定期的に支援制度等の情報を配信	5
その他(                      )	6

問27 あなたは次のような支援があったら利用したいと思いますか。  
 (それぞれあてはまるものに○)

項 目	利用し たい	必要 ない
こども食堂 (無料または安価で食事を提供する食堂)	1	2
食の支援 (フードバンクなど食料の無料提供)	1	2
相談支援 (子育てや生活のことなどについて気軽に相談できる場所)	1	2
居場所の提供 (無料で子どもが自由に過ごすことができる場所の提供)	1	2
学習の支援 (無料で放課後などに学習指導を提供)	1	2
家事補助等の訪問支援 (家事や育児等が困難な場合に支援員が家庭を訪問し家事を補助)	1	2
文化・芸術鑑賞・スポーツ観戦等支援 (美術館、博物館・スポーツなどの鑑賞・観戦費用補助など)	1	2
自然・社会・実学体験支援 (自然体験・農業体験・仕事体験など様々な体験の提供)	1	2

問28 子どもたちがこれからも健やかに育っていくために必要だと思う支援等についてご意見  
 やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。


**質問は以上です。**  
**アンケートにご協力いただきありがとうございました。**

## 2 子ども調査

# 静岡県 子どもの生活アンケート (小学校5年生のみなさまへ)

令和元年7月  
静岡県

### 【アンケートのご協力のお願い】

このアンケートは、静岡県に住むみなさんが、より安心して生活し、夢を持って成長していく社会にしていくための取組を考えるため、みなさんの学校や家での様子についてたずねるものです。

アンケートに書いた内容はだれにも見られないようにします。お家の人や学校の先生もみることはありません。安心して、自分が思うとおりに書いてください。

みなさんの意見を参考にしたいので、ぜひアンケートにご協力をお願いします。

### 【記入にあたって】

- このアンケート用紙には、住所や名前は書かないでください。
- 答えたくない質問には答えなくてもかまいません。次の質問に進んでください。
- 書き終わったら「子ども票」と書かれた封筒に入れて、のりかテープで閉じてください。
- 封筒を閉じたら、お家の人に渡してください。

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号  
静岡県 健康福祉部 こども未来局こども家庭課  
電話番号 054-221-3309  
FAX番号 054-221-3521





問11 あなたは、学校のある日の放課後の時間をどのように過ごしていますか。

それぞれの時間について教えてください。(それぞれもつともあてはまるもの1つに○)

項目	しない	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上
勉強や宿題をする (塾に行くことも含む)	1	2	3	4	5	6
本やマンガを読む	1	2	3	4	5	6
テレビやDVDなどをみる	1	2	3	4	5	6
ゲームをする	1	2	3	4	5	6
スマートフォンなどでLINE をしたりYouTubeをみる	1	2	3	4	5	6
友達と遊ぶ	1	2	3	4	5	6
兄弟姉妹の世話をする	1	2	3	4	5	6
家事(そうじ、洗たく、料理など)を手伝う	1	2	3	4	5	6
家族の介護を手伝う	1	2	3	4	5	6
習い事(ピアノ、スポーツクラブなど)をする	1	2	3	4	5	6
部活動などをする	1	2	3	4	5	6

問12 次のなかになんが持っているものはありますか。(それぞれ1つに○)

	持っている	持っていないが ほしい	持っていないが ほしくない
自分だけの文ぼう具	1	2	3
お気に入りの服	1	2	3
誕生日にもらったプレゼント	1	2	3
家で集中して勉強ができる場所	1	2	3
スポーツ用品(サッカーボール、ラケットなど)	1	2	3
けいたい電話 スマートフォン	1	2	3
ゲーム機(ニンテンドースイッチなど)	1	2	3

問13 あなたは、いつもだれとどれくらい会話をしますか。(それぞれ1つに○)

だれと	よく話す	ときどき話す	あまり話さない	話さない まかい (話す機会がない)
親	1	2	3	4
兄弟・姉妹	1	2	3	4
親せきやおばあさん・おじいさん など	1	2	3	4
友だち	1	2	3	4
学校の先生	1	2	3	4
児童館・放課後児童クラブの先生 や大人	1	2	3	4
塾や習い事などの先生	1	2	3	4
その他の大人	1	2	3	4

問14 あなたは、次のような活動や行事に行ったことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 1 近所のおまつり            | 2 町内会などの運動会やクリスマス会などの行事 |
| 3 公園や道路などのそうじ、防災くんれん | 4 児童館、公民館などが開いた教室など     |
| 5 通学合宿               | 6 こども食堂                 |
| 7 行ったことがない           |                         |

問15 あなたが、今までの1年間で出かけたことがある場所について教えてください。(○はいくつでも)

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1 キャンプや海水浴         | 2 図書館や博物館、美術館         |
| 3 映画館や音楽会、コンサート    | 4 スポーツ施設(プール、スケート場など) |
| 5 外食(ファミリーレストランなど) | 6 遊園地やテーマパーク          |
| 7 デパートやショッピングセンター  | 8 ゲームセンター             |
| 9 友だちの家            | 10 親せきの家              |

### 3 学校や勉強のことについて

問16 あなたの学校生活についてお聞きします。以下の項目について教えてください。(それぞれ1つに○)

	とても楽しみ	楽しみ	あまり楽しみ ではない	楽しみ ではない
授業の時間	1	2	3	4
休み時間、給食やお弁当の時間	1	2	3	4
クラブ活動・部活動	1	2	3	4
授業以外の行事(運動会など)	1	2	3	4
先生に会うこと	1	2	3	4
友だちと会うこと	1	2	3	4

問17 あなたは、学校の勉強がどれくらいわかりますか。(1つに○)

1 ほとんどわかる	2 だいたいわかる	3 半分くらいはわかる
4 わからないことが多い	5 ほとんどわからない	

問18 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。(1つに○)

1 中学校まで	2 高校まで	3 短期大学・専門学校まで	4 大学・大学院まで
5 その他( )	6 わからない		

### 4 ふだん感じていること

問19 あなたがふだん生活の中で感じている思いや気持ちを教えてください。(それぞれ1つに○)

	とても そう思う	どちらかとい えばそう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない
努力すればできるようになる	1	2	3	4
将来の夢や目標がある	1	2	3	4
自分の将来が楽しみだ	1	2	3	4
自分は価値のある人間だと思う	1	2	3	4
自分は家族に大事にされている	1	2	3	4
自分は友だちに好かれている	1	2	3	4
毎日の生活が楽しい	1	2	3	4
不安に思うことはない	1	2	3	4

問20 あなたは何かこまったことがあったときはどうしますか。(それぞれ1つに○)

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
親にそうだんする	1	2	3	4
友だちにそうだんする	1	2	3	4
先ばいにそうだんする	1	2	3	4
先生にそうだんする	1	2	3	4
自分だけで考える	1	2	3	4
そうだんしたいが、そうだんする人がいない	1	2	3	4
何もしない	1	2	3	4

問21 あなたは今こまっていることや心配なことなど、だれかにそうだんしたいことはありますか。  
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 家族のこと	2 学校や勉強のこと	3 友だち関係のこと
4 進路・進学のこと	5 自分のこと(身体のこと、性格のこと、病気のことなど)	
6 その他( )		
7 とくにない		

問22 あなたはこれまで以下のようなことがありましたか。(それぞれ1つに○)

	よくあった	ときどきあった	あまりなかった	なかった
学校に行きたくないと思った	1	2	3	4
続けて1か月以上学校を休んだ (病気やけがのときをのぞく)	1	2	3	4
いじめられた	1	2	3	4
夜おそくまで子どもだけで過ごした	1	2	3	4

問23 あなたは次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(それぞれ1つに○)

	使ってみたい	どちらかといえば使ってみたい	使いたくない	使う必要がない
家のひとがいないとき、夕ご飯を用意してくれる場所	1	2	3	4
(家以外で)平日の放課後、夜に親が帰ってくるまでいることができる場所	1	2	3	4
(家以外で)静かに勉強ができる自習室などの場所	1	2	3	4
放課後に、大学生や大人の人が、勉強を教えてくれる場所	1	2	3	4
(学校以外で)勉強、進学、家族のことなど何でもそっかんできる場所	1	2	3	4

## 5 自由意見

問24 あなたが今一番やってみたいことはなんですか。また、そのためにはなにが必要だと思いますか。自由にお書きください。


**これで質問は終わりです。**

**ご協力ありがとうございました。**

**静岡県 子どもの生活アンケート 調査報告書**

令和元年 12月

静岡県 健康福祉部 こども未来局こども家庭課